建築と社會

小住宅研究 第二集

内容

住宅改善に關する諸問題の研究記事

小住宅の公營問題
住宅建築工費
家相と住宅の衛生
電氣設備と家具
借家の撰定標準

サンマーハウス佳作圖案發表

昭和四年六月一日

第十二輯 第六號

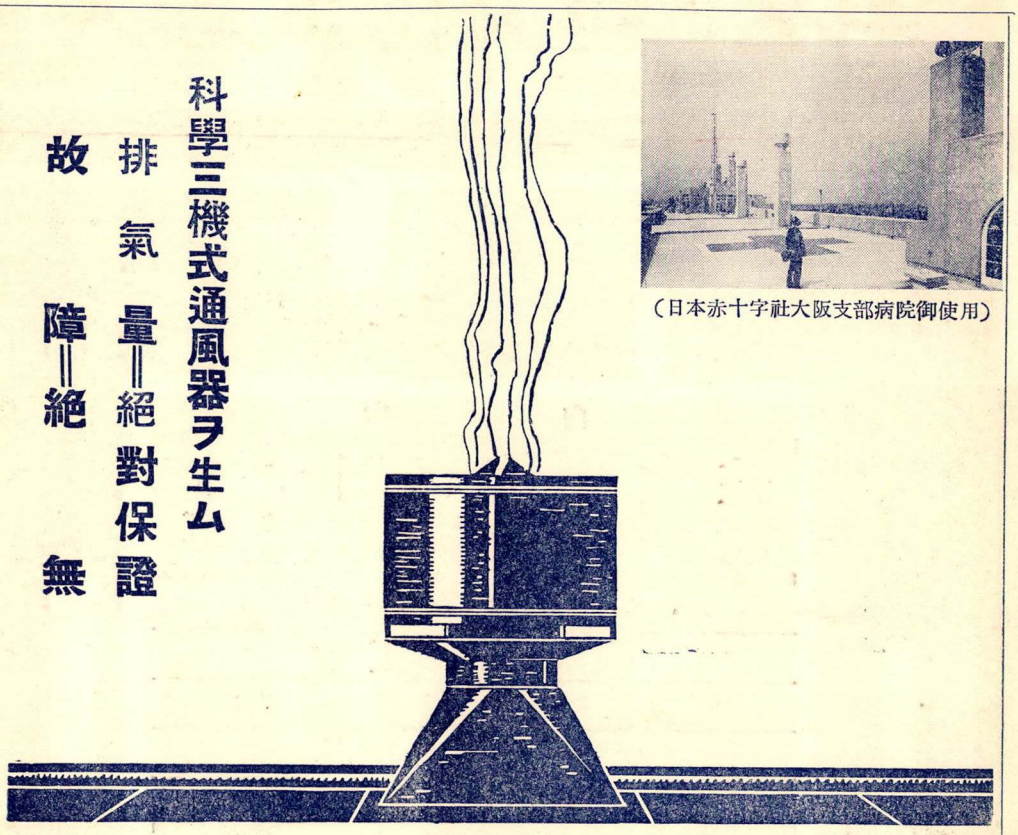
日本建築協會

特許三機式(ロバートソン)通風器

科學三機式通風器ヲ生ム

排氣量＝絶對保證

故障＝絶無



(日本赤十字社大阪支部病院御使用)

三機工業株式會社

本　店　東京市麹町區内幸町一ノ三(大阪ビル内)
電話銀座(57)5330—5335—(6)2831—2833(3)
支　店　大阪市東區備後町二ノ二一(野村ビル内)
電話本町　1166・1525

取扱店　各地三井物産株式會社支店機械部

商標 OHNO SHUTTER PATENTED 登錄

特許第七九三五號（延長許可）外十數件併用

大野式防火捲上ヶ戸

〔特許大野式シヤッター〕

主要製品

大野式**シヤッター**
大野式自働防火鎧戸
大野式工場用軸承
大野式轉子入軸筐
大野式轉子入戸車
大野式廻轉軸抵抗測定機
各種防火扉
應用特殊機械類
特許不二式**サッシ**受托販賣

合資會社 **大野製作所**

東京市芝區三田四國町二番地（電話三田（三）七三三七・七三三八）

取付出張員詰所・大阪市此花區福島中二（電話土佐堀二七二五）



小住宅研究 第二集 建築と社會 第十二輯 第十六號 目次

特輯 住宅 記事

卷頭

日本住宅の改善……七
寫眞版、大大阪新態・舊態　堂島川の可動堰……七

住宅論の序曲……伊藤正文……八…二

住む爲の機械……大阪朝日新聞調査部長 藤田進一郎……二三…三

住宅問題の世界的の動き……上野伊三郎……二三…二八

住宅の家相問題……(2)……工學士 葛野壯一郎……二八…三〇

『通俗的』住宅の衛生問題……(2)……醫學博士 藤原九十郎……三〇…三三
—借家撰定の標準—

住宅建築の工費と工期の問題……(2)……大林組住宅部長 松本儀八……三三…三六

住宅と家具……遠藤演……三一…三四

住宅の神經系統……工學士 工藤壽男……三五…三八
—電氣設備—



小住宅研究 第二集 建築と社會 第十二輯 第六號 目次

小住宅と保健問題……宮飼克二…三八…四三

住宅の改善と考慮すべき要點に就て…(2)……須賀藤五郎…四二…四六

洋風住宅の種々……(寫眞)……二七…三〇

◇桂離宮記……(一)……京都帝國大學建築科研究室 服部勝吉…四七…五一

◇飛行機より見たる建築と社會…(4)……下浦光衛…五一…五三

附錄

◇寫眞 國際新建築集……二三…二六

◇寫眞 京阪神新建築集……一九…二六

◇會報……◇編輯後記……◇新刊紹介……◇本誌廣告目次……

繪口 懸賞募集サンマー・ハウス設計佳作圖案發表……一…六

◇サンマー・ハウス懸賞佳作第一席圖案……河部 茂…一 ◇サンマー・ハウス懸賞佳作第二席圖案……佃 十俊…二

◇サンマー・ハウス懸賞佳作第三席圖案……三上 卓一…三 ◇サンマー・ハウス懸賞佳作第四席圖案……保田 信夫…四

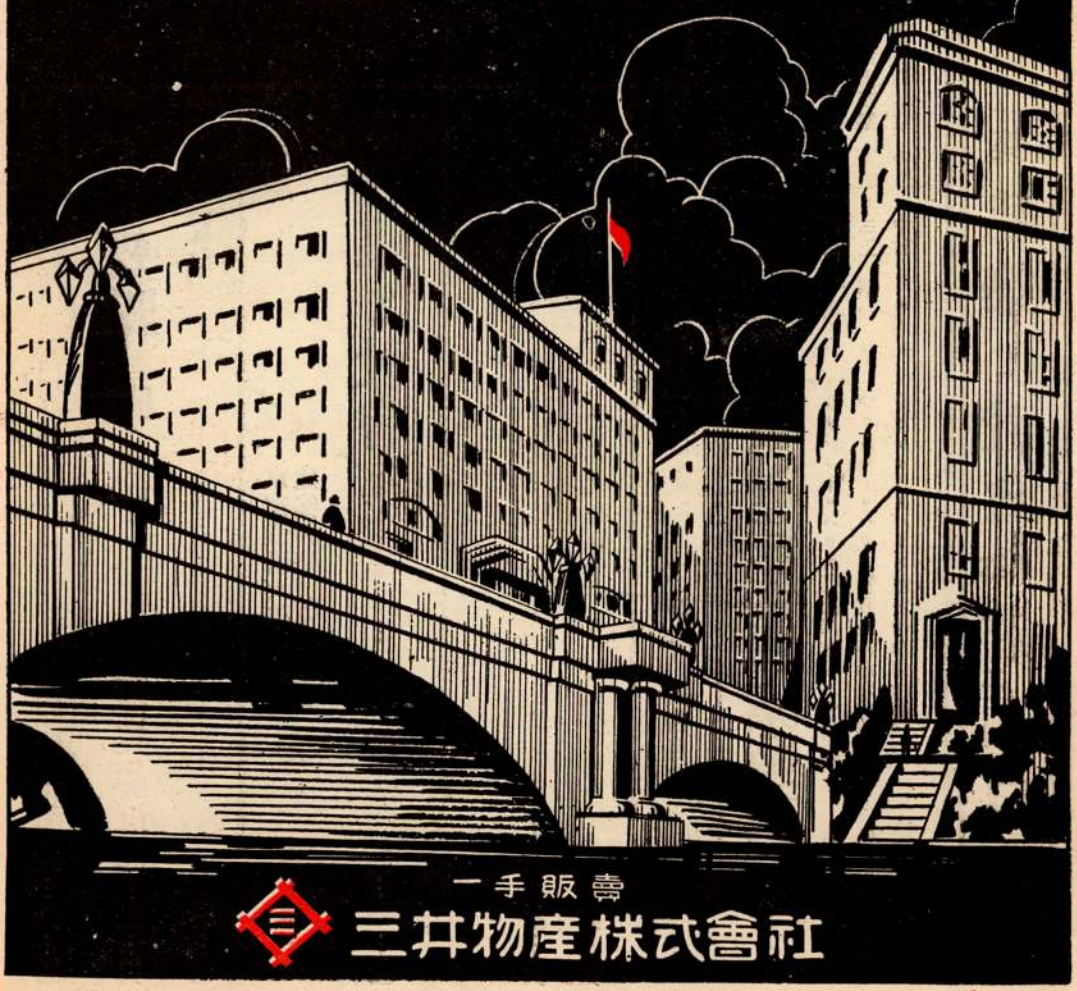
◇サンマー・ハウス懸賞佳作第五席圖案……中村 勇…五 ◇サンマー・ハウス懸賞佳作第六席圖案……福富 正治…六

小野田白色ポルトランドセメント

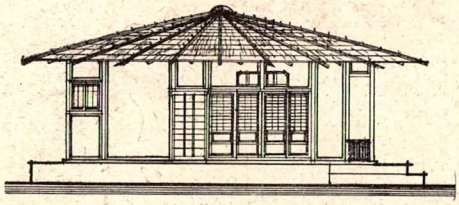
小野田ポルトランドセメント

創　立　明治十四年
資本金　金参千万円
年産額　八十八万瓲(五百二十万樽)
本社工場　山口県厚狭郡小野田町

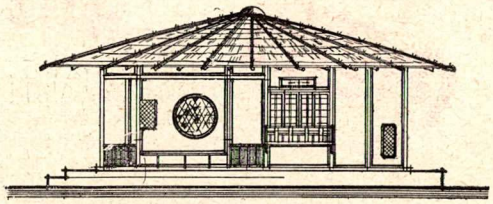
支社工場
大連市外周水子
朝鮮平壌府外勝湖里
朝鮮咸鏡南道線川内里
名古屋市南区熱田東町



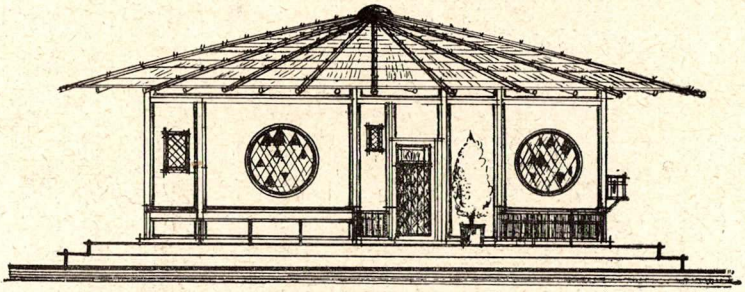
一手販賣
三井物産株式會社



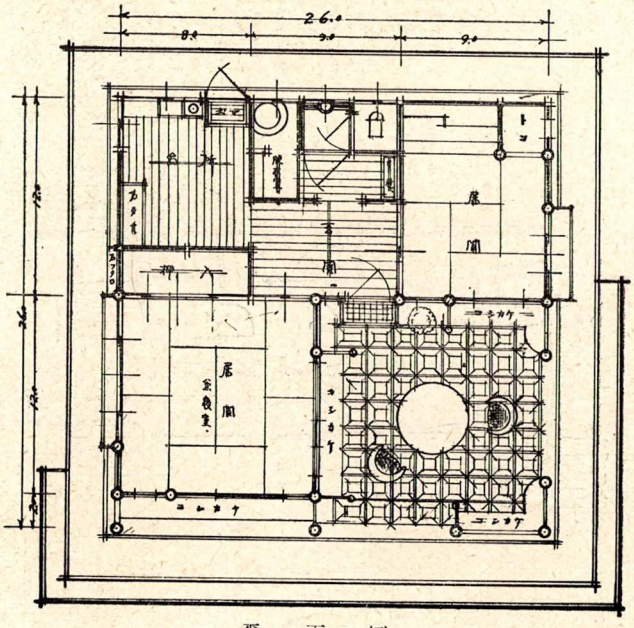
左側面圖



右側面圖



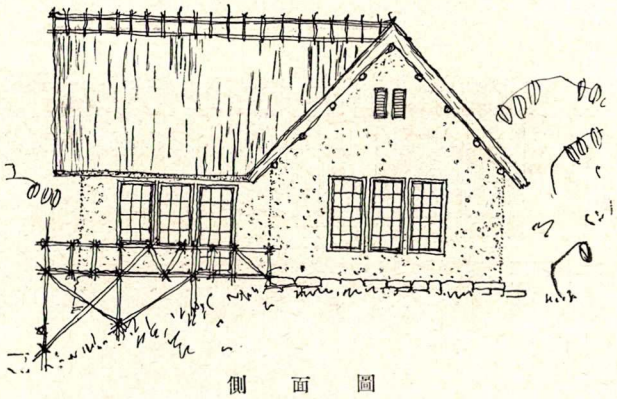
正面圖



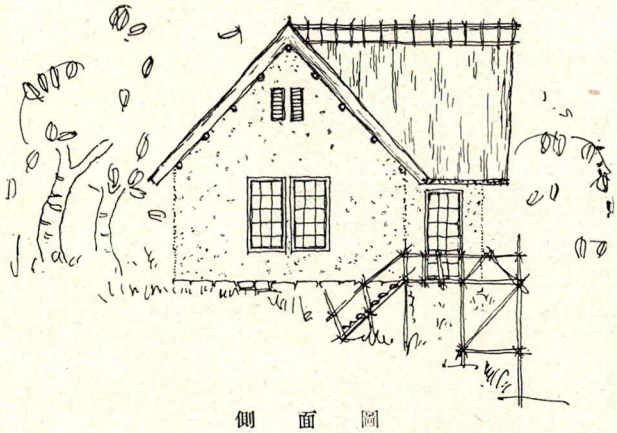
平面圖

サンマー・ハウス懸賞佳作圖案

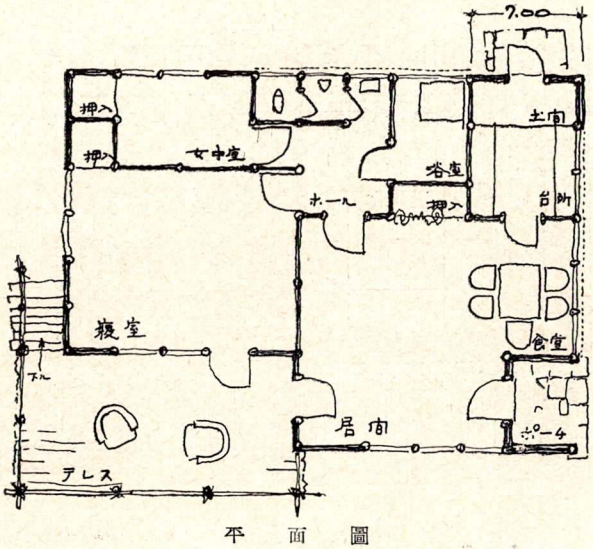
佳作第一席　河部　茂氏



側　面　圖

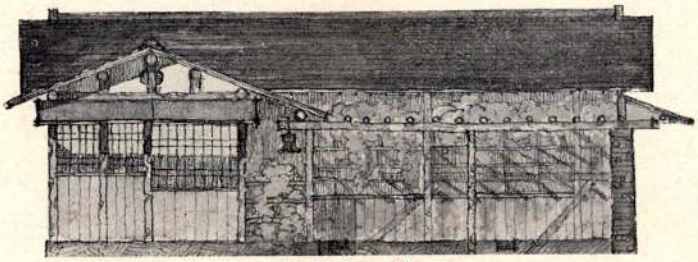


側　面　圖

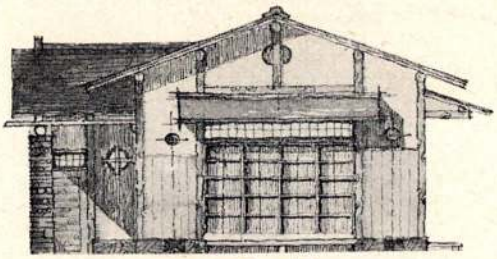


平　面　圖

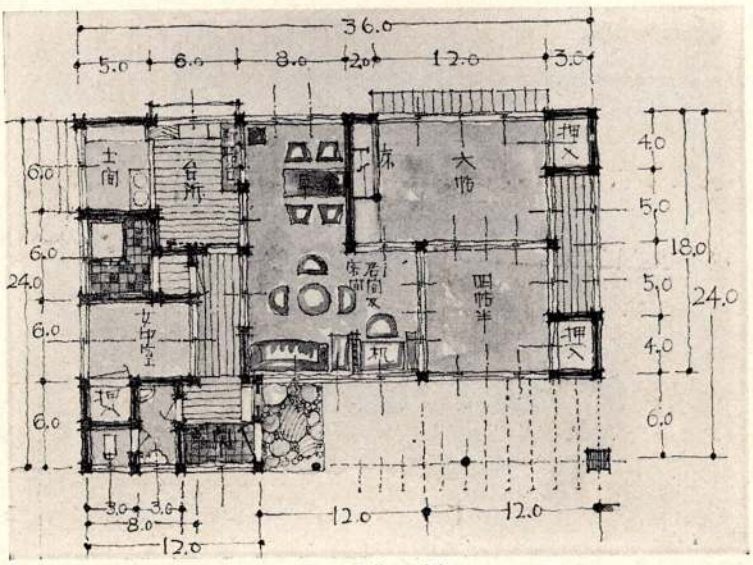
サンマー・ハウス懸賞佳作圖案　　**佳作第二席**　佃　十 俊 氏



立 面 圖



側 面 圖

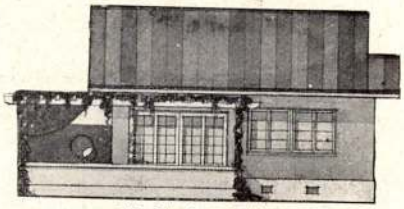


平 面 圖

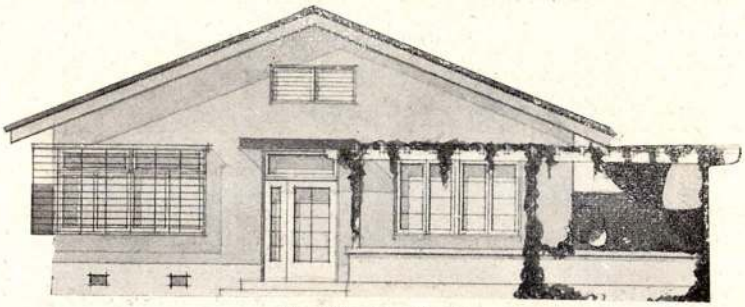
サンマー・ハウス懸賞佳作圖案　　**佳作第三席　三 上 卓 一 氏**



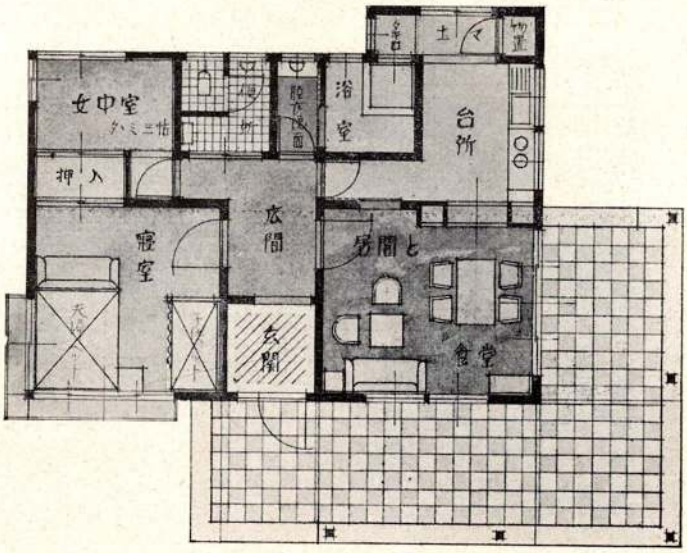
北側立面圖



東側立面圖



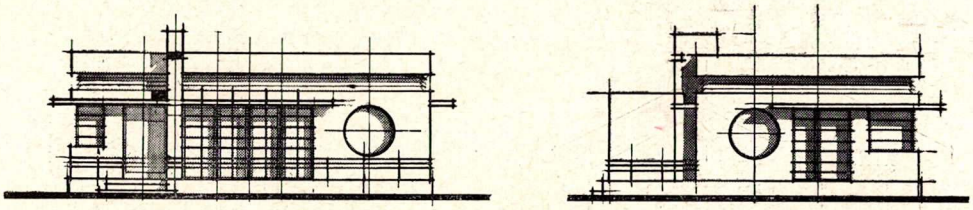
南側立面圖



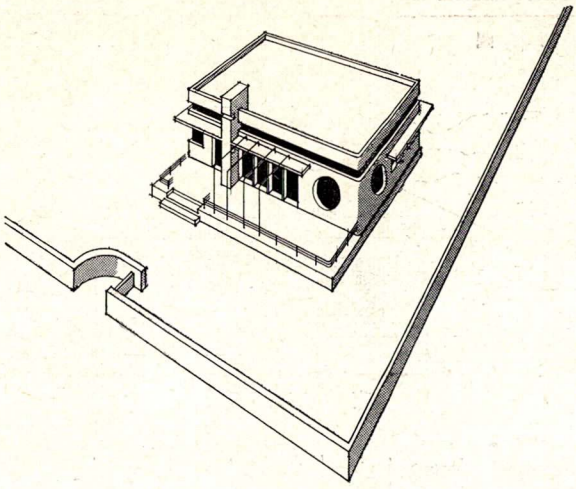
平面圖

サンマー・ハウス懸賞佳作圖案

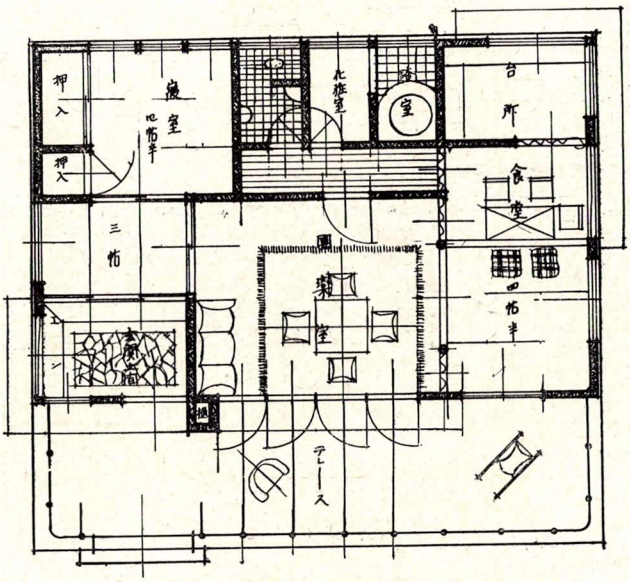
佳作第四席 保田信夫氏



立　面　圖

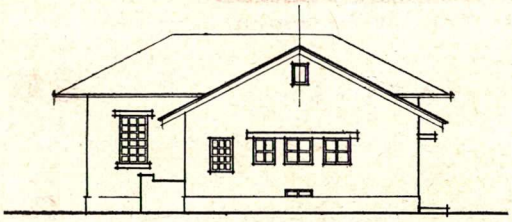


透　視　圖

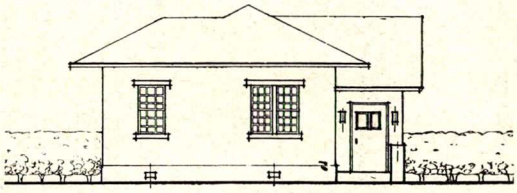


平　面　圖

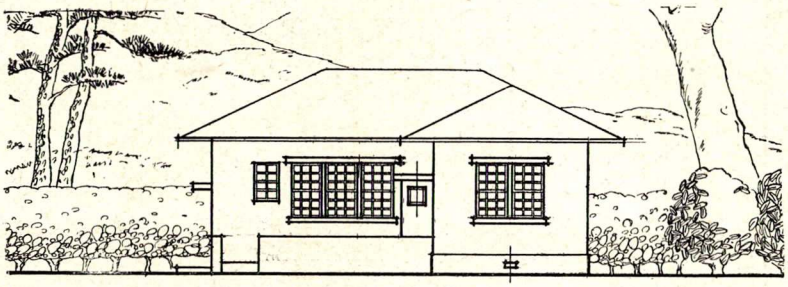
サンマー・ハウス懸賞佳作圖案　　**佳作第五席**　中　村　勇　氏



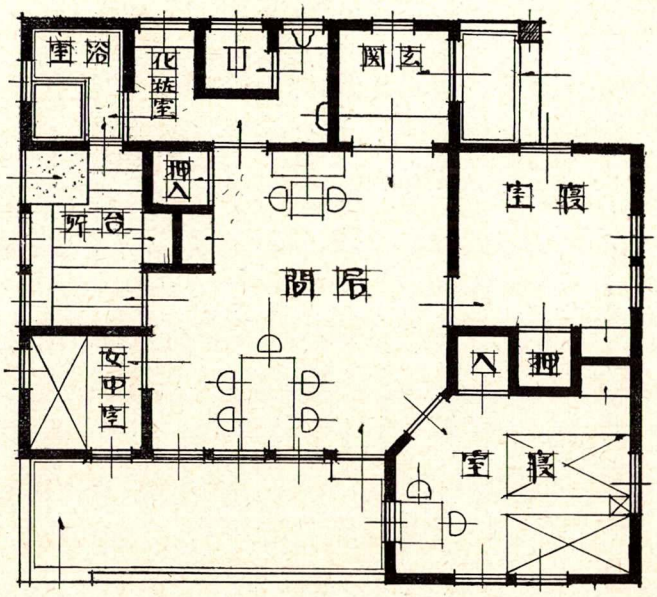
北面圖



正面圖



南面圖



平面圖

サンマー・ハウス懸賞佳作圖案　　**佳作第六席**　福富正治氏

夏ノ蟲蚊ヘ

ロールスクリーン

近來模造品多數あり本品御指定ありたし

Rolscreens

The Ideal Screen For Casements

特許第74197號



（型錄贈呈）

日本總代理店

島貿易株式會社建材部

本店　大阪市東區高麗橋四丁目
電話本局自五〇四〇—至五〇四七番

支店　東京市日本橋區平松町
電話日本橋　二二四番　三一六九番
　　三一六八番

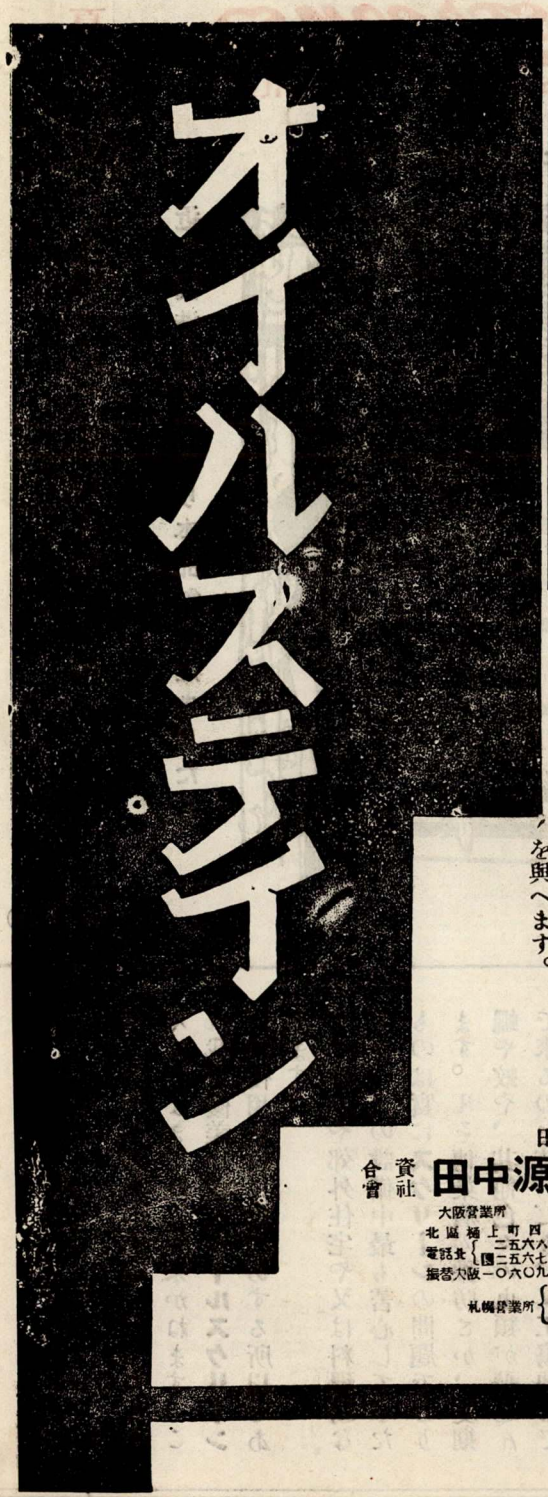
晝は蠅、夜は蚊と

夏は閑靜な郊外の住宅に在つても中々に快よき休息は出來かねます。これ我が優美輕便な**ロールスクリーン**の御使用を切に御薦めする所以であります。

從來病院や郊外住宅や又は料理場などで、窓の設備中最も苦心して來たものは實に**スクリーン**の問題であります。凡そ傳染病の豫防とか、夏期蠅や蚊や、其他色々の虫類が飛込んで來るのを防いだり、又工場地帶で煤煙防止の必要な場所などには、是非共此の**スクリーン**の用意をして置かねばなりません。

然るに此迄のものは、何れも取扱上の不便や、不體裁の點や或は又、不經濟などの點で、其必要を生ずる都度、頭痛の種となつて居たものであります。

此の久しい間の、難問解決の使命を果たすものこそ、實に我が**ロールスクリーン**の出現及び提供であります



建築物の永遠の美は

オイルステインの使用により完ふさる！

建築木部の塗裝材料に就いては曰くペンキ塗り、ニス仕上げ、等々……種々雑多の方法、材料の内、美術的な永久性のある經濟な、オイルステインは今や「ステイン塗り」の名稱のもとに廣く使用されつゝある。ビルデイングに、學校建築に、船室に、住宅に、家具に本品の着色仕上により高價な木質も、割安な木質も完く「清澄」「高尚」云ひ知れぬ快感を與へます。

日本總代理店

資本合會社

田中源太郎商店塗料部

東京營業所
東京都千代田區神田錦町一ノ一四五番
電話(23)二〇三三番
振替東京六六〇〇番

大阪營業所
大阪市北區梅田上町四九番
電話北二五六八番
振替大阪一〇六〇九番

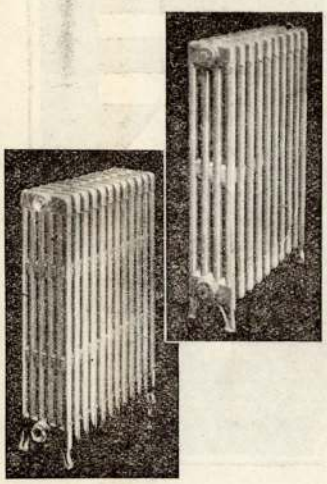
札幌營業所
札幌市北一條西三丁目三番地
電話札幌小樽二一一九番
振替札幌一一一番

AMERICAN RADIATOR COMPANY
NATIONAL RADIATOR COMPANY

アメリカン ラヂエーター會社製

ナシヨナル ラヂエーター會社製

煖房用汽罐放熱器及附屬品一式



Ideal Classic Radiator



Ideal Red Jacket Boiler



Ideal Airid
Air Valve



No. 999 Arco
Packless Valve

日 本 代 理 店

大倉商事株式會社

東京銀座　大阪東區釣鐘町

◆耐震耐火—品質優良—優美高尚—價格至廉◆

金屬天井



金屬天井御採用の三菱銀行東京本店

營業種目

◆建築材料部
- ▲金屬天井
- ▲リブプレックス（リブラス）
- ▲コーナービード
- ▲内外メタルラス
- ▲タイガーボード（耐火石膏板紙）
- ▲舶來ウオールボード各種
- ▲ルーフキング（便利瓦）
- ▲アスファルトフエルト
- ▲其他建築材料一般

◆木材部
- ▲米材各種
- ▲チーク材
- ▲ラワン材
- ▲床板各種

◆穀類部
- ▲内外小麥粉
- ▲内外麩
- ▲内外米

◆工業部
- ▲製粉工場
- ▲製米工場
- ▲金屬鍛工場

型錄進呈

◆田村商會創始
◆參拾五年經驗
◆施工全部請負
◆特殊圖案製作

田村商會

本店
神戸市榮町六丁目
電話元町（五〇一、五〇二、五〇三、五〇四、五〇五、

支店
大阪市西區靱上通り一丁目
電話土佐堀（六八八〇、六八八一
東京市日本橋區元四日市町
電話大手（三七〇五、六三六〇、四六七一、二五二六
横濱市港町一丁目
電話長者町 二五四〇
北米晩香坡市ダンレピー街
電話 八八一

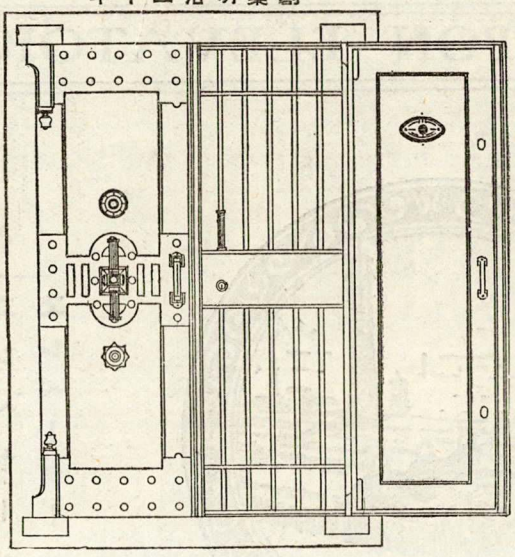
工場
神戸市兵庫新川
電話兵庫（九一、二四〇三、二四四、六四〇

新案特許

火焰遮斷裝置防火扉は

國立大阪工業試驗所に於ける耐熱試驗の結果
最高温度攝氏壹千貳百八拾度
連續加熱七時間十五分の新記錄を示せり

創業明治二十年



金庫室防火扉

金庫室は完全なる扉と
内部什器（書棚及書函）の
鋼鐵化に因り始めて絶對的
災害防止の効果を實現す

營業科目

金庫室入口防火扉
マンホール幷ニ窓扉
倉庫出入口防火扉
鋼鐵製書函並ニ書棚
美術建築用金物一式

御用命を蒙り納入せる尊名

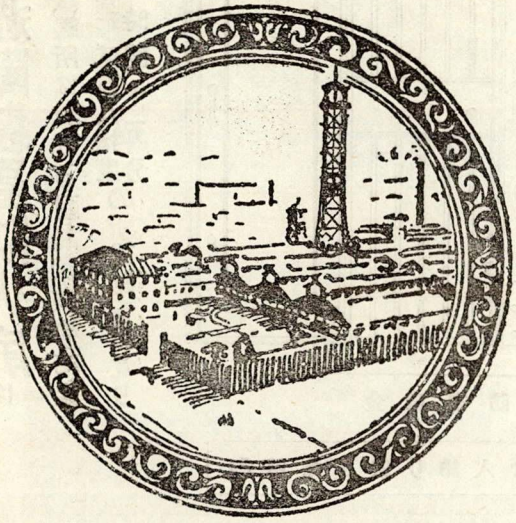
日本銀行名古屋支店
三井銀行
三十四銀行
山口銀行
野村銀行
伊藤銀行本店
名古屋銀行
明治銀行
大垣共立銀行
濃飛農工銀行
蘇原銀行
濱松銀行
中埜銀行（愛知縣）
大野銀行
灘商業銀行
武庫銀行
西海商業銀行
久美濱銀行
大垣貯蓄銀行
大阪貯蓄銀行
内國貯金銀行
朝日堂株式會社
野村證券株式會社
野村合名會社
奈良信託株式會社
東邦瓦斯株式會社
三井信託株式會社
三井物産株式會社
大日本人造肥料株式會社
豊國火災保險株式會社
東洋海上火災保險株式會社
三菱電氣神戸製作所
松阪屋呉服店（名古屋）
金光教大阪教會所
岡谷合資東京金物部
名古屋 岡谷本邸
萩町信用組合
株式會社鹽野義商店
株式會社武田長兵衛商店
芦屋 八馬邸
芦屋 竹内邸
名古屋 安藤商店
名古屋 池田商店
名古屋 岩津邸
京都 平瀬邸
京都 西郷邸
異市 三宅邸
西宮市廳舍
多聞合資會社
魚崎 中村邸
呉銀行本店

大塚鐵工所金庫部

大阪市港區九條南通一丁目一三〇番地
所主 瀧村松之助
電話西五〇一七番

工場 九條南通一丁目 三軒家上之町 北境川町

NIPPON ELEVATOR CO.



營業科目

一般輸送機械
ホイスト
エスカレーター
ケーブルカー
コンベヤー各種
エレベーター各種

製作設計

日本エレベーター製造株式會社

本　社　大阪市東區中道川西町
電話東(94) 2367

工　場　兵庫縣尼崎市外神崎驛北側
電話土佐堀(44) 7328・7329

支　店　東京驛前丸ノ內ビルヂング四階
電話丸ノ內(23) 3073・3074

取締役社長　工學博士　片岡安
專務取締役　工學博士　堀覺太郎

專賣特許　東松式外參拾壹件

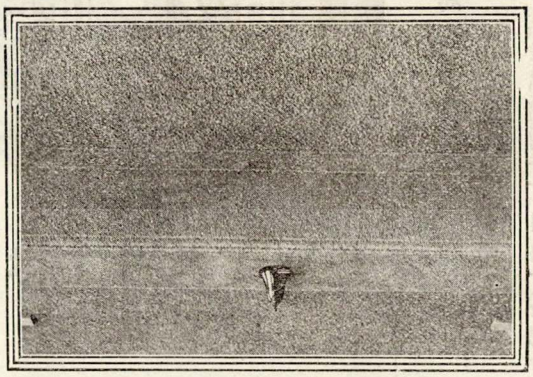
コンクリート天井

木造天井

防響裝置

專賣特許

劇場・公會堂・講堂
コンクリート建造室内の
反響(聲の響を)防ぐ壁なり



松井式スポンジ壁、(コルクとゴム
を四分厚みに塗り上ぐ)毛布張
其他防響裝置施工工事一切

大阪市立鶴尋常小學校　天井壁

未着手の設計濟

講堂	三ケ所	
劇場	二ケ所	
公會堂	一ケ所	

カタログ申越次第進呈

大阪市西區南堀江上通五丁目

松井組

電話櫻川一一七〇番

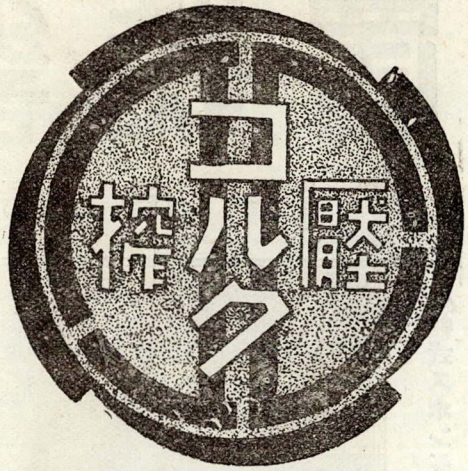
コンクリート地付木壁地付

床板

冷藏防熱用（製産高工場設備）東洋第一位!!

住宅敷物用、リノリユーム下敷用

炭化コルク

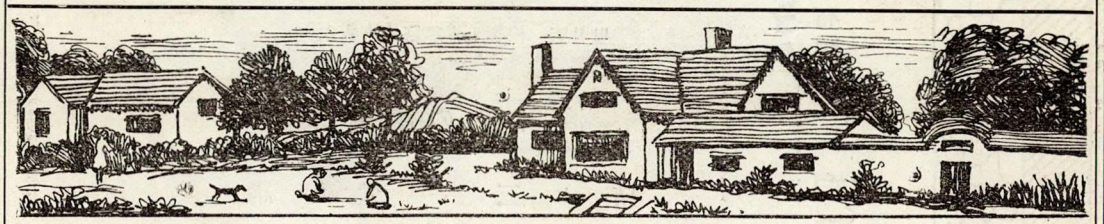


東洋工業株式會社
コルク部

本社及工場　廣島市吉島町
電特長一七九二

大阪出張所　大阪市北區堂島濱通一丁目百十番地
電話北一三八九

東京出張所　東京市神田區豊島町七番地
電浪花八五三番



建築・設計及施工

◇住　宅
◇英國風田園住宅各種
◇南歐式住家各種
◇米國式住家各種
◇純日本住家及改良式

◇公衆的小建築
◇學校、病院、教會堂、公會堂
◇劇場・ホテル・アパートメント
◇紀念碑・噴水・公園……等

建築案內郵稅共廿五錢

阪神沿線住吉
（東海道線住吉驛東南二丁）

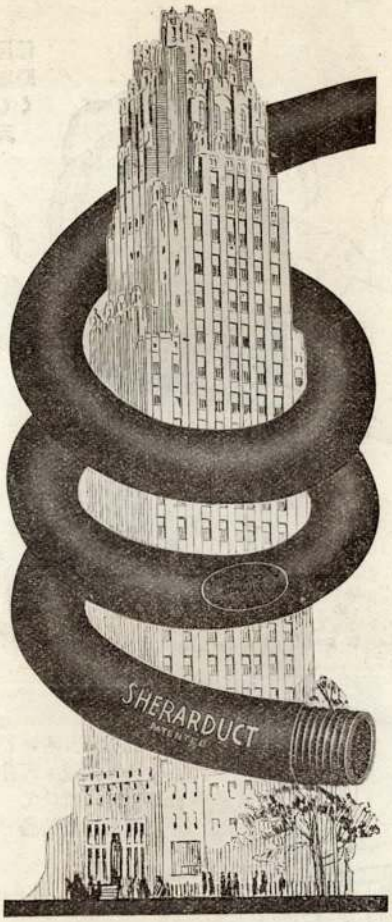
西村建築株式會社

社長　西村伊作

電話御影一五一〇

シエラーダクト

絶對防錆



優秀第一

型錄進呈

日本總代理店

ナンコク商事株式會社

東京　大阪　紐育

丸ノ内仲通十號館　堺筋・野村ビル　チヤーチ街

淺野波形板

母屋が木質でも鐵骨でも
野地板が勾配がなくても取付られる
天下無敵の屋根材

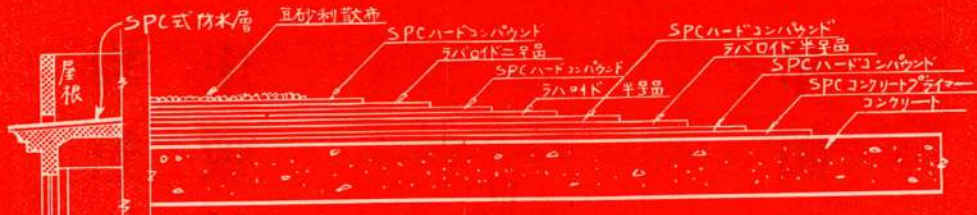


淺野スレート株式會社

東京	大阪	門司	名古屋	札幌
電話	電話	電話	電話	電話

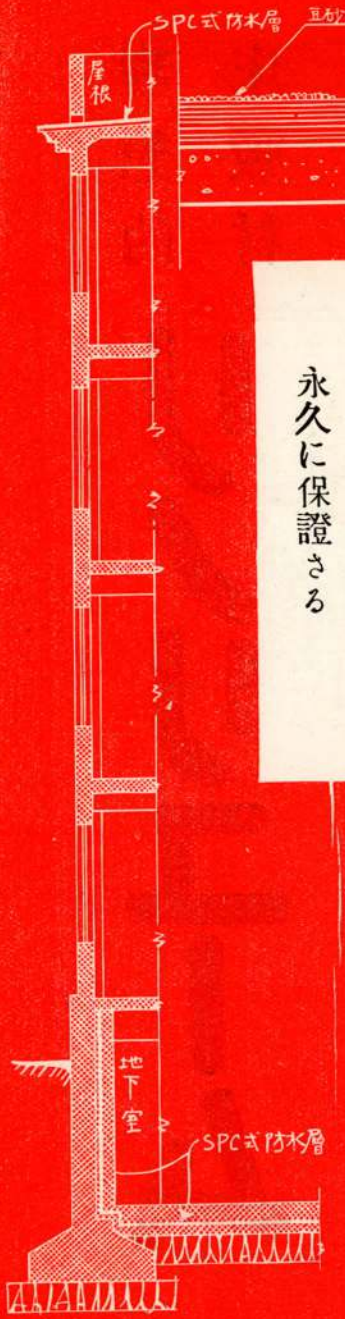
淺野壁板

強靱の石綿セメント製ゆゑ下見・内壁・天井・間仕切壁等に用ひて比類なき最敵品



SPC式 ラバロイド防水層

防水は
建築の生命である
防水の生命は
ラバロイドに依て
永久に保證さる



大阪市西區江戸堀北通一丁目二〇番地
株式會社 **ラバロイド商會**
電話土佐堀（長八五二番 三三三〇番）

門司市東本町二丁目
合資會社 **明正社**
電話門司（長 三七八番 六九〇番 一五六〇番）

理想的
床敷材
リノリユーム



東洋リノリユーム株式會社

營業所 大阪市東區瓦町二山口ビル四階

電話本局二〇六〇番
三九一〇〇番

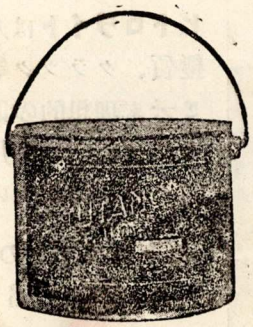
年額百五十萬平方碼

日本ペイント

創業明治十四年

槌印トタンペイント

トタン板は鉄板の腐蝕を防ぐべく表面に亞鉛をメッキしたものであるが　矢張り腐蝕を免がれぬので従來普通ペイントを塗つて居りました　然るに普通ペイントではスグ剥落して防蝕の目的を達し得ないのであります。
此の槌印トタンペイントは特種の製法により化學的にトタン面と融合作用を生じ決して剥落の虞れなく　且つ其中に有効なる防錆成分を含んでおりますから其名の通り唯一理想的のトタン塗料であります　是非一度試みて頂きたい。



東洋最大之工場

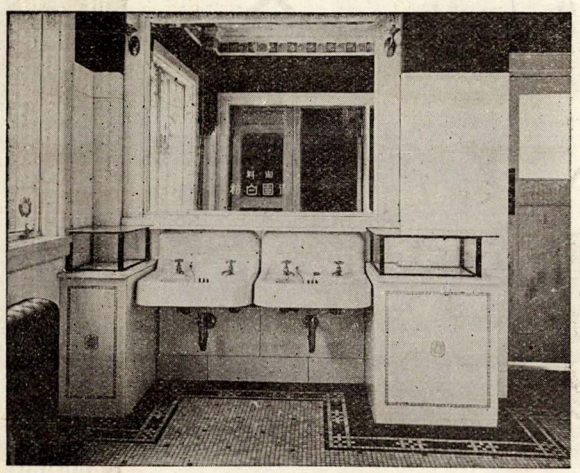
大阪　東京

純國産
ニュース印（日本ドアーチエツク製品）
扉閉鎖器（ドアーチエツク）各種

重なる納入先

農林省　大阪朝日新聞社
八幡製鐵所　大阪毎日新聞社
大阪鐵道局　大阪遞信局
呉海軍工廠　寶塚ホテル
株式會社大丸　大林組
丸龜市役所　清水組
大阪商船會社　大倉組
大阪鐵工所　大阪高等工業學校
明治海運　其他省略

發賣元
合資會社 **高陽商店**
大阪市西區立賣堀南通四丁目
電話新町四三九六番
振替大阪二一二五二番



便所…化粧室…湯殿

ビトロライトは永久に、汚染、腐蝕變質、クラツク等の憂は絶對にないと云ふ理想的の貼瓦材であります。これを便所に使用してはじめて衛生的と云ひ得るものではないでせうか

ビトロライトの大きさ
3尺×6尺
色合…白、黒、アイボリー、ジエイト

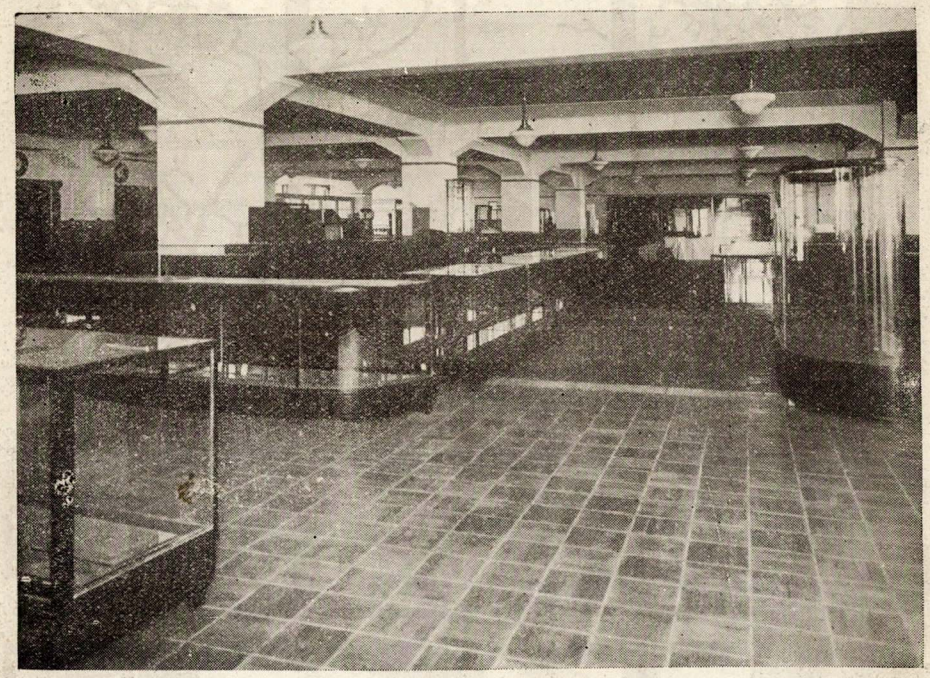
大阪市浪速區櫻川町一丁目一〇五四番地
大阪ビトロライト工事合資會社
電話櫻川二二一四番
出張所　東京市日本橋區江戸橋二丁目二番地　電話日本橋(24)〇九六九番

▶寫眞は新案特許・專賣特許リソード床御使用の◀

阪急マーケット

◎竹中工務店　施工

◎施工面積　千百坪



理想的根太無床板

專賣特許
練革床

特許ピトリウム床
特許ピトチック內外壁
特許葵式フローリングブロック

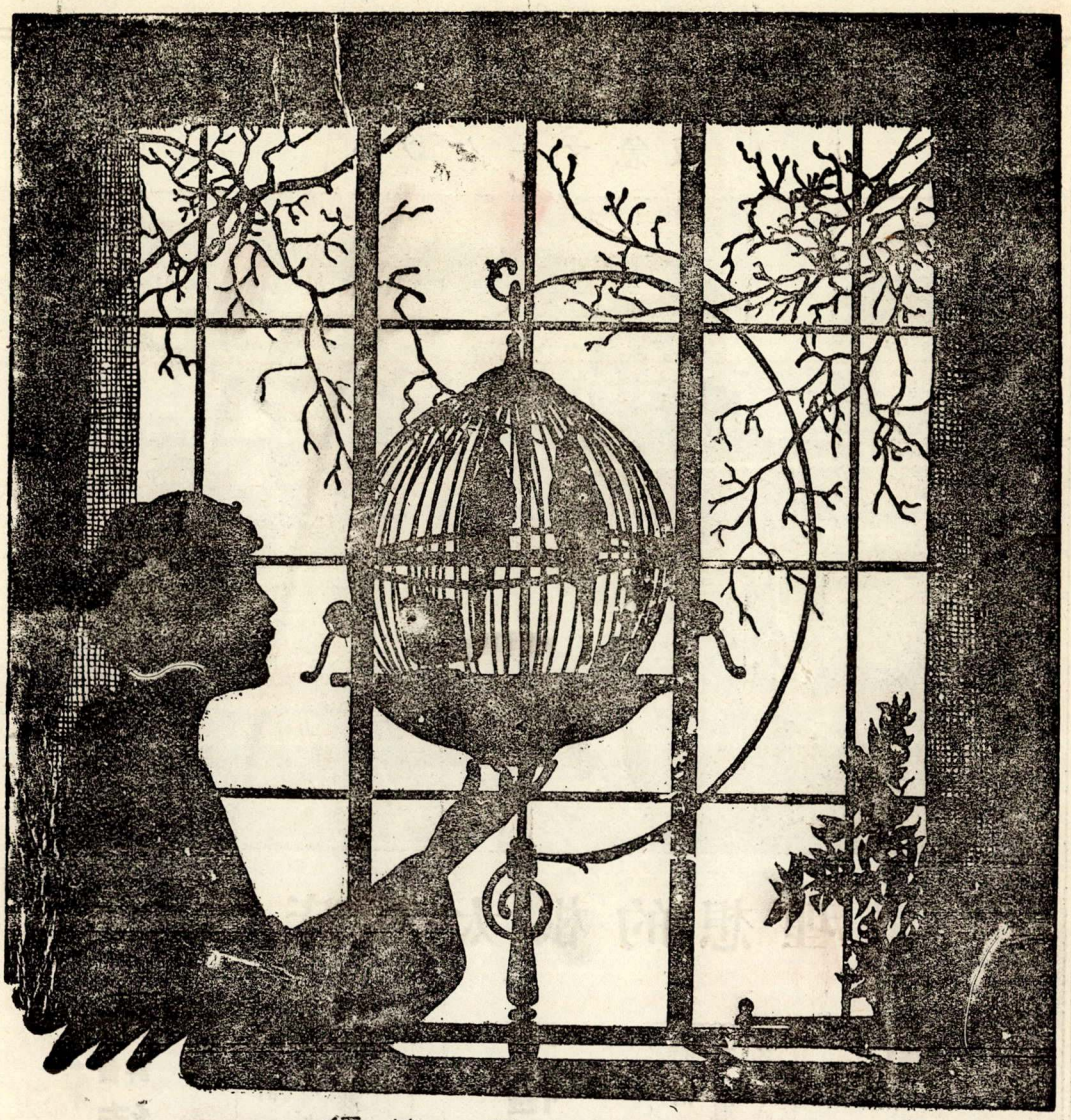
實剝
檜床板

特許葵式淨化裝置
水道、衛生工事
タイル、衛生陶器

衛生工事

葵商會

大阪市港區境川町四丁目四十番地　電西〔長〕四一九六
東京營業所　東京市京橋區木挽町二ノ一　電話京橋三九五・九三二



優美な姿と
藝術的な線の

ルミナ・ケースメント窓

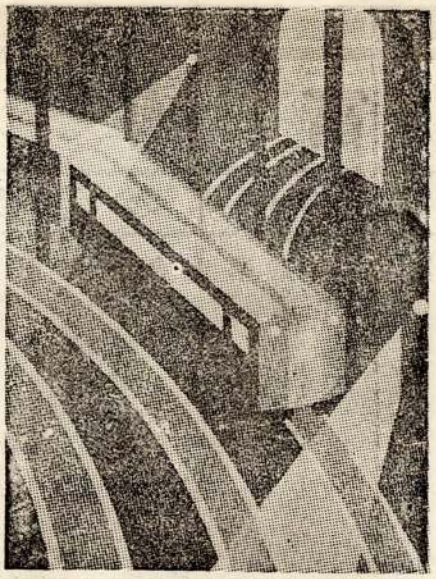
新カタログ出來ました。御一報次第送ります。

各地代理店

工場代派者			
横濱	東京・大阪	朝鮮京城	滿洲大連
エッチ・イー・ルート事務所	島貿易株式會社	株式會社伊藤商行	合名會社原田組

DETROIT STEEL PRODUCTS CO., DETROIT, MICH., U. S. A.

AD-38B-L



既に17年間も

紐育・ボストン地下鐵道各線に亘り、完全に
ミンワックス防水の任に
當りつゝあり。

ボストン地下鐵道設置の最初に於ては、種々雜多な防水工法が、持ち出されて居りました。ミンワックス會社が、結局防水の件に就いての相談役に任じられまして、完全なる防水工法を推薦した結果、今日ではミンワックスが、地下鐵防水のスタンダードさへなつた様な次第です。ミンワックス、メンブレン式防水が、全線に施工されましてより今日17年後、防水價値滿點、生きた實例として世界に冠たる謂であります。

ミンワックス會社はフアブリックを防水に使用したる、そもそもの本家であつて、そして此の式が今や最も經濟的であり實用的であるが故に技術界の標準になりました。

即ち、震動やバイブレーション又は最大の防水を必要とする處には、ミンワックス、メンブレン式防水工の右に出るものが有りません。

各地代理店にて何時でも御相談に預りますと同時に參考資料を贈呈致します。

MINWAX CO., INC.

日本特派代表者　横濱●エッチ、イー、ルート事務所

各地代理店

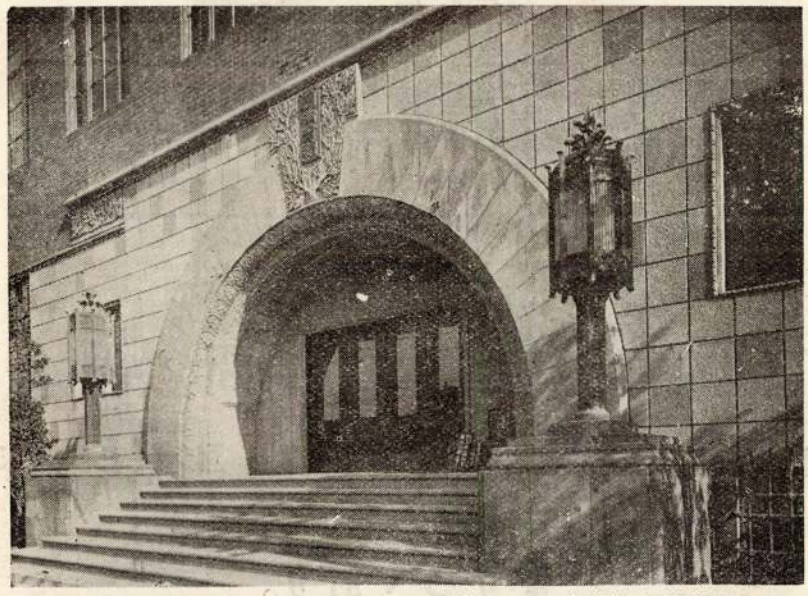
東京 大阪 島貿易株式會社　朝鮮・京城 株式會社伊藤商行　滿洲・大連 合名會社原田組

AD-37 B-M

登錄 **石國富**

人造石界の巨擘

寫眞は東京學士會館正面玄關



（アーチを除く他のアシユラーワーク及玄關部パネルは全部富國石御使用）

株式會社 **平田商店!!** **製造**

三機工業!! **販賣**

——主ナル御使用先——

總理大臣官邸・內閣書記官長官舍・岩崎邸外各邸宅
京都府立醫大・東京商大・早大外各專門中等小學校
鐵道省・京都府廳・福岡縣廳
橫濱市港灣部・日本赤十字社・各官廳
第一、三菱、安田・山口、川崎第百・川崎貯蓄、大阪貯蓄外各銀行
博多、安田ビル・京都ビル・高島屋外各會社ビルヂング

總代理店

三機工業株式會社

本店　東京市麴町區內幸町一ノ三（大阪ビル內）
電話銀座(57)5330—5335 (6)2831—2833(3)
支店　大阪市東區備後町二ノ二一（野村ビル內）
電話本町1166• 1525

取扱店　各地三井物產株式會社支店機械部

小住宅研究　第二集



大大阪の新態・舊態　堂島川の可動堰

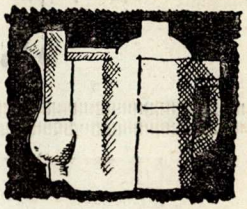
日本住宅の改善

時代の思潮の變遷からして、世界各國に於ける住宅に對する諸問題は、今や緊要性と重大味とを帶びて來てゐる。我國亦然り我國從來の住宅は現代の文化に適合せず必然的に之が改良を要する點が多々ある。即ちその構造なり設備に於て、或はその經濟的、能率的、衛生的見地に於て。

而かもその改善を論じ改良を稱する千態萬樣の所謂改良案なるものがあるが、未だ適切なるものあるを寡聞にして知らず。この儘に時と偕に推移せんか、それは國民生活の根底を動搖せしめ。その歸趨を迷はしむるものである。

この問題は爲政家が等閑に附して住宅改善の實を擧げざるに原因するが、吾々建築に關係ある者にも亦その一半の責任あるものではなからうか。

然りとすれば、吾々建築家は率先之が衝に膺り、一方爲政家、學者其他具眼の士の協力を得て之が解決を促し、幸福なる生活を一刻も早く齎すべきではあるまいか。



住宅論の序曲

伊藤正文

(1)

現代文化が内包する、建築の種別は、實に顆多である。けれごも現代人が如何に多様な生活樣式を持つとはいへ、結局各自の個人的生存が、根本であつて、社會生活のあらゆる形式は、個人の生存への爲の手段であると考へられるこするこ、個人の生活も個人が社會の中に生きようこする爲の形式を踏まねばならぬわけではあるが、すべてそれが個人にこつて、最も直接的である以上は、此顆多な種別の建築も、現代生活樣式の、夫々の方面に於ける夫々の意義を分擔するものであるとはいへ、遂に生活に最も緊密なる關係をもつものは住宅であると云ふことが出來る。

何程、政治的の、又は經濟的の或は社會的の構造が複雜化するこも、人間が生活することへの直接關係は常に住宅に繋がれなければならぬ筈である。

建築は住居から出發して、宗教建築、宮殿建築、政廳建築、商業建築、工業建築へと進展して來たことは建築歷史が教へてゐる。そして、住宅は之に伴つて、進みつゝも、それ〴〵の時代的環境の狀態の下に、其他の建築からも、夫々の影響をうけて來た。

何故に、それ等の影響を受けたか?

宗教建築が、建築の王座を占めた時は、宗教の最盛時であり、僧侶の勢力の如何に盛であつたかを物語る。

宮殿建築が、映ゆる時は王侯の封建的威力を示し、政廳建築の壯麗なる時は、官制的統制の完備を表し、商業建築の勃興は、資本主義社會に於けるデモクラシーの高度の發展を知らしめる。工業用建築の盛大は、資本主義に伴ふ科學の發達によつて、生産力の多大なるを裏書する。嘗は宗教の時代であり、貴族の時代であつた社會は現代に於て科學の時代に入つた。

それ等はやがて、我々をして、それ等の社會的事情の下に於ける個人の生活樣式こ、それから導かれる意識とが、住宅形式の絶えざる改變をなさしめることの、理解を得しむるであらう。

過去から、現在未來を通じて、住宅が、常にあらゆる建築に比して、生活に就いて直接的であることから、社會形態が建築に及ぼす影響は、住宅に於て最も鋭敏であることがわかる。

住宅を如何なる方面から、取扱ふこしても、生活の問題こ技術の問題こその二つが常に提示される。生活の問題とは、所謂住居問題として取扱はれる社會經濟上の立場よりする研究と、人間生活の根本的なる働きを主題こする機能主義的立場による問題こがある。

技術上の問題は、寧ろ、以上の立場に對して、第二義的であり、一般建築の工學的考査によつて解決し得ることが多いであらう。

私は住宅及住居の問題が、住宅論として說かるものへの、一つの序曲こして、此小論を進めよう。

(2)

今、我々の時代に於て、解決を求められつゝある住宅問題は、高壯なる邸宅でもないし、清楚な別莊建築の問題でもない。人文史以來最大の住宅問題の惱みは現代に於てある。

そして、現代都市に於て、特にこの問題が緊要なる社會政策上の問題として取扱はれつゝある。高度の資本主義文明の缺陷を補はんこする施設的の問題である。それは、都市計畫こ連關して、來らんとする時代の生活樣式への誘導公式こもなるべき使命を負はされてゐる。問題の對象は、一般大衆の住居にあるのであつて、人口の都市集中を結果する現社會形態下にあつては、一般大衆の經濟問題とからんで、必然にして避くべからざるトラブルである。

現代に於て、都市生活のあらゆる要素は、急激な變化を遂げてゐ

る、けれども、住宅については、極めて僅少な改變しか認められないと云ふことの事實が、常に矛盾を孕む。住宅の改良——それは單に技法のみによつての——によつて、勞働者の能率を增さしめること位は、現代の資本家すら充分悉知する所であらうが、理論に於てさくに說かれて居ながらも、實施の例の比較的少いことは、そもそも何を語つてゐるか?

此問題の對策としては、アパートメントハウス、集合住宅、小住宅の施設に唯一のキーが、解決の爲に與へられてゐる現狀である。

がしかし、此等についての詳論は、茲に說くのを目的としないつもりであるし、一方、社會施設的の立場から、各方面の當局が、その實施について研究を重ね、或はその緒についてゐることは、大都市の社會事業にもその例を見ることが出來る通りであるが故に、敢て、問題の序曲としては更に進むこと、する。

資本主義の發達は、科學文明の勃興を來し、機械の進步を多大ならしめた。現代の社會に於ては、科學的考査の基礎なくしては、すべての問題を解決し能はぬ狀態である。藝術すらも、過去の時代に於ては拒否した科學に、却て、その技術的立場を求めて進みつゝある。

近代社會の中には、あらゆる樣相の建築の種別が、並行して發展してゐる。高度にある經濟組織下にあつては、此機械力の濫用によつて、事實凡ゆる樣相のものを作り出す可能性が與へられてある。その濫用は、映畫メトロポリスに暗示する樣に、却て人間が、機械の支配をうける有樣を、將來に豫想出來ぬものでもない。メトロポリスに現されてゐる地下街の勞働者住宅ではなくとも、現時一般に施設さる、勞働者住宅の僅少な例を見ても、單に、勞働者の住居費を、節減する以外には、寧ろ地下街の夢想よりも甚だしい陰慘な住居に甘んぜしむる程度のものすらも見掛けられる。階級化されたる現實の社會狀態は、住宅建築に於ても、明かに種々の矛盾を認めしむる。住居問題は現實の問題であり、書齋の中の思想でもないし、圖板の上の建築的技巧研究の遊戲的操作でもなくなつてゐる。

今は却て、住宅は、建築の本源的のものである所に立歸つて、眞に透徹した理智的態度によつて、解決への道が切開かれねばならない時である。小住宅、集合住宅、共同住宅として、現代社會に登場した建築は、將に茲で取扱はるべきそのテーマである。

(3)

現代の科學文明は、住宅をも、合理的、實用的に機能するべく、組織せしめる。

住宅のみならず、一般現代の建築思想は、機能主義によつて、傳統的建築の嘆美的ロマンチシズムから絶緣する。

住宅に對しても、懷古的な滋味や、寂びに戀々することを捨てゝ、合理的實用的なる、コルビュジエの所謂住居機械を作ることに、價値を認識せしめる。又如何にしてその機械に、美的形式感を賦與せしむるかと云ふことが、新しき時代の住宅への技術である。

機械と美術の接近と云ふことは、理智主義を基調とする現代の特殊現象である、そして此特殊現象は、インターナショナルな建築思想に於て、極めて着實に、具體化されつゝある。然し之は單に建築のみに限らない。——

(雜誌、思想、昭和四年四月再刊號、板垣氏「機械文明と近代美術」)

機能主義は、合理と實用とが、滿さるゝことによつて目的を達せられる。現代住宅の機能は、現代社會に生活する我々の生活條件と意識とを指標として、合理的であり、實用に叶ふべき事でなければならない。たとへ美的形式感の滿足であつても、全目的でなければならぬ。

コルビュジエ、ブルノータウト等は、小住宅の空間的組織に、多くの研究的作品を發表してゐる。

間取の動線の研究の如きも又、此機能主義的立場から爲されてゐるものであることは云ふ迄もなからう。——本野精吾氏の研究——

一九二七年のスツツトガルトの住宅博覽會の如き、その結果の如何よりも、所謂住居問題の質的解決への一步を踏み出した事に於てかなり重要な意義を認めるものである。

主催者である市當局が、眞に此問題への正しい理解を有し、將に現代の社會的事情を知つて、新進にして、しかも、歐洲各國から依囑した建築家達に建築上の計畫を一任したことは、問題の解決への第一歩を踏み出したことゝ共に、その賢明なる方策に敬意を表したいと思ふ。歐洲の都市は、アメリカのそれに比して、遙かに鋭敏にして決斷のあることは爭はれぬことであり、實行に際して常に怯懦でない事も敬意を拂ふに價する。

アメリカの高層建築が ——Woor worth building や Chicago Tribune-building に於けるごとく——新時代の産物でありながら、なほ無氣力な傳統主義の外被に掩はれてゐる間に、中歐諸國の建築界は、純然たる現代風の樣式を創造した。機械文明を代表する、美術の最も光彩陸離たる發現は、眞に建築にこそ認められるべきであらう。（前拔萃同斷）

スツツトガルト市の博覽會住宅の中では、コルビユジエ氏の作についても、其後の實際使用の成績に就いて、兎角の評が爲されてゐる。——上野伊三郎君の評論紹介による。——けれども、それは主として住む人々の多くが、住宅に對して有つ、或る既成概念にあてはまらぬ點を不滿に感ずることが原因の多くをなすのではあるまいかと思ふ。

コルビユジエ氏としては、彼の建築思想から、確信を以つて創作したものであるに違ひないし、それ等の住宅について『二つの住宅』のパンフレツトを出版して、世の批判に訴えてゐる所を見ても、彼が此機會に、如何に眞面目に此等の問題を取扱つてゐるかゞわかるのである。

(4)

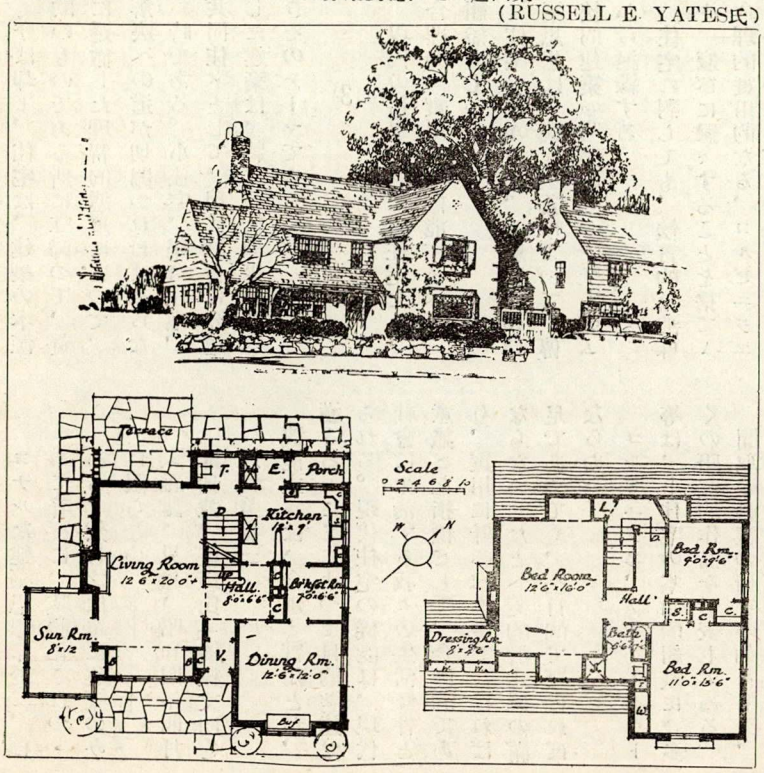
現代日本の住宅は、未だに、椅子か疊かの矛盾に惱まされてゐる二重にこゝのへることから、漸く多樣さを喜ぶことに慰められてゐる有樣である。

けれども、一日の大半をビルデイングの事務室に、或は鐵骨の工場の中に過してゐる一般勞働に從事する民衆の家庭が、未だに疊式の借家普請であることは、生活上のギヤツプが甚し過ぎる先づ第一の事柄である。場合によつては、その爲に、外に働く男子と、家庭にある主婦其他の女子との生理狀態に、多大の懸隔を來し、或は又食物嗜好物、趣味的感情、更に彼等の性慾感に迄、全く一致を欠くが如き場合すら想像出來る。

種々の理想、論議、獨斷、等にか、わらず、やがて、日本の住宅も早晩、疊式から椅子式に變へらるべき必然性を持つてゐる。

只現在に於ては、借家は單なる家主の營利本位の下に、疊の帖數を單位として、出來得る限り安價な工費を以て、出來得る限り短時日の間に、資金の回收を計る樣に企圖されてゐるに過ぎない爲に、

米國デトロイトフリープレス誌募集模範住宅選入圖案
(RUSSELL E. YATES氏)



建築として取扱はるべき程度に迄達してゐない、要するにバラックである。震災後でなくても、日本の小住宅を見ると、バラック日本と云ふ感を深くする。

社宅、官舍の如きも、一般の借家を標準として、僅かに材料の取扱、或は間取に考慮を拂ふか否かの程度の狀態であるから、社會が之を住宅なりとする觀念にさらはれ、その低い觀念からかへつて、『日本人には從來の日本住宅が最も適する。』と云ふ樣な謬見が、根底ある理論であるかの樣な外被を呈することゝなるのである。

之が、現代日本の住宅に對する大きな觀念的誤謬である。斯くの如き誤られつゝも常識的に範疇を與へられてしまつた結果の錯誤が日本の到る所に散見する。

東京のアパートメント、小住宅或は其他の都市のものについて見ても、鐵筋コンクリートの構造體の中に、日本家屋をはめ込み、之を大體六帖敷宛位の標準をさつて寢室又は居間に配する。之等の建物は勿論相當技術的に研究された結果、新時代の小住宅としての幾分の理想を表したものゝ筈であらうが、或場合には却て、在來の日本家屋の方が比較上生活し易いことすらあると云ふのは如何なるわけであらうか?

間隙の多い眞壁造りの日本家屋に比して、鐵筋コンクリートの壁體に廻らされたものは如何に換氣口を設けても、自然換氣の狀態は惡い筈である。それが鬱陶しさを感ぜしめ、反動的に、純日本家屋への鄕想的な感情に走らしめる事になる原因の一つでもある。寢室としては八時間睡眠するものとして、一人當り五〇〇立方呎の空氣を要する計算が立てられてゐるが、コンクリート壁の三坪の寢室に二人或は三人、時に四五人も雜居睡眠することは、在來の日本家よりも遙に非衞生的であり、不快であるに違ひない。

けれども、新しいアパートメントやコンクリート小住宅に生活する人々は、只、うつとうしさを訴えてゐるに過ぎないのは、小規模の借家普請の室面積に馴らされた結果、誤られた住宅觀念によつてそれを見て居る爲であらう。

(5)

又住宅施設として新設せらるゝものを見ても、諸外國の小住宅施設のプランに比して、頗る狹少な床面積しか與へて居ない、と云ふことは、折角の施設的事業をして却つて無意義ならしめるものであり工費、用地費用、等の不充分なる豫算によることは云へ、寧ろ、斯の如く、何等改善の意義のない施設的建築が、謬られたる住宅觀念を助長するの害を恐れざるを得ないのみならず、我國の都市に於ては事業計畫について全く無理解なる人々すら事にたづさはるのも止むを得ぬ程度にある位である。某都市が勞働者の無貸宿泊所を計畫した時に、その會議にあづかつた一議員は、勞働者にはコンクリート建築の必要なしと力說したと云ふ話もきいたことがある。その無智を笑ふよりも、議員ともある人々の意識の程度を、顧みて日本の都市現在の社會施設が、如何なる速度で實施せられつゝあるかと云ふ點に、或は如何に古い常識によつて判斷されつゝあるか、又は計畫が實施に運び移される間に如何に無意味なものに改變せられるかを秘かに想像して、諸外國との差異を更に痛感せざるを得ない。

小住宅の施設的計畫は、溫情的政策の手段ではないのは勿論であるから、借家の不完全なる日本家屋に比して全く種を別にし、一般が、之を標準とする程度のものが實施さるゝならば、やがて、營利本位の借家にも漸次改善の機運を止むを得ずとも、與へ得る樣になり、初めて、施設的の効果を示すことが出來るのではあるまいか。

之については、六大都市當局の如きは、現代日本の一般社會生活について、眞に理解ある建築家を囑して、スツツトガルト市の如く試みに、現代としての理想的小住宅の計畫實施をなさしめるが如き或は時代の事情にふさはしい一つの方法でもあらうかと考へる。

(一九二九、四、一二)





住むための機械

大阪朝日新聞社調査部長
藤田進一郎

一

現代精神の末梢神經の尖端に立つてゐるやうなモダン建築家、世界的に名を知られたル・コルビュジエによると、住宅は「住むための機械」ださうである。

現代の科學は、人間までも機械にしてしまふんだから、人間の住む家を機械にするぐらゐは朝飯前のことであらう。また人の乘る汽車や、自動車や、飛行機が機械であるがごとく、住宅もまた一つの機械であるに相違ない。

機械化は合理化の別名である。住宅を住むための機械とする思想は、現代の理智主義を、最も簡明に、最も具體的に表現してゐる。現代の理智主義が、住宅建築にのりうつつて、住宅を徹頭徹尾合理化し、そしてそれを一つの純然たる機械としてしまつたに不思議はない。

二

コルビュジエの手にかゝると、最早平安朝時代もなく、鎌倉時代もなく、室町時代もなく、ルネツサンスも、ビザンチンも、クラシツクも、ロココも、みなすでに消滅し、ゴジツクのアーチも、ロマネスクのドームも、セセツシヨンの裝飾も、ことごとく過去の遺物にすぎない。傳統の形式がどうあらうと、一切それに頓着せずに、たゞ科學的でさへあればいゝのである。衛生的、經濟的でさへあればいゝのである。生活に都合さへよければ、それでいゝのである。

そこにはたゞ赤裸々の合理化された生活があるばかりである。

三

住宅の機械化も、しかし生活の合理化といふ點からみれば、あまり新らしい思想ではなさそうだ。婦人の衣服にしても、袖の長い、帶の窮屈な、裾のまつはる日本服から、だん〳〵と輕快な洋服に移らんとする傾向があり、おなじ洋服でも、むかしと今とで非常な相違がある。大そうらしく飾毛や、草花などを澤山につけた廣い帽子はもう流行せず、細腰を絞るコルセットも全く廢れて、スカートはいよ〳〵短かくなるばかり、なるべく衛生的に、なるべく身輕に、肉體のあるがまゝの姿を、なるべく外に生かさうとしてゐる。食物にしても、カロリーなどがやかましくいはれ、榮養料理の獻立は、ラヂオの放送で民衆化され、科學者の間では、化學的成分で調合した藥品のやうな、いはゆる綜合食料（タブレツト）なるものが研究されてゐる。今に一日三回服用すれば、他に何の食事をもとる必要のないやうなことになるだらうとも噂されてゐるのみならず、今日のラヂオの放送局のやうな、エネルギーの中央放送所ができ、電力が何かの樣に、そこからエネルギーの放送をうけると、今日すでに無線電信で軍艦を動かしつゝあるごとく、人間が食物なしに、自由自在に活動のできるやうになるだらうことも、いはれてゐる。かうして、衣と食とが機械化され合理化されんとしつゝある際に、住宅ばかりが、いつまでも、むかしのまゝにとり殘されようとは考へられない。ちやうど、衣服から無用の裝飾的分子が除かれ、食物が榮養のエキスになつてしまふやうに、住宅も合理化に合理化を重ねて、遂に純然たる一片の機械と化し去るのも、自然の成行であらう。

四

室内の裝飾にしてもその通りである。そこに一々扉のボタンや、電燈用のスヰツチの端に至るまでも、現代理智主義の尖鋭的な表現の具とならなければやまないであらう。まだ見たことはないが、聞くところによると、グロピウスの設計した室内電燈のごときは、導線を入れた數本のアルミニユム管の組あはせによつて、室の内部の空間的機能をすつきりと生かしたものであるさうだ。つまり試驗

管のやうに簡單な形をした壁面裝飾のやうな照明器が、あの大げさなシャンデリアにとつて代らうとしてゐるのである。

獏といふ獸が、夢を喰ふやうに現代の合理化は、すべての裝飾の詩美さへも喰つてしまふ。

五

しかし、住宅が、住むための機械となつてしまふには、單に建築家の時代精神の天才的、創造的表現といふことばかりではなしに、さらに、一般の社會的境遇の變遷をも考慮してみる必要がある。

住宅の合理化は即ちそのうちに營まるゝ家族生活の單純化、合理化の歩調を合せてゐるのである。

むかしの家族は、いろ〳〵の機能をもつてゐた。產業的、教育的宗教的、休養的などであるが、近ごろはだん〳〵と、これらの機能は、家庭以外に移つてしまひ、家庭はたゞ一組の夫婦の生活に快適でさへあればいゝといふ場所になつたのである。住主の生活本位になつたのである。これは家族生活の合理化、または機械化ともいふべきであるが、住宅の合理化も、實はこれから初まつたのだ。

家庭はむかしは工場であり作業場であつた。男女はそこでおのおの家庭工業に從事した。しかし、この機能は、今やすべて大きな資本家の工場へとうつされてしまつた。家庭はまたむかしは學校でもあつた。子弟はみなそこで職業的指導と訓練とを享けて一人前の社會人となつたが、これも今日では全部學校へと移されてしまつた。また休養的機能をもつてゐたが、大衆の娯樂がスポーツや活動寫眞に向いてしまつた今日では、家庭に休養を求めるものなどは殆んどなくなつてしまつた。

かうして家庭は、たゞ寢るところ、簡單な食事をとるところとのみなつて、極端に單純化された結果が、遂に、住宅の機械化となつたのである。

住宅の機械化は即ち住宅の標準化である。標準化されて、フォードの自動車のやうに大量生產される住宅は、たゞその機能の標準化された家族生活の需要に應することができるのである。

六

殘るは美の問題であるが、現代人にとつては理智は宗教であり、神であり、藝術であるから、最も機械化され、理智化されたところに、自由に美を發見するに苦しまない。

コルビュジエも、基礎的な新美學を意味するものは、角柱と、屋上庭園と、自由な平面形成と、正面形成と、長窓とだといひ、また『技師の作品こそ、偉大な藝術への道である』といつてゐる。

つまり何ごとにせよ、われ〳〵の現代の生活に、ぴつたりと接觸したところに、われ〳〵はすべて新らしい快心の美を認めるのである。(終)



住宅問題の世界的の動き

上野伊三郎

一 總ての人間に健康に適する住宅を與へよ

すべての人間は獨身たると一家族たるとを問はず住宅を有することが必要であることは、他の動物に於て見ると同樣である。人間に於ては高等動物としての生活を營む必要上、保健衛生に適し又快適な住居を要すること當然である。然るに現在の全ての人間は充分な又、他動物以上の住居を與へられてゐるかと云ふと殘念乍ら然らざる有樣は誰しも知る通りである。こゝに於て近代すべての人間が生存權を主張する傾向に伴つて、又人類相愛の思想によつて、歐米諸國に於ては住宅改善問題が夙くよ

り起り、着々として國家的に研究を進め、公營住宅を盛んに建築して、不足住宅補充及不良住宅の改善を圖つてゐる。近時の外來の雜誌に毎號其記事又は寫眞を掲載しないものは無い程の盛況である。

之を我國に見るに、所謂市營住宅なるものが輿論なるものに引きずられて、極く少しづゝ現はれてゐるが、耐震耐火構造のものは到つて少く、多くは、從來の貸家と大差なき、西洋人に云はすればバラック建の日本式安建築に過ぎない。

浴場、洗濯場、中央煖房設備、等々の完備せる歐米の公營住宅とは比較にならない貧弱さである。日本は貧乏だから等と云はないでほしい。世界の大戰後將に破産せんとし、今猶經濟的に問題にならぬ程の、慘めな有樣の墺太利でさへズンズンと立派な公營住宅を建てゝゐる事實がある。日本では建てられないのではなくて、建てないのである。申し譯け位しか建てないのである。そんなことよりも市會議員は利權とか稱するものゝ方に興味を惹かれてゐるらしいのである。

二　都市村落構成細胞としての住宅

住宅が少數集つたものが村であり多く集つたものが都市であり大都市である。

住宅は村や都市を構成する重要な一要素である　從つて住宅を考へる場合に、村なり、都會なりを度外して考へることは出來ない。

現代都市の住宅は先づ、都市としての設備を考へて後その一細胞として、各住居の間取及設備を考へる必要がある。

即ち今迄個人個人が別々に有してゐた井戸は上水道となつて全市に給水し、個々の蠟燭や石油ランプは、電燈となつて全市に共通の利害を與へ、竈は瓦斯によつて同一工場より供給せられ、便所の汚物は各戸の淨化槽を廢して共同の下水に放流處理されるといふことになる。

尤もこの下水道は、世界の一等國我大日本帝國に於てはいまだ東京と名古屋に一部丈け工事が出來てはゐるが、完備してゐる都市は一つもないといふ甚だ困つた現狀である。

之が賢明な當局者に解らぬ筈はないからもう十年もすれば、各都市には下水が完成されて、夏期になつても蠅取りデーだとか、石油乳劑の配附だとかは無くなり、赤痢、チブス、等々の傳染病も跡を絶つことゝは思はれるが、現在では兎に角、まだ蠅取りデーや家庭淨化槽が必要であるのであるが——兎に角、都市は一つの有機體として生活する。

從つてその細胞たる住宅は思ひ思ひの個人の我儘は或程度迄許されなくなつてくる。建築法規の制定も、共運用に兎角の評はあるとは云へ此主旨の表はれの一つである。只此法規はミニマムの制限に重きを置いてゐるが、進んでマキシマの制限をも行ふことゝなるだろうと思ふ。

即ち、住むに家なく公園のベンチや橋の下に寢る可く餘儀なくされてゐる者のある一方には、大都會の眞ん中に深林、湖沼を有する大邸宅を構へる人もあり、又六疊一ト間に三家庭が同居するといふ人達もある。

個人の我儘が許されないと同時に都市としては公共の設備を充備する義務があるのであるが、我國では前述の下水の不備、道路の不備等があつて我國の都會の住宅は未だ歐米のそれの如く理想的に又經濟的にはゆかない。

道路の惡いことも下水道の不備同樣な不都合を住宅に與へる。夏になれば明け放した住宅の窓からは、土埃りが盛んに入つて眞つ白に積る。即ち住宅の室内に於てさへ土に親しむことが出來るといふ飛んでもない田園趣味を味ふことになる。又道路の汚いために洋風の應接室があつても一々靴を脱がされる。

即ち都會の住宅を衛生的に完全にしようとする爲めには、先づ都市としての設備を完備するの要がある。

三　割據的住宅より成る我國の都市

我國の都市と歐米の都市と外觀を比較して最も異る處は歐米の都市の住宅が共同住宅の形を採つて三階乃至五階、八階の大建築物たるに對して我國の住宅は各家族が別棟に割據し或者は周圍に墻壁を圍らし、庭園はすべて各自に閉鎖し

て他のうかゞひ見るを許さず、正に家族主義的排他主義である。

從つて貸家と云はず、各個所有の住宅と云はず、平家建か二階建位の低い家、外國で所謂ランドハウスの形式又は長屋建築であつて田園のない田園都市か、村落を集合せしめたような景觀を出現し、泥だらけか土埃りだらけの道路の上を電車や自動車が猪の如くに突進してゐる。

そして火災が起れば少くも三軒や四軒は瞬く內に燒失してしまふような輕量木造建築である。外國人が日本の家は竹と紙とで出來てゐるそうですね等と提灯と間違へたようなことを云ふのを聞いた時には愛國心が大に發露して、丸ビルの繪ハガキを突き付けて大に辯明したことがあつたが、日本へ歸つてツクヅクと考へると、ドウも提灯建築の方が多いようで愛國心が冷汗を流してゐる。

外國に於ても共同住宅は人間の生活に最も適した住宅形式としては考へられてゐないのであるけれど、都會に住む必要ある人が多數に集中して來るのを收容する爲めには、此形式を採るより外には、より經濟的な（大、小共の意味に於て）良法がないのである。

即、共同住宅は數十の住宅が共に廊下や階段を使用することによつて、其面積を充分に節約することが出來、煖房設備、入口の番人浴室、洗濯設備、同乾燥設備、進んでは子供遊戲場等迄を共用することによつて、之等を完全に設備し又經濟的に利益に浴することが出來る。

即ち各個の住宅と都市との中間の一つの單位をなすものである。

共同住宅形式に依つて住宅を積み上げることは又都市的に道路費負擔の輕減又は設備の完備を容易ならしむること、交通機關の能率をよくすること等の利益を與へ又商店の繁榮にも利する處が大である。

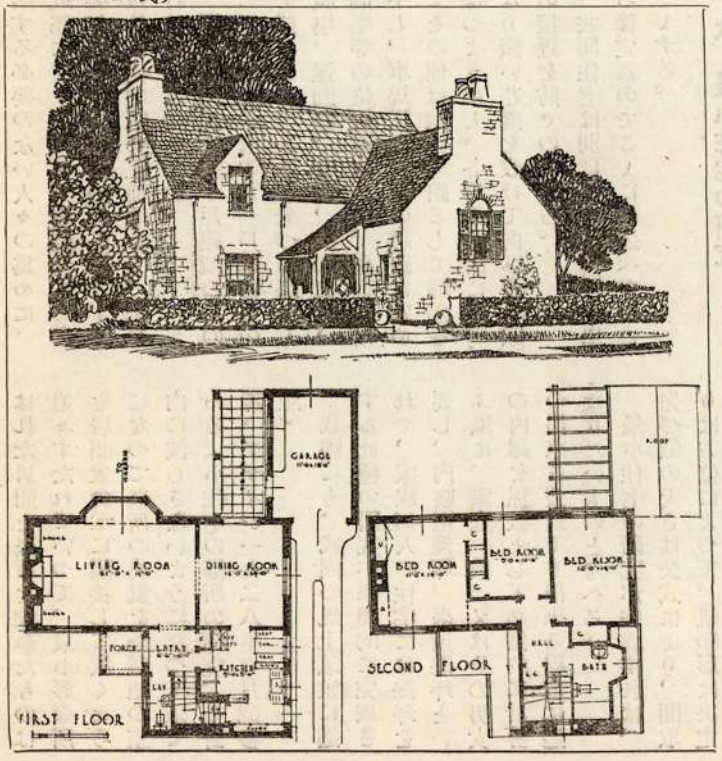
然るに我國には此中間單位が無いのである、東京の復興に際して當局者より熱心に共同住宅又は共同建築を勸誘したそうであるが殆んど其效果無く、相變らず割據式長屋式の住宅が低く地を覆ふて、大都市は引く事のない洪水の如く津浪の如く近接田園地を侵して擴大し、交通機關が追つき兼ねてゐるような狀態を呈してゐる。

然し我國にも近頃建築術の發達に伴つて建築法規に許さるゝ限度迄も上に延びた建築が行はれるようになつてゐるにはゐるが、排他主義はこゝにも特色を發揮して狹い土地の上へ個人經營の高い建物が煙突の如くに群山割據、輕量木造住宅を拔いて屹立してゐる樣は勇ましくも心細い我國獨特の光景で、共同心の乏しいことを露骨に示してゐる。此傾向で進んで煙突式半高層建築が建ち並ぶと丁度和蘭の舊市街のような光景を近き將來に呈することゝ考へられる。

四 投資の目的物としての住宅

現今住宅は營利投資の對象物の一としても見られてゐる。即ち貸家

米國デトロイトフリープレス誌募集當選住宅入選圖案（MILTON E. PROUTT氏）



が夫れである。

貸家は投資の目的が營利にある以上原價回收の外に相當の或は相當以上の利廻りを得ようとして、無理をしても切り詰めた建築になつて來てゐる。恐らく今日の貸家建築をより安價に建て樣としても不可能であると思はれる程夫れ程左樣に切詰まつた建て方である。

家としては少しも餘裕のない最低限であつて食物に例へて云へば麥飯に澤庵といふ處である。一方に於ては一時も早く利益を擧げようとする爲に、家賃も高くなり借家人の收入の三分の一にも達するといふので無產黨が家賃低下運動を起すといふことになる。

然るに之を設備を充分にし、耐震耐火の構造とするのには、坪七十圓の木造建築に比し最低限でも約三倍の坪二百圓を要する。

之に對してその家主がその生きてゐる間に利益を擧けようとするには、木造の貸家に比し二三倍の家賃を取ることゝなる、それこそ借家人は收入全部を家賃にあてゝ衣、食、の方の始末がつかないことゝなる。

こゝに於て住宅公營の必要が起つて來る。市は家賃の最高限度を定めて之を抑へ、一方借家稅を取つて市營住宅建築財源とするといふ風のやり方で建築して最低の計算によつて貸すことゝする。設備は勿論其時代の理想的の完備せるものとする。

斯くして一般市民の住宅は改良され、市民の借家費は減ぜられて都會に住む人も出來る丈け健康に人間らしい生活を營むことが出來るのである、都會の住宅はすべて公營を理想とし、希望者にはその一住居の所有權を與へても差支へはない譯であるが、出來得べくんば家賃としては、家屋保管修繕費の實費を徵收するに止めることにすれば、個人がその一部を所有する必要はなくなる譯である。

五 共同住宅とジードルング

住宅の設備を最も經濟的に行はうとするには、都會地では共同住宅の形式による外はないことは前に述べた通りである。從つて都市の公營住宅は共同住宅の形を取るべきである。

公共團體は又、大都市の中に住居する必要のない人々の爲めに、近郊にジードルングを經營する必要がある。公共團體自ら經營する以外に住宅組合を補助して、之を行はしめるのもよい。

即ち長屋式に數十戶連續のもの二三戶連續のもの及一戶建のものを建てるのであるが先づ道路から廣場、運動場、賣店、共同食堂、劇場等の位置迄定めて、建築に着手し、車馬道は一定の道路に定めてその他は狹い道路として靜肅を保つようにし、各戶の前面には可なり廣い花園を設けて向ひ合ふ家の接近を防ぐのである。

共同住宅は別にその特輯號が出る豫定なのでこゝには述べないことゝする。

六 最小住宅の研究

海外先進國では必要にして充分な程度の最小住宅の研究が盛んであつて、住宅局では自身研究に怠りない外に、役所以外の建築家にも依頼して、協力して、最も經濟的な、最も能率のよい、衞生的な氣持ちのよい住宅の設計を研究してゐる。臺所の研究の如きも殆んど完備の域に達し、一時盛んに行はれた居間と臺所を兼ねたものは追々すたれていつて、最小形臺所を居間兼食堂に隣接して置くようになつて臺所の臭氣を全然他の室內に洩らさないようになつて來てゐる。(小住宅の臺所の研究、上野譯、デザイン一九二八年六月號參照)

我國にも、我國の風土氣候に適する此種の研究が學問的に完成されて、家族何人の住宅には幾坪を要し、內寢室幾坪、臺所幾坪といふ風に、家庭の數、又はその男女の內譯を係數として必然的に計算の出來る公式でも出來る程度に迄なりたいものと考へる。

最小住宅の研究が完成すれば、先づ室の大さは公式により、間取りは方位によつて、軌範形は決定的であり、それ以上に餘裕のある住宅の設計は之等の基本的の條件の上に出來ることゝなる。斯く成つてこそ『住宅學』といふものが確立するのではなからうか。

共同住宅、及ジードルングの軌範間取りは各國の熱心な研究によつて益々精密の度を加へて行つてゐる。

こゝに注意を要する事は、夫れ

程最小住宅の研究が盛んであるといふ事を、人間といふものは皆夫れ程切り詰めた小さい室に住まねばならぬものと概念的に速斷するこゝの危險である。此速斷は丁度所謂無產運動の受ける誤解と同じであつて、無產運動なるものは人間が皆貧しい生活をせよといふのではなくて、富の不合理な分配から生ずる不當に貧しい階級を救つて人間が皆人間らしい相當の生活の生活を營み得るようにしたいといふ運動なのであつて、最小住宅の研究も之と趣を同うしてゐるのである。

最近のスツツトガルトのワイセンホーフのジードルングを見ても決して生活の快適を無視したものではないことが明かで、住居機械なる語も古來の住宅があまりに冗漫であり非科學的であつたのに對するもので、人間の感情生活を無視した住宅であつてはならないのである。

七 日本の所謂る小住宅

西洋でいふ小住宅とは今日に於ては主として共同住宅及ジードルングを指すのであるが、我國では所謂小住宅とは、大體小ブルジョア階級の文化住宅位の樣なものを指すようである。即本協會特輯號豫告にも明かに『貸家建築とアパートメント號』なるものが別巻として定めてあることから見ても左樣考へられる。

西洋では、サンマーハウスとかウオツヘンエンドハウス等を除いては、今の我國の『小住宅』といふような輕量獨立住宅は建てない。

ランドハウスと稱するものは既に可なり堂々たるもので、ブルジョア階級に屬し、農家は別に名稱を有してゐる。

ブチ、ブルジョア階級は共同住宅なり、ジードルングなりに納まつてゐるのが普通である。

ブチ、ブルジョア階級は識者によつて『亡ぶ可き階級』と既に宣告されてゐる。從つて日本的意味の小住宅も亡び行く可き運命にあるものと考へられるのである。

殊に近頃滑稽なのは大低の日本式住宅に於ける應接室の洋館なるものであつて、排他的煙突家屋と共に、我國の中途半端な國民文化を表はしてゐる好例である。

之等の應接室は揃つて板張りで椅子、テーブルを安置し、訪問者は玄關で恭しく靴を脱いで日本人の潔癖にも似ず、その手を洗ひもしないでお菓子をつまむ、この洋室は訪問者に對して洋服の膝が延びることに對してのみ思ひやりはあるが靴を脱いだり、はいたりする煩はしさに對しては平氣であるが入口で充分に靴を拭きさへすれば板張りはそう大して汚れるものではない、精々お客が歸つた跡で汚れた處丈け拭きさへすればよいのである。

こういふ洋室に限つて外觀をも木に竹を繼いだようにモルタル塗りや大谷石張りの洋風になつて、それが此家には洋風の應接間がありますといふ小ブルジョアらしい誇りになつてゐるようである。

靴を脱いで上る位なら何も別に木に竹を繼いだような洋室を造る必要はないので日本座敷に籐椅子位を置いて置けばよいのである。

近頃は應接室を洋室にすることから子供室も洋室にする傾向が盛んになつて來たことはまづ結構で其子供が大人になつた時に始めて日本人も疊の生活から離脱し得るのであらう。

外國でも最近は椅子や寢臺は益々低くなつて、時には寢コロブ爲めのニッチを造つたりする傾向になつてゐるが、座る習慣に迄進むのではない。

こういふ小ブルジョア的住宅では又すべて、玄關から一間位しかない處に嚴めしい門を建て塀を圍らして庭を造り、椽側にも猫額大の庭を造る、前にも述べたように都市内の住宅に皆がこうした低くて土地面積を取る家を建てるこゝ都市は不經濟に擴がり過ぎ然もその各個の庭はあまりに狹小で、庭の痕跡こいふ位のものとなつて、庭園の効果は甚少い、これ位ならば共同住宅の窓なりバルコンから大きな共同の中庭の樹木を眺めてゐる方が餘程ましである。

小ブルジョア諸君は共同出資で共同住宅を建てるか、庭の澤山ほしい人々は田園へお出でなさいこ勸める。

八 インターナショナル住宅協會

住宅研究は國家的研究から更に進んで國際的研究となつて來た。

即各國の專門家は協力して人類

共通の住居條件を研究綜合して、更に之を各國の地方的條件に適合する樣にしようと云ふのである。

此目的で最近、フランクフルトアム、マインに、インターナショナル住宅協會と云ふ研究機關が生れ、世界各國に、個人及團體の會員の加入を歡迎してゐる。日本インターナショナル建築會は之に加入して共同研究に當ることゝなり日本に於ける會員の加入をも取扱ふことゝなつてゐるので研究者各位の御申込及問會せに應じることゝしてゐる。

斯くの如き事業には又各官廳の助力に俟たねばならぬことが多いので、その方面の方々には特に御盡力を望む次第で、本稿を結ぶに當つて、此協會をば紹介する次第である。



住宅と家相問題 (2)

工學士 葛野壯一郎

八卦につゞいて十干と十二支の配當の意味をも一通り知る必要が有ります。甲乙丙丁戊己庚辛壬癸の十干は和訓木の兄、木の弟、火の兄、火の弟、土の兄、土の弟、金の兄、金の弟、水の兄、水の弟が明らかに示して居るやうに、東方は木、西方は金、南方は火、北方は水、中央は土の五行を表し、兄弟は其陰陽を示して居るのですこの五行には順位と逆位があり、木と火、火と土、土と金、金と水水と木は相生即ち順位、木と土、土と水、水と火、火と金、金と木は相剋即ち逆位で、順位を吉とし逆位を凶として八卦の方位觀と相並んで吉凶論の基礎となつて居ます。四方の他に五行の割當は東北と西南が土、東南が木、西北が金とあります。

さて五行の配當が建物の吉凶判斷に何う關係するかといふと、例令ば土藏の樣なものならばこれは土性と觀ます。土性であるから假りに是れを艮位即ち東北に置くとすると、艮も亦土ですから土の上に土を重ねる事になつて凶といふ事になるのです。又井戸に例をとると井戸の最も吉い位置は東南即巽で、五行にするとこゝは木とあつて木と水は順位であるから吉となります。筆者は別に家相の專門では有りませんから何處までが本當だか、人によつては何ういふ觀方をするのか、其邊のところを委しくは知りませんが、大略こんな種類のものだと思へば先づ間違ひはないと信じます。

◇

次に十二支とは何か、子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥の十二の動物を以て表象されて居りますが元より動物が主では有りません。十二支の本義といふものを觀ると資、醜引、茅、神、詞、五、肥、身、有恤、孩の十二で委しい事は筆者にも分りませんが人事にすれば人間の一生、時にすれば一晝夜或は一年と事物の始終を十二節に分けて說明した云はゞ一種の敎訓なのです。方位の方から云へば言ふ迄もなく時間を示したもので、子といへば午前零時、卯は同六時、午は正午、酉は午後六時に當り、其時間に相當する太陽の位置を表したものに外は有りません。

◇

これで大樣家相の根據とする八方二十四位の何物であるかといふ事が略見當がついた事と考へます又それから判斷せらるゝ吉いとか凶いとかいふ說の起る理窟が何んな程度のものかといふ事も一應判つた筈と思ひます。筆者は此八方二十四位の割出しを以て必ずしもつまらないものとは考へては居りません。考へ方によつては一寸面白いものとして頗る興味深いものと考へて居ます。八卦の配當にしても各卦の意義といつたやうなものから推せば是れ以上の配當方法はないでせう。何處に間違ひがあらふとも思はれません。干支にしても同じ事です。建築術の幼稚な時代に建物の設計に當つて、かういふものを基準として其配置構造

を考へたといふ事は一つの進歩と考へて宜いと思ひます。八卦の說や陰陽五行說にしても、左樣いふものを原理として考へるより他に考へ方の無かつた時代には、それを絶對的のものとして考へた事に何の不思議が有りませう。寧ろ當然の事なのです。自然の理を重んじ萬象のよつて來るところを明らかにして、家一軒建てるにしても何處までも敬虔な態度で何處までも吾が儘をしないこころに非常な床しさが有るでは有りませんか。金さへ有れば何でもやれると思ふやうな現代の成金者流の横暴な考への及びもつかぬ處です。何の家相書を觀ても天理に隨順して質素健實を主とするといつたやうな事をモツトーとして居ますが、それには少しも異議が無いばかりか、現代に於てもやはり同じ事を主張したいのです。

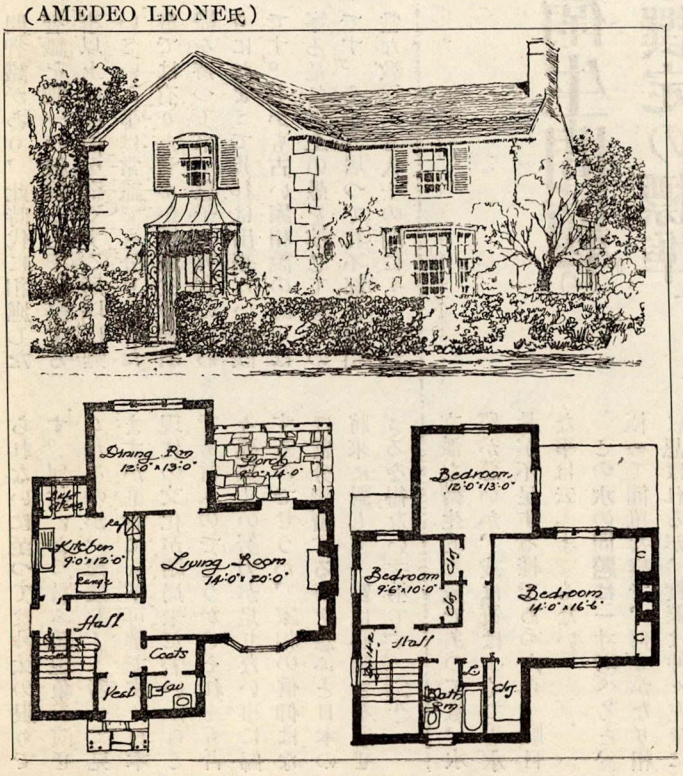
◇

かういふ風に考へて來ると家相といふものは迷信ごころか、反つて現代に在つても大に賞揚す可きものと思はれるかも知れません。しかし其れは間違ひです。そこに大ひに考へて頂かなければならぬ重要な點が有ります。それは他ではなく八方二十四位に何か人間の運命を支配する神秘的な約束が有るが如くに考へて居る所謂家相吉凶そのものの判斷の價値といふ事です。其根本の割出しには大して意義はないとしても、其れを基準として世間賣卜者流の間に行はる判斷そのものが果して信ぜらるゝや否やといふ事です。最初に實例として述べたやうに、井戸水を唯一の飲料水とする郊外にあつては其水の良否が一家の健康と密接に關係する事は判つた事です、ですから此點は家を建てると共に充分に考へなければならぬ點です。その爲めには確實な調査も必要なり又水質の檢査もやらなければなりません。位置についても地下水はほんの僅少の距離でも水質が違ふ事が有りますから、其位置を、例へば北にあつたものを東に換へて全く違つた水が得られるやうな場合も有り得ます。併し只家相上から井戸と妻子の間に神秘的な關係が有るが如く信じて、北の井戸を東に移したゝめ息子さんや妻君の病氣が急に癒つたと考へるのは何といふ淺薄な事でせう。然も胃や腸にでも關した病氣ならば兎に角それが咳であるといふのですから滑稽至極じや有りませんか。井戸の位置をかへて病氣が癒る事もあるかも知れません。併し病氣が癒るには癒るだけの理由が他にある筈で、家相說のやうな單純なものではない事が何故判らないか不思議です。筆者の經驗した一例でも家相家さんが最吉方と指定した位置に井戸を堀つたがいくら堀つても臭氣で堪えられない水で物にならなかつた事が有ります。

◇

これも筆者が此稿を書いて居るつい十日計り前の事でした。或倶樂部の午餐の席上、或る紳士の話に、市營の月賦住宅で何うしても病人が絶えない家が有るのでよく調べると、臺所の家相が凶いといふ事で有つたから早速家相をなほすと、不思議にも病人がうそのやうに

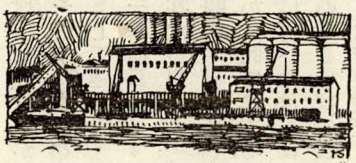
米國デトロイトフリープレス誌募集模範住宅入選圖案
(AMEDEO LEONE氏)



うに癒つた家相は實に恐ろしいものだといふのです。臺所が何う凶かつたのか其點は知りませんが、臺所を改造するといふ事は悪い事では有りません。其改造の方法宜しきを得たならば衛生的に結構な話しです。通風が悪いからよく風を通すやうにしたとか、明るくしたとか排水をよくしたといふのならば分つた話しですが、只漠然と家相が悪いからそれをなほして其れで病人が無くなつたと平氣で信ぜられる頭腦を疑はずには居られません。家相を治してもやつぱり病人はなほらなかつた例をも筆者は現實に承知して居ます。家をなほすといふ事は必要な場合が多々ある筈でありますが、その理由はもつとはつきりしたものが無ければならぬ筈です。病氣には病氣の原因があり或る程度までは科學的に知られる事です。建築の如何が其原因となる場合も勿論有るには有つても、所謂家相說の如き漠然としたもので無い事は餘りに明瞭な事實では有りますまいか。

◇

家相說の弊害として最痛感せられる事は、其方位觀の根本觀念として別に兎や角言ふ必要は認めませんが、其吉凶判斷といふものが大げさで人間の生命とか業務の盛衰の凡てが直ちに建築の家相的不備にありとする點にあると信じます。建築が人間の生活に重要な使命を持つて居る事は論ずる迄もなく、其經營には充分の注意が必要であり、今日では舊式の家相說などに大した價値のある筈はないのです。もつと合理的に發達した學問智識があり、此時代に相應した智識を唯一の根據として建築する事以上に家相を全くする所以は無いといふ事は常識でも分り切つた事では有りませんか。祖父の陣羽織を持つて來て息子の外套のかわりにせよとて其れは出來ない相談です。しかも古い家相說の應用は寧ろ是れ以上の愚を演じて居るのです。それで居つて其不都合が相當な教養ある人士の間にも了解せられないに至つては沙汰の限りです。何故にかう言ふ珍現象が演ぜられるのか、幾度も〳〵考へて見ますが筆者にも不可解です。日本現代の文化が結局未だ若いからとでも言ふのでせうか、それとも吾々建築士の努力が足りない事に歸するのでせうか、家相の信仰はなほ當分繼續する事を想ふと日本の將來に對して、實に心細さを感ぜざるを得ない次第です。(完)



『通俗的』住宅の衛生問題(2)「借家撰定の標準」

醫學博士 藤原九十郎

飲料水の量と質を檢査せよ

敷地の撰擇と同時に、飲料水の問題を檢べる要がある。果して飲料水として適當なる良水が、而も量に於て不足のない程に得られるかどうかを、先づ家の模樣を調べる前に知つて置かねばならない。大阪市の樣に邊邊部に到るまで、大低上水道が普及されて居る處は或はその必要はないかも知れないが、井戸水を唯一の飲料水として居る所に於ては決して水の問題を等閑視する事は出來ない。如何に乾燥した高燥の土地でも、ごんな立派な衛生的な家であつても、水質が悪いか、或は質はよくても水量が不足する樣であつたら、駄目な事は云ふまでもない。

この水の問題は一寸考へると、極めて簡單な樣で、何こかなり相に思はれるが、實際は仲々左樣に容易く片付くものではない。私共の知る範圍に於ても、水質の問題を輕視して、十分な調査もやらず單に肉眼で見た位で、良い水だと誤信し、輕率にも敷地を決定して家を建てるわ、或は多大の時間と費用をかけて引越して來て、さて水を使つて見ると、やれ鐵分が多い。硬くて使用されない、少し泥臭いとか、試驗するとアムモニアが出る、有機物が多いと云ふ樣な

問題に遭遇して大變困つて居る方が多い。家に這入つてから初めて水質の試驗をしても、又相談を受けましても、何とも致し方のない場合が仲々少くない樣である。

元來水の性質などは一寸見た位では決して解るものではない。肉眼などでは透明であつても、色々な有害な成分を含んで居る事があるから、どうしても完全な水質試驗を經なければ安心は出來ない筈である。またその不良な成分の如何によつては、適當な淨法が容易に行はれ得るものと、どうしても飲める樣にする事が出來ないものとがあるから、家を決定する前に水質試驗をやつて豫め之等の事を知つて置く事は是非共必要と思ふ。

家は南向きが最良

敷地の問題や水實の關係が合格すれば、初て建物の檢べに移る。それに就て最も初めに注意せなければならぬ事は、この家は何れの方角に向つて居るか。殊に家の中で主要なる室例へば居室、寢室ともなるべきものが、どちらに向いて居るかと云ふ事を、携へて來た磁石によつて測定する事である。

元來家の方向はその地方の位置地勢、就中緯度の關係、氣候、風向などに應じて決定すべきものであるが、大體に於て云ふならば、吾が日本などの樣に北半球にある國で云ふならば、南向きを最良とする。少くとも家族の多數が一日の大部分を過す室の樣なのは、是非共南の方面が開放されて居る事が必要である。南向きの家が何故に保健上宜しいかと云ふ理由は、南向きの室ならば、夏の暑い時にも太陽の直射をさけるから、日蔭となつて比較的暑くなく、又冬は太陽が南に傾く關係上充分に日光が室の內部に照り込むから、比較的暖かいからである。

斯樣に防暑上からも、防寒上からも大變都合が良いその上に、敷地の乾燥、通風の關係、採光即ち室の明るさ等と云ふ總ての衛生上から見て、南向きであれば大變都合が良い。反之南の方が塞つた家では、冬は大變寒く、室內は暗く常に陰濕で、其他萬事に宜しくない。東向き又は西向きの家は、俗に田樂串と申して、夏は朝日も西日とに照りつけられ、且つ通風と惡く、南向きの家に比すれば華氏の溫度で、三四度以上も暑い。又北向きの家が寒いのは云ふまでもなく、冬はやはり三、四度南向きよりも低溫である。

斯樣な次第であるから借家の撰定に當つては、どんなに間取りが良く、どんなに格好の良い住宅でも、南、少くとも南西、南東の方向が塞つて居る樣な家は、見合はされた方が賢明である。

通風の良いのは防暑に必要

次には通風の問題を考へねばならない。即ち風通しが良いか惡いか、と云ふ事を判斷して、成るべく通風のよい家を撰ぶべきであるそのためには、やはり窓の付方をよく調べる、即ち勿論南又は南西に窓のあるのが良いに極つては居るが、そればかりで、北の方面が全く塞つて居つても宜しくない。反對側の北側にも相當の窓がついて居つて、南と相對して居る事が通風の上からは都合がよいのである。特に吾が國では、昔から『家居は夏を旨とすべし、冬は如何なる處にも住み得る』と古人が云つた言葉の通り、但し必ずしもそれが合理的であるかどうかは疑問として、夏を凌ぐ事が保健上特に必要であるのは否む事は出來ない。

其故夏の頃に多い風の方向を考へて、その方角にも、適宜に開放出來る窓を有する事が必要である例へば大阪地方で云へば、夏は西の風、南西の風が多いから、その方角にも相當な窓が欲しいわけである。然し眞西向きの開放出來る廣い窓では防暑上よくないのは云ふまでもない。

明るい家を撰べ其の見分け方

昔から『日光の這入らない家には醫者が這入る』と云ふ諺さへある通り、暗黑な家では色々な點に於て健康上良ろしくないのは常識でも窺はれる。即ち暗い室の害は單に光線の不足と云ふよりも、常に陰濕であり、乾燥する事が少いと云ふ事の方が不良の原因として重大で、そのため病原菌や黴などが死滅しないどころか、反つて益々增殖して黴菌の巢窟となり易く黴の息氣、其の他の惡臭の發生となり、甚だ不愉快極まるものであ

る。從つて身體的ばかりでなく、精神的にも悪い影響を及ぼし、また作業能率の上からも甚だ不利を招く。これまで近畿方面の大商店などは、奥行きの深い家で、日中ですら咫尺を辨ぜずと云ふ位に暗い。左様でなければお金の儲からないとまで云はれて居たが、これなどは全然理由のない事であつて金儲の金言として人口に膾炙される『塵も積もれば山となる』と云ふ言葉を誤解したのではないかと想像するより外ない。兎に角明るい生活をやる事は文明人の特權であつて、文化の開けない野蠻なればなる程、暗黒の環境に住むと、要するに暗黒と云ふ事は文化の退歩を意味すると思ふ。

室が暗いか明るいかと云ふことは、實際に家の中に這入れば大體見當はつくが、曇天や雨降りの時と晴天時とは比較し難いわけであるから、理論的に採光の如何を測定する方法を知つて居らねばならない。例へば窓の面積は室面積の五分の一内外の廣さがなければならぬとか、又室の奥行は餘り深くても暗いから、普通窓の高さの一倍半以下が適當であるとか、それも前面に高い建築物などがあれば當然暗いので、それに對しては開角や入射角などの角度の關係で測定せなければならぬが、これは一々其の場で實施する事は中々困難な事であるから、素人見當では室の隅から青空が一寸でも見得るか否かを檢ぶればよいので空が見えない室は明るい室ではないのである。

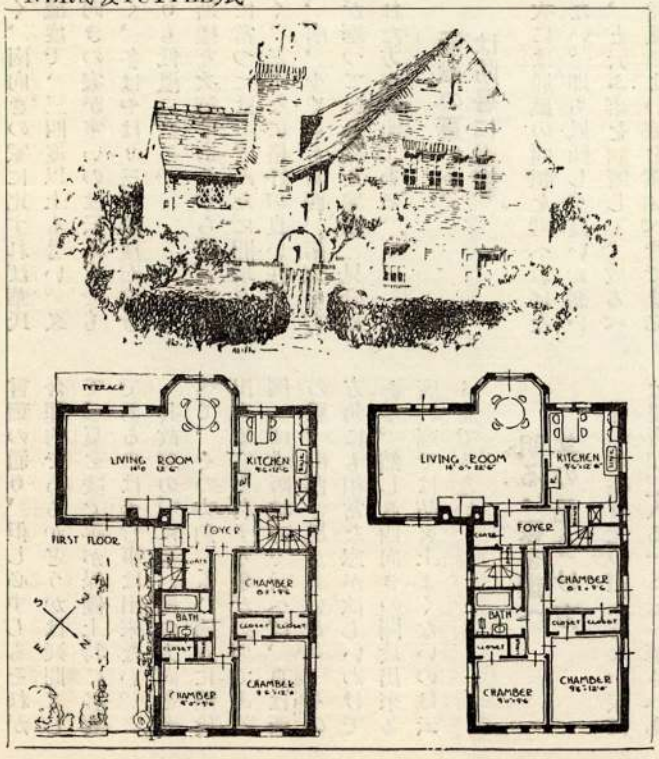
間取りと家の大さ

以上の問題が合格すれば、今度は初めて『間取り』の檢べに移るのである。尤も實際は今日まで借家撰定に當つては、『間取り』の問題が、最も重大視されて居る様であるが、ほんとうはこれまで述べた條件が先決問題であつて、『間取り』は其等の次ぎに必要な事柄である。

『間取り』の問題を考へるに當つては、日常生活上の便、不便の上から、或は各室の聯絡、或は臺所便所、食堂等の配置などに就て意を用ふるは勿論であるが、何れも能率上及び衛生上の見地から觀察すべきであつて、色々な迷信に迷はされてはならない。よく世間では家相の事を八ヶ間敷く云ふが、これも衛生的、科學的に考へて合理的ならば差支へないものゝ、衛生的に見て不合理なものであつたら、決して迷ふてはならない。吾々の生活はどこまでも科學に立脚して、合理的に考察しなければならぬと思ふ。

『間取り』に次で必要な事は家の大さの問題である。これは居住者の身分、地位、經濟上の關係等を考慮すべきは勿論であるが、家族數に應じて、少くとも最小限度の要求がある。特に寢室、居室の大さは、就寢者數との間に衛生上必要なる限界があるので、大人、小供平均で、一人當り二疊敷の面積が必要であるから、それに應じて不足のない廣さの家を求めねばならない。これと關聯して大事な事は、家の廻りに充分の空地がある事で、少くとも家の建坪と同じ坪

米國デトロイトフリープレス誌募集模範住宅入選圖案 (KASTNER氏及TUTTLE)氏



數だけの空地が必要である。空地は室内に於て出來た處の不潔なる空氣を交換する場所で、家の臟腑にも譬ふべきものであるから、室の大さと同樣の衞生的意義を有するわけである。

便所の衞生設備

次で調べて置かねばならぬのは室の『設備』である。就中衞生上から大切なのは臺所と便所の設備で、どんなにな つて居るかと云ふ事を調べて、これを住居撰定の標準の一項に加へなければならぬ。

日本固有の粗末なる糞尿溜が、如何に不愉快で而も保健上危險である事に對して異議を挿むものはあるまい。他の如何なる文化設備が完備して居つても、又住宅の他の部分の衞生設備が十分に行屆いて居つても、この便所の設備がかくの如く粗末であつたならば何にもならない。

吾々の求むる家は出來るならば溜置式の便所でなくして、水槽便所の樣な洋式の水洗便所のあるものを撰定すべきであるが、これは今日の現狀では到底望むべくして出來る事でない樣である。其れ故せめては吾々が希望するのは、完全とは云へなくとも、所謂改良便所程度の設備を有する家を撰んで貰いたいのである。それも病原菌の問題を考慮した改良法は到底困難と思はれるから、それは出來ないにしても、臭氣を排除するための空氣拔位は容易に出來る事であるから、少くともそれ位の設備はなければならぬ 其他汲取口が密閉の出來ないものや、雨降りなどの時に『さし水』がして、內容が溢れる樣な危險のあるものなどが良くないのは勿論、汲取が臺所を通らなければ出來ない樣なのも甚だ危險である。これらの點に就ても十分の注意が肝腎である。

住宅の衞生問題としては、この外に澤山の事項が殘されて居る。否住居の總てが衞生そのものでなければならない程、論述する事柄は夥多であるが、紙面の都合もある事故、茲には以上に止めて措く。



住宅建築の工費と工期の問題 (2)

大林組住宅部長
松本儀八

二、住宅建築と工期

1、工期と工程表

陳腐な諺ではあるが、其年の計畫は元旦に、一日の劃策は其朝にありとか言はれてゐる、成程住宅建築の施工に當つても工事に要する期間、工事の段取等須らく其工事の發足前に計畫する必要がある。そして其計畫に基いて作成したる表なるものが所謂工程表である。此工程表は各工事別相互の關係やら、工事に要する日數等其表示に從つて工事を遂行するものなるが故に、工程表の作成は、工事所要日數等に無理のない樣、季節、溫度作業時間の長短、地方的慣習、工事の段取等少くとも現場の經驗から割出して作成したものでなければ、工事遂行上權威ある工程表は出來ないのである。

ロ、住宅と其工事に要する期間

工事に要する日數は工事の大小、工事の難易、工事に着手する時季等によつて一概には論じ難いけれど、關西方面では延坪百坪內外のものは約六、七ケ月を要し、二百坪內外に至れば十ケ月乃至は十一ケ月見當となつて居るが、之とても工事着手の時期如何に依つて工事期間に相當の影響を及ぼすものである。

ハ、工事を始めるに適當な時季

第五表は筆者が直接關係して施工した住宅の中から二十二軒を選び出して其建物の延坪數(甲)と、工事別(工事名を特に遠慮してA、B、Cの符號をつけた)、建築工事費(乙)と建築工事に要した期間(丙)と、工事着手の月日と、尙工事竣工の月日をも比較對照せんが爲めに調査作成したる表である。表中最左方列の1234……なる數字は月劃を示したものである。例へばA氏邸工事は其年の九月か

ら起工して其翌年の五月に竣工した事を意味し、同時に延坪。百〇七坪強で建築費三萬五千百圓也、之に要せし工事日數は二百七十三日即ち九ケ月(黑線の長さ)であつたと云ふ事を現した譯である斯様な筆法で各工事を通覽すれば其工事期間なるものは工事の大小に拘はらず、着手期選定の如何(良否)に依て工期に影響を及ぼす事が證明されて居る。

例へば

1、四、五月の春季を着手期として十月十一月頃にかけての工事は壁仕上其他に無理がなく、仕事其物も亦能率的である。古來からよく普請は春先から云ふ言はれて居るのも、強ち偶然ではない様に思はるゝ、表中V、Rは其例、

2、夫れから冬季に着手して仕上工事を四、五月頃に行ふ事も工期の短縮其他に好結果をもたらす様である。Tの例

3、右と反對にIの如く六七月頃から起工して翌年の二、三月にまたがる様な工事のやり口は工期や、出來榮えの上に左程良い結果を得られない様である。

之を要するに工期の選定は天候と時季の關係、從業職工の勞働する時間の長短、其他を考慮して決定することが賢明である。

畢竟無理なく工期を短縮すると云ふ事は結局工費を節約する事に到達するのである。

二、晴雨と季節

第六表は昭和三年に於ける大阪方面の天候を調査しておいたものを表に作成したものである。季節と晴雨などの關係を對照する事が出來れば、着手工期、工事期間の選定には相當有力なる資料となるものである。

(をはり)

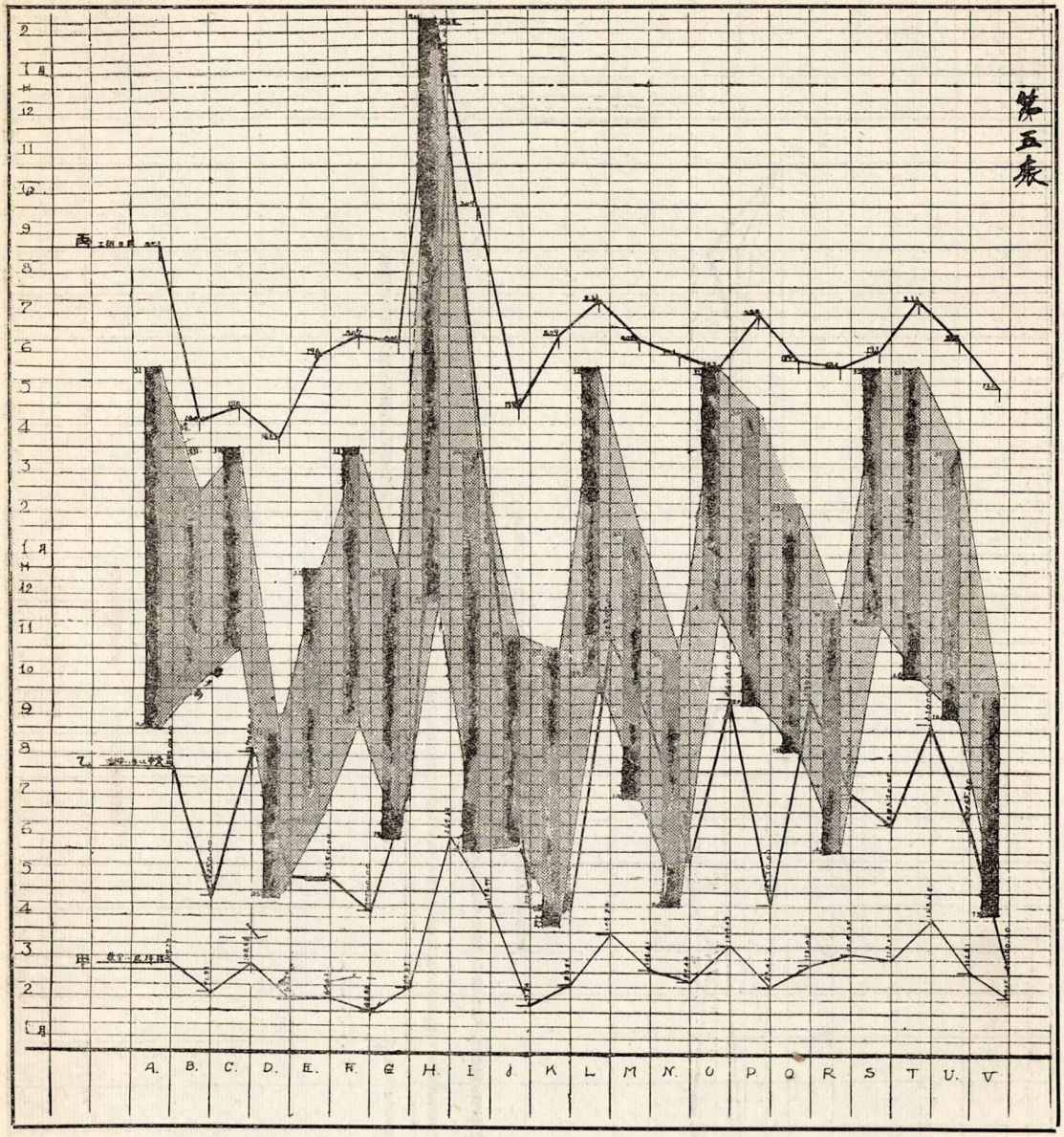
其年に起工し翌年に跨つた住宅の工事期間(日數)表

名稱	本工事費	延坪	着手	竣工	日數
H	12963.00	267.25	翌々年 2. 5.	2. 20.	442
I	6214.00	178.77	6. 1.	3. 20.	304
A	3510.00	107.28	9. 1.	5. 31.	273
L	5135.00	145.84	10. 10.	5. 31.	233
T	4100.00	168.67	10. 10.	5. 31	233
P	1853.00	83.46	9. 20	4. 30	222
F	1750.00	49.83	9. 5.	3. 31.	207
M	4091.00	102.88	7. 10.	12. 31.	205
U	2786.50	102.61	9. 10	3. 31.	202
S	2851.00	118.00	11. 20.	5. 31.	193
Q	4396.00	112.46	8. 15.	2. 20	189
O	4404.00	134.03	12. 10.	5. 31	182
C	3724.00	108.58	11. 1.	3. 31	150
B	1935.00	71.52	10. 5	2. 28.	146

其年に起工し其年に起工せし住宅の工事期間(日數)表

名稱	本工事費	延坪	着手	竣工	日數
K	1800.00	84.51	4. 5.	10 31.	209
G	4326.50	78.67	6. 10	12. 31.	204
E	2155.00	64.04	6. 20.	12. 31.	196
N	2388.00	87.44	4. 20	10. 31.	194
R	3202.00	124.35	6. 1.	11. 30.	183
V	1000.00	70.25	4. 15	9. 30	168
J	1830.00	55.84	6. 5	11. 10.	155
D	2165.00	63.70	4. 25.	8. 31.	128

第五表 (其の一)



第五表 (其の二)

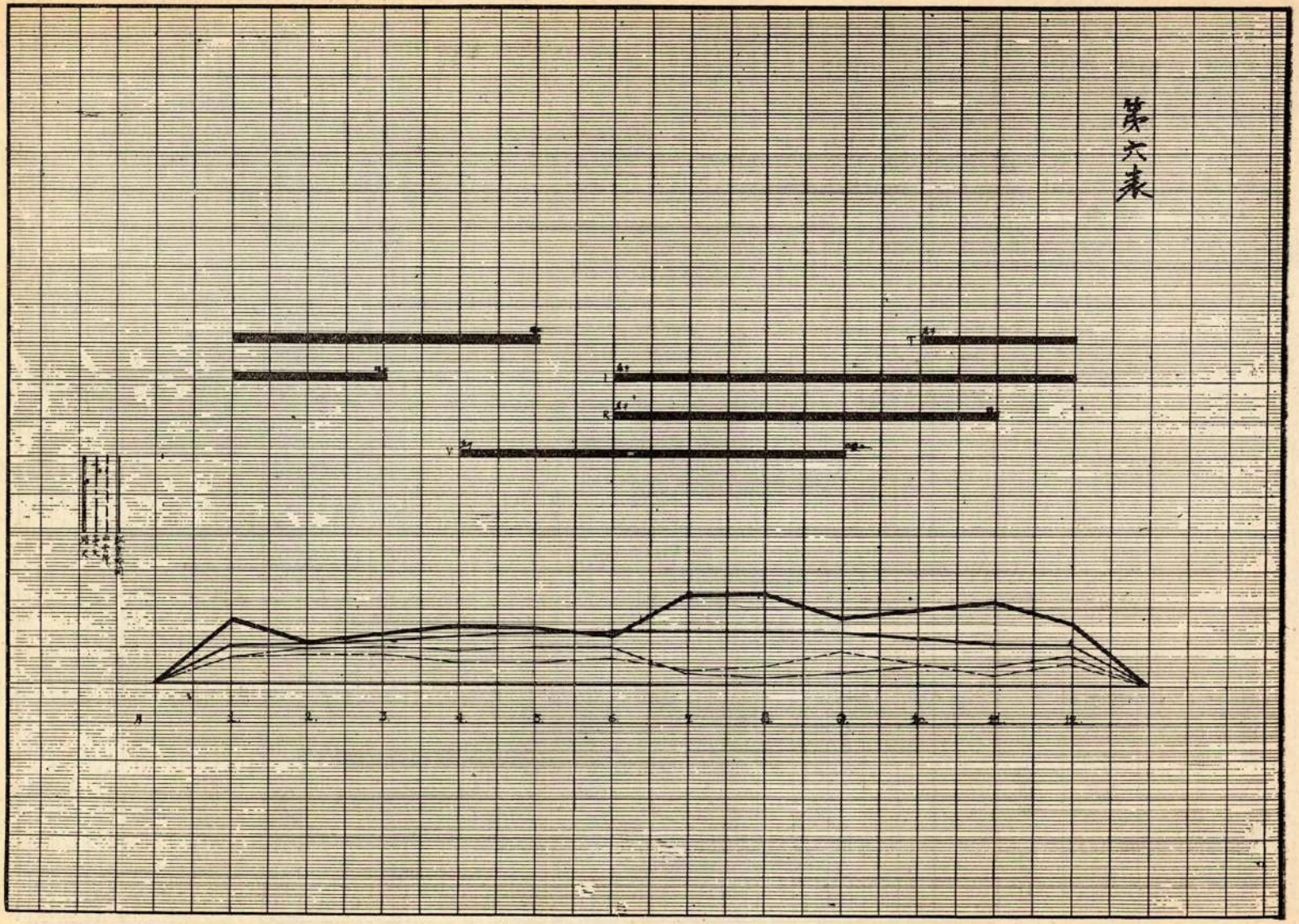
第五表說明

最下欄英字ハ建築主
最左測欄ノ數字ハ月ヲ表ス
甲欄數字ハ 延坪數
乙欄數字ハ 工事費
丙欄數字ハ 工期日數

第六表說明

就業時間
雨雲降
曇天
晴天

下段數字ハ月ヲ表ス
最上段横太線ハ着手ヨリ竣工迄ノ期日ヲ示ス


第六表



1

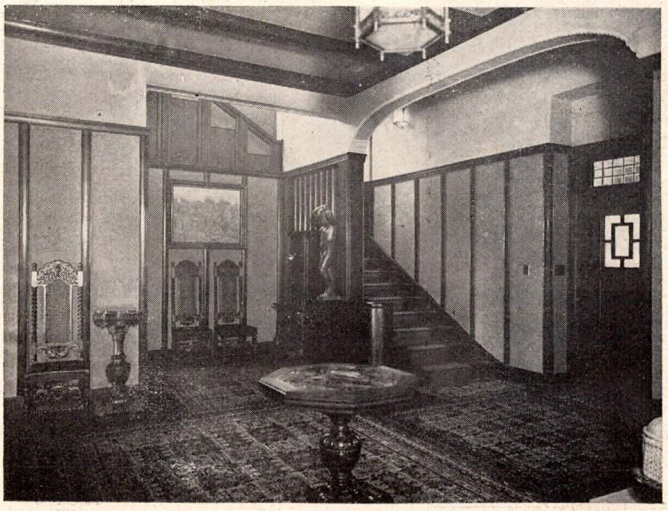
東京・松平伯邸
設計　清水組設計部
施工　合資會社清水組

洋風住宅の種々(一)

2



3



1. 正面玄關
2. 客室とベランダー
3. 一階ホール

東京・松平伯邸
設計 清水組設計部
施工 合資會社清水組

洋風住宅の種々(二)

1



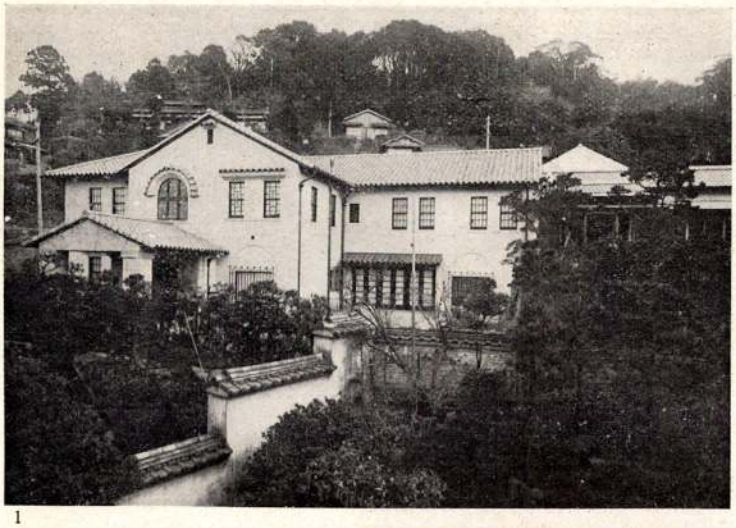
2



3



1. 二階書齋
2. 一階客室
3. 一階食堂



1

長崎・松田邸(1)

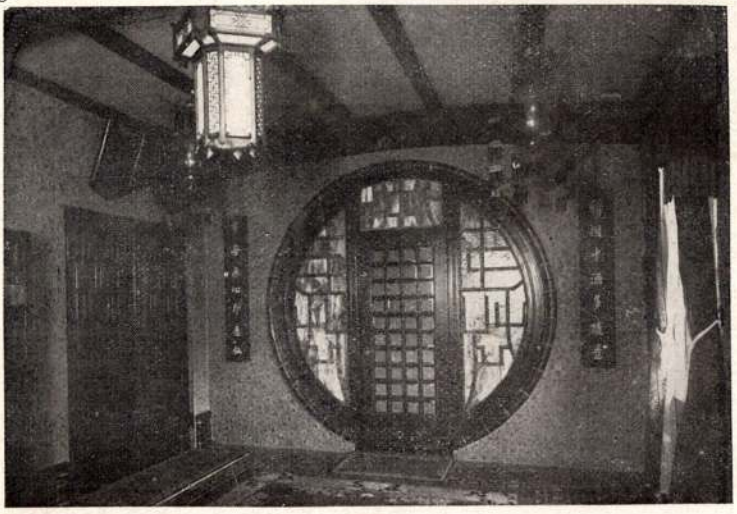
設計 大林組住宅部
施工 株式會社大林組

洋風住宅の種々(三)
支那趣味を取入れたもの

2



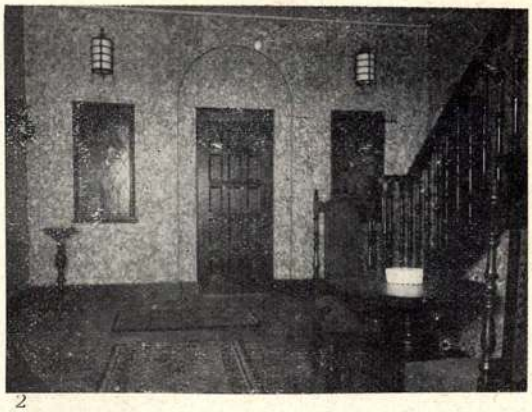
3



1. 外　觀
2. 支那室
3. 同　上



1



2



3

4



長崎・松田邸(2)

設計　大林組住宅部
施工　株式會社大林組

洋風住宅の種々(其)

1. ベランダー
2. 一階廣間
3. 應接室
4. 大食堂



住宅と家具

遠藤演

住宅と家具とが極めて密接な關係にある事は、今更申す迄も無く殊に歐風住宅に於ては家具の存在あつて初めて住宅としての使命を全ふする所以であります。換言すれば住宅其物が吾々の日常生活に於て、安住の地として安息の樂園としての重大なる使命を有する以上、其住宅内に備付けらるべき家具も亦一層之れを增長して家庭内の親しみとか、暖たかさ、或は安易さを增す上に於て必要以上の必要品でありまして、此兩者が相俟つて初めて住み心地良い住宅としての眞價を生ずる事勿論であります。

此意味に於て如何に優秀なる技術者の手により間取、通風、採光乃至裝飾等に於て細心の注意を拂ひ最高の技術を傾倒して建設せられたる住宅も若し之れに配する家具にして充分研究せられざるか、或は間に合せ式の家具を配列せられたる場合を假想するに、其結果は獨り建築其物の眞價を低下せしむるのみならず、當事者の趣味の低劣を物語る結果となる事も亦申す迄もありません。

卑近なる例へ方ではありますが住宅と家具との關係は恰も夫婦の關係に於けると同樣、住宅を主人とすれば之れを内助し圓滿なる家庭を作る爲めには、趣味性格の相似たるベターハーフとしての家具を撰定する事が肝要ではありますまいか。

逐年我日本に於きましても、洋風住宅の建設せらるゝ事益々盛んになりつゝありますが、是れは云ふ迄も無く歐米文化の輸入と同時に必然的に生活樣式を變更せざるべからざる機運を招來しつゝある事を立證するものでありまして、其處には幾多の理由のある事勿論ですが先づ第一衞生的である事、第二起居動作が敏活になり得る事第三總ての生活樣式が單純化され得る事等が洋風住宅として最も著しい特徵であろうと思ひます。

其處で單に家具と云つても多種多樣でありますが、之れを用途なり形狀の上より大體戶棚類、卓子類椅子類の三種に區別する事が出來ます。處で吾々日常生活の内で事務所は、申すに不及殊に安息所としての住宅内に於て最も重要なるものであり、且室内裝飾の主要素となるものは取りも直さず椅子でありまして、部屋全體の落付きとか美觀或は綜合的色彩の調和等は全く此椅子の如何に依りて左右せらるゝものであります。

古く太古の原始時代の事を考へて見ましても、其當時の原始人が一日の狩獵に疲れた時、或は終日の勞作を終つた時、先づ彼等の撰んだものは切り倒された自然木とか、岩角等に腰を卸して休息した事であらう事は想像に難くありません。之れが更に進んでは彼等自身の手により簡單な木箱樣なものを作りまして、其箱の中には獲物の角とか、皮とか、或は獵具等を保存すると同時に之れを腰掛として利用する樣になつたのが抑々椅子としての濫觴であります。此簡單な木箱に更に色々工夫を凝して疲勞を休めるに適する樣靠を付けたり、座を設けたり、或は彫刻等を施して賞翫する風を生じ、段々進化して現在の樣な構造になつたものであります。此椅子の發達の徑路を辿りますと大體各時代の文化の程度なり民族の習性乃至生活の樣式等を察知する事が出來ると同時に、之れを使用した持主の性格をも窺ひ知る事が出來るのであります。

猶亦皇帝の玉座、酋長の腰掛、或は一般家庭の主人の常用せる椅子等は例令夫れが王侯貴族の宮殿に於けると、吾々一般家庭に於けるとを問はず最も權威あるものであると同時に、部屋の主眼となるべきものであります。

以下各室に就て家具の特質を極簡單に思付いた儘申述べる事に致します。

ホール

ホールは恰かも人體の頭の部分に相當する處であり、外來者の初めて印象付られる場所として飾付けに際しては、落付のある莊重な感じを與へる樣に工夫される事が肝要であります。と同時に元來餘り廣い場所では無いのでありますから、餘計な家具を置く餘地は無い筈であります。それで此ホールに配置される家具としては飾椅子コート置臺、花臺位が適當でありますっ總て實用を離れて裝飾を主眼とする關係上古典的樣式のものをアンチキュー仕上とすれば、奥床しい感じを表する事が出來やしないかと思ひます。其處で此アンチキュー仕上でありますが、此仕上法が我國に於て一般に賞翫せられる樣になつたのは、洋風家具製作の歷史が新らしいと同樣極めて最近の傾向でありまして、歐洲殊に英國伊太利等に於ては歷史ある古代家具を、恰かも我國に於て骨董品を愛翫すると同樣の意味で珍重せられて居るは勿論、古典家具模倣の流行は今も猶益々盛んであります。歷史の新らしい新興國亞米利加に於ても近年著しく歐洲文化に心醉せる結果、室內裝飾は勿論家具仕上の如きも塗工技術を以て古典家具模造の流行を招來しつゝある事實は吾國と其趨を一つにして居ります。

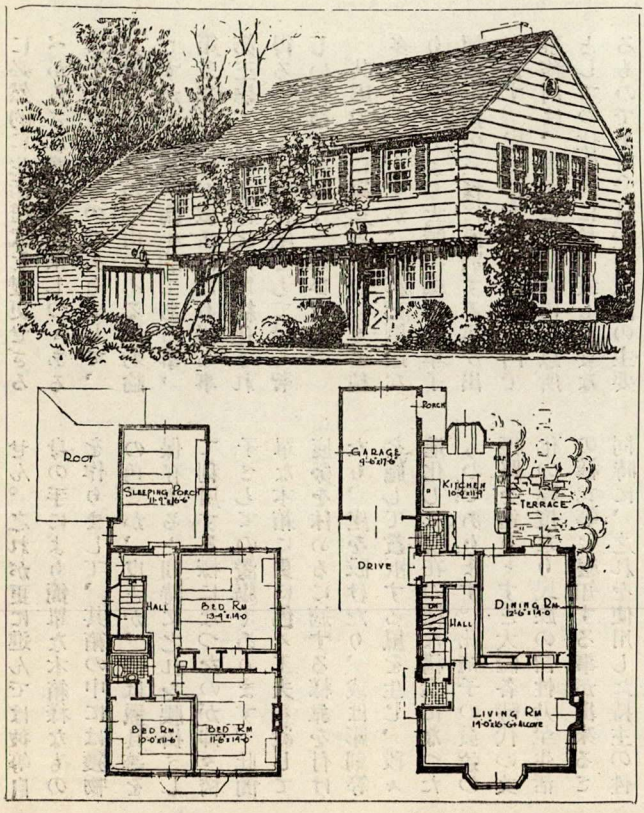
要するに、古代家具模倣のアンチキュー仕上は家具に澁味と落付とを與へる塗仕上として、特にホール等には最も調和するものだと思ひます。

應接室

此應接室は外來客が家族の趣味性格等を部屋の裝飾氣分に依つて第一印象される處でありますので室內調度品の撰定に當つては最も意を用ひなければならないのであります。

先づ應接卓子でありますが、元來此卓子の高さは、他の卓子の標準寸法よりも低く普通二尺二三寸位が最も適當であります。餘り高い卓子に向つた場合は何と無く窮屈な感じを與へるに反して、比較的低い卓子は氣易さと落付とを與へるものであります。殊にソファー、安樂椅子等の前に置かれる茶卓子の如きは一尺八九寸乃至二尺內外のものが適當だと思ひます。

又椅子の上張材としては、模樣色調の上に陰味のあるものか、澁味のあるものが良く餘り華美な裂地類は、應接室用としては不適當であります。初期洋風住宅の應接室裝飾は一般に女性的でありましたが、現今は寧ろ俳味豐かな澁味ある裝飾法が歡迎せられる傾向にあります。自然配置せられます家具も、無駄の無い簡明な線と色調とで仕上られねばなりません。



米國デトロイトフリープレス誌募集模範住宅入選圖案 (KURT STEIN BACHER)

居間

居間は一家の主婦が一日の多くの時間を費やされる部屋であり、家庭外にあつて活動された主人が一家團欒の樂しい中心となつて明るい燈火の下、暖たかい煖爐の前に打寛ろがれながら、安息される部屋ですから茲に配列される家具は裝飾的なるよりも寧ろ實際的な

ものを撰定する事が必要であります。此意味に於て座り心地の良い安樂椅子の一二脚は是非共準備する必要があろうと思ひます。

此居間飾り付けに於て、注意すべき事は此部屋には多くの場合ピアノヨか、ラヂオヨか或は麻雀臺の娯樂器具或は又ミシン裁縫臺等を置かれるものですから、必要以上の家具を配列する時は自然部屋が亂雜になり易くなる點であります。過ぎたるは及ばざるに不如ヨの言葉は、室内裝飾に於て特に注意すべき事でありましょう。

食堂

住宅の内で此食堂の裝飾は最も重大な意義を持つて居るものであつて、其裝飾の如何に依つて釀成せられる部屋の氣分なり、空氣は家族の習性、性格の上に密接な關係を持つものであります。此意味に於て室の飾付乃至家具の樣式は輕快な明るいものよりも、寧ろ莊重な落付のある内に整然と無駄の無い樣にすれば、自然部屋の氣分も禮儀正しい嚴肅な感じを現すことが出來やしないかヨ思ひます。歐米の家庭に於きましては晩餐の際、殊更に電燈を消し仄暗い蠟燭の神々しい光を用ひる風習も如上の事實に基くものであります。

其處で食堂家具ヨして特殊な點を擧げますと、先づ食卓はなるべく伸縮卓子とする事が便利であり高さは比較的高く二尺五寸を限度とする事、仕上としては熱湯、酒類等の爲めに犯されない漆、又はラッカー等の塗料で仕上げられる事が必要であります。

又食堂用椅子は他の椅子とは自から樣式形狀等を異にして居りますが、特に著しい點を擧げますと第一靠は後方への反りを尠くするヨ同時に、普通のものより高くする事、第二座の高さは一尺五寸を限度ヨし、スプリングを入れずなるべく堅く張り上げる事、第三上張材としては衛生的見地より埃を吸收し易き裂地類を避け特に皮類を使用せらるべき事、以上の内一及二は姿勢を眞直に禮儀正しく卓子に向はれる爲に外なりません。

是等卓子椅子の外にサイド、ボードがありますが、其樣式形狀の點に於て近年の著しい傾向は出來るだけ單純(シムプリシチー)な樣式で小型のものが尊重せられる事であります。數年前迄は大型のもので、複雜な彫刻等を好んで施されたものでありますが、最早や其存在は認められなくなつた樣であります。

寢室

寢室の氣分は、常に平和な暖たかい感じを表はす樣に裝飾せらるべきでありまして、部屋全體を單一な色調で仕上げれば自然こうした氣分を出す事が出來やしないかと思はれます。

寢室家具として其主體をなすものは、申す迄も無く寢臺でありまして、此寢臺の良否は夫れに使用せられて居る材料の撰定如何に依る事勿論であります。其主なる材料ヨしては、彈力性強き鋼鐵製帶金又は針金等を以て枠組したスプリング金物と、徑二吋高四吋位の小型スプリングを連續的に包込んだものを、兩面に馬毛を敷き塡め五吋厚位にした所謂スプリング布團(此スプリング布團は專ら高級寢臺にのみ使用)普通多くの場合は、藁の袴の部分のみを撰別して之れを張り包んだ藁布團、及び馬の髭、尾等をカールして彈力性を與へた馬毛を張り包んだ馬毛布團等がありますが、是等の材料は殆んど總て舶來を使用して居る現狀にあります。

此寢臺以外にはナイト、キヤビネツト、洋服箪笥、化粧臺、椅子等がありますが、要するに其樣式なり、仕上色及椅子裂地等に於ては前述の通り出來るだけ單純な形と柔らかい色調とで仕上げられゝば良いと思ひます。

以上申述べましたホール、應接室、居間、食堂、寢室等は臺所ヨ共に洋風住宅を構成して居る主なるものであつて、夫等の家具は自から異つた用途なり趣きを持つて居るものでありますからそれに適合する樣工夫される事が肝要であります。以下最近家具の上に現れました著しい傾向を二三摘記する事に致します。

シムプリシチー

英國に於ける家具樣式變遷の徑路を辿りますと、十九世紀ビクトリヤ式家具及室内裝飾に於て表現せられました精神は、自家陶醉乃至卑俗なる浮華輕跳の氣風を横溢せしめたるに過ぎませんでしたが

此審美に對する極度の冒瀆に對して、必然的に其反動として勃興したものはウヰリアム・モーリスに依つて創始された近代レネイサンスの擡頭でありました。

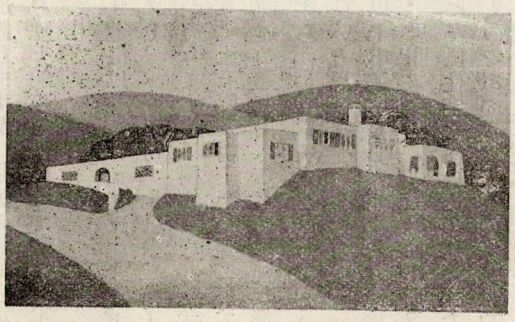
彼モーリスの常に提唱せる主義として、吾々日常生活に必要なる家具は出來るだけ簡明を旨として不用の裝飾は勉めて之れを避ける點にあつた樣であります。其間ヂヤコビアン、ウヰリアム、メーリー、クヰンアン、チツペンデールヘツプルホワイト及セラトン等の古典家具模倣の流行を招來しては居ましたが、歐洲大戰を轉期として茲に新らしい樣式を生み出す機運となつた事は申す迄もありません。即ち戰爭の慘禍を受けた人心は其生活樣式の單純化に準じて總ての裝飾美術も亦シムプリシチーを翹望する樣になつた事は自然の理でありまして、此傾向は我國に於ける美術工藝の上にも大なる刺激を與へつゝあるのであります。

狹小なる室と家具との相對

近年家具樣式の上に、大なる影響を與へた他の事實は、住宅設計夫れ自身であります。即ち歐米に於ては、古き宏壯なる住宅建築は逐年アパートメントに改造せられ新婚夫婦の多くは、彼等新婚生活を營むに僅かに二部屋甚だしきは一部屋を以つて滿足しなければならない狀態にありまして、自然各部屋の面積も狹く天井の如きもビクトリア時代のものに比し驚く程低くなつたのであります。又一面我國に於きましても、住宅敷地面積の尠くとも七〇%迄は庭園として利用し、殘り僅か三〇%の敷地内で家を建てる事が理想的原則となつて居ります關係上、各部屋の面積も餘り廣く取る事は出來ないのであります。斯くの如く各部屋は狹く天井の低くなつた事實は、其處に配列される家具の形狀に重大なる關係を持つ事勿論でありまして、其事は特に食堂のサイドボード飾棚書棚簞笥等の樣式の上に影響致しまして、昔流行致しました樣な蛇腹の大きなもの、或は複雜な彫刻を施したもの等は全く部屋の調和を破るものとして、一般から顧られなくなつたと同時に、大型のものよりも小型のものが推賞せられる所以であります。

仕上

極最近迄家具仕上の方法としては、ラツク或はニスを以つて美しく光澤塗とせられる事が一般流行となつて居た樣でありましたが、近年は全く之れと反對に艶消若くは半艶消のアンチキユー仕上とせられる事が、非常な勢を以て流行しつゝある樣であります。之れは一面需要者の趣味の向上を示すは勿論、他の一面に於ては室内裝飾に用ひらるゝ各種織物類が極めて豐富な色調圖案のものを好んで使用する反映でありますと同時に、他の見逃がすべからざる事實は室内照明に於て科學的採光法の發達に伴ひ日中は出來るだけ充分の光線を取入れると同時に、夜間は又强力な電燈を用ひて室内を明快ならしむるの結果、若し家具調度品が光澤仕上である場合は餘りに反射が强過ぎ不快なヒステリツクな感じを與へるに反し、艶消若しくば半艶消の仕上であれば假令過剩な光線を受けても、全體の感じの落付と丸味とを與へ豐富な色調の椅子裂地又はカーペツト等と調和良き反映を生ずるものであります



要するに、吾々現代人の生活に於ても無駄な時間を有つて居ないは勿論、煩雜よりも單純なる生活樣式を要求して居る現狀に於て、室内裝飾乃至家具樣式も亦複雜な彫刻とか無用な飾等は勉めて避け出來るだけ簡明な線と形とで調和良く作られたものが、最も現代人の要求に適合するものであろうと信じます。

(終)



住宅の神經系統

——電氣設備——

工學士 工藤壽男

住宅と言つても多種多様であり然も住宅に於ては、それに住ふ人の性格、趣味に依つて、設備方法なり設備様式が全然、趣を異にするから、一律に、定規式に當て嵌むべき方式はないわけである。殊に、日本人には所謂『好み』といふ高尚な癖があるため、一層スタンダリゼーションが六ケ敷い。

事を簡單にするため、先づ住宅に起り得る電氣設備の種類を述べ次に工事方式を述べてこの稿を結びたい。

設備の種類

一、電燈 必要缺ぐべからざるものである。現在では、大體、燈數不足と言ふやうな、そしりは少くなつたやうであるが、まだ、スヰツチング（電燈點滅裝置）の利用が輕んぜられて居る。勿論、配線費に於いて、電燈一燈も、スヰツチ一個も、同じ程度の工事費を要するからで、經濟上已むを得ず、スヰツチングが、熟慮され過ぎて、形の上には、閑却されて居るやうに見えるのかも知れない。實際、特別の點滅裝置にあつては、電燈一燈の工事費より、より以上高くつくものもあるからだらう。電燈一燈を二箇所から、例へば階段の電燈を階上階下の二箇所から、自由自在に點滅し得るのは、ありふれて見るが、三箇所から一燈の電燈を自由自在に點滅するのは、餘り見受けない。まして一燈の電燈を四箇所五箇所から……といふのは、先づ見受けないと言つても宜敷しい。實際の場合三箇所、例へば直角に落ち合つた廊下に階段がそこへ突きかゝつて居る所、階上より點燈して階下の右に折れても左に折れても、消燈したい事が起り得る。

その他の特殊のものには、非常スヰツチの如きも必要な場合がある。例へば、郊外住宅などで、各部屋で一電燈をスヰツチで消して居る侵入者（盜人でもなんでもよい）があつた時に、主人の室なり主婦の室なり何れからでもよい、スヰツチをひねれば、たとへスヰツチで各室が消燈してあつても、一齊に點燈出來るものである。非常用として、かく全部點燈する必要が起る。但し最初の配線費に於いて、幾分負擔は重くなるが、別に經常費の負擔は一厘もいらないから、相當の住宅には、設備するも決して無駄な事ではあるまいと思ふ。

猶、郊外住宅で必要なものとして推薦したいのは、侵入者が、塀なり、垣を破つて正に侵入せんとする時に、これを防ぐに、光の垣を應用する事である。椽先などにグルリと相當高燭光の電燈を設備し、主人の部屋なり、主婦の部屋なり何れからでも自在に點燈し得る様にし、建物の周圍に、グルリと光を投げたならば、侵入者が、この光の堀を越へて、戸締りを破つて這入つて來る事は絶體にないと言つてもよい。この光の垣、光の堀を造くると同時に、アラームベルを鳴らして、近隣に、異狀時なるを報知したならば、恐らく、侵入者は電燈に目をむかれて逃げるに相違ない。

次に、幾つかの電燈を一つのスヰツチで色々に取り扱ふ事である例へば、一部屋に電燈がAとBと二箇所にある。それで、Aをつけて、Bを消し、又反對に、Aを消して、Bをつけ、又は、ABを同時につけ、同時に消すと言ふ様なものである。

その外特殊の雜多なスヰツチングがあるが茲には略する。

電燈の燭光、位置、採用すべき電球の種類も亦、省略する。

二、アップライアンス レセプテークル 簡單に、差込とか、コンセントとか言つて居るもので、茲では、何がなしに、アップライアンス、レセプテークルと言ひく

るめる事にする。このレセプテークルで使用するものは、アイロン（洋服の冬のオーバーなどにはかけられない程度、先づ五ポンド以下）、裁縫鏝、カーリング、アイロン、ミシンモーター、擴聲器付蓄音機、電氣扇、携帯用電燈（スタンドランプ、ハンドランプ）シガーライターの類である。

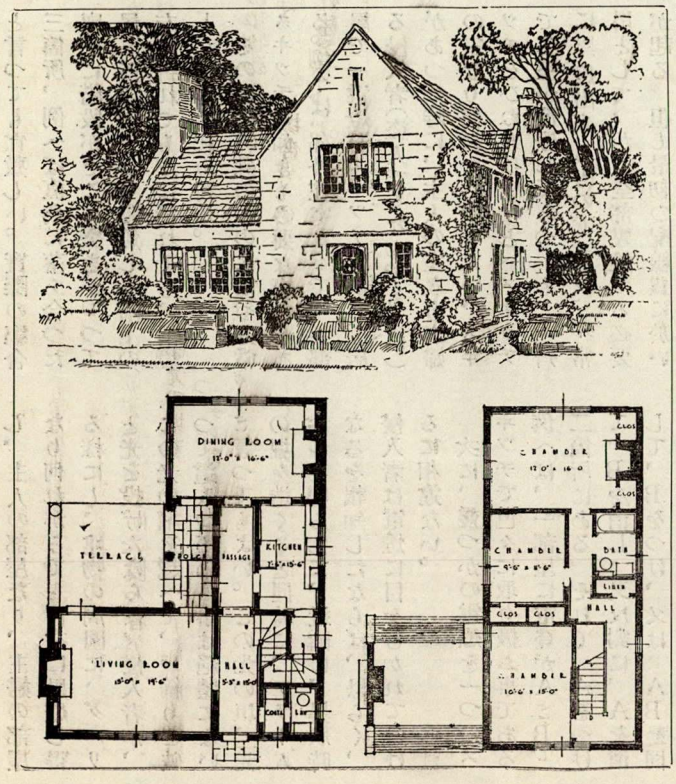
電力の方面から言へば、先づ六百六十ワット以下の電力を食ふもののみを使用するものである。客間などは、その用途が一定してゐるからレセプテークルも二箇位でよいが、居間の如く、あらゆる方面に使用さるゝものには少くともレセプテークルを三つ位おいたがよろしい。例へば、一つはスタンドランプに使ひ、一つはラヂオに振り向け一つは、裁縫鏝に使ふと言つたやうなもので、殊に居間の如きは、一般あかりとして電燈は部屋の中央一箇所位にして、レセプテークルを數多くした方が、部屋の使用の目的に思ふ様に添はせる事が出來る。

三、電熱　臺所の熱の電化は、住宅に於いて最も衛生的な便利な小奇麗なもので他の追隨を許さないが、現在の狀態では經濟上から許されない住宅が多い。ただ女中が二人居るのを、電化のため一人にし得るとき、或は三人を二人にし得る時に、臺所電化が經濟的に行はるゝ。これ以外には先づ經濟のため臺所電化するといふ事はないと思ふ。然し、他の一般の燃料、薪、木炭、石炭等は年々値段が高くなるが、電力代は段々低下こそすれ、高くなるやうな事はないから、近き將來には例外なしに電化せらるゝ時代が來るかも知れない、設備配線だけは是非施工して置く必要がある。

四、小動力　水道のない處では水汲み用ポンプ、自働スヰッチ付のタンクもあれば、タンクなしのプレッシュア式のものもあるが、電燈線から取れる程度のものである。

洗濯機械、家庭用電氣冷藏器も以上の程度のものである。

五、ベル　各種の部屋から、特殊の箇所例へば女中などを呼ぶもので普通は乾電池を用てベルの音の數にて、呼ばれる所を知るやうにしてゐる。呼ぶ箇所が多くなれば、標示器をつけて、よばるゝ箇所を標示させる。この頃ではベル用の小型變壓器を使用して乾電池の缺點をおぎなつてゐるが、たゞこれでは停電の時に使用出來ないが經濟上から言へば、唯一のものである。標示器の處に、特定の人が居ればよいが、人の事だから動くので、女中部屋に標示器があれば、もし女中が洗濯場臺所に居るかも知れないので、臺所と洗濯場に、ベルだけ（これをエツキステンションベルと言ふ）をつけて、呼ばれて居るといふ事を女中に知らし、女中は部屋に歸つて呼ばれた箇所を見て、そこに行くといふ事にすれば便利である。尙これと門の郵便受と接續し、郵便が、ほり込まれたら、ベルがなり標示に表はるゝのも一法である



米國デトロイトフリープレス誌募集模範住宅入選圖案（DAVID D. DEMMY氏）

六、電話　局線以外に、屋内電話が必要な場合がある。二ヶ所以上の場合、點信號こて、ベルの鳴らし方によつて、相手方を呼び出す方法と、話せんとする相手方にのみ信號を送つて呼び出す方法こがある。

夜間門を締めた時に、門の建造物内に送話受話（スピーカー式の高聲）裝置を埋藏し（これは、いたづらされたり、こわされたりしない爲）訪問者が、門のベルを押すと、屋内から、通話を初め、豫め、用件を聞き、又は訪問者が正當なものかどうかを確める。これも、この電話の項に含める。

七、標示　標示は光に依るものと機械的に依るものこ二通あるが、女中に手がすいたら來いとか、或は、この部屋に這入つては、いけないこか、いふ樣な標示である。殊に、暗室などで、寫眞をやつて居る時などは尙更必要である。

八、豫備燈　電燈が絶對に停電しないこいふ事は保證出來ない。それは需要家が、今の電氣料金の二倍を支拂ふこいふなれば先づ絶對に近い無停電を要求する事が出來るが、言はゞそれは不可能の部類に入れて差支ない。從つて、玆に豫備燈の必要が起る臘燭も、石油ランプも、瓦斯ランプも、豫備燈の安全なるものに相違ないが、突差の間に合はぬ不便がある。

そこで大切な部屋、通路に豫備電燈を配線する。これは、成るべく目立たない小さなものにしておく、その電源は、出來得れば、蓄電池の六ヴオルトものにする。といふのは、ラヂオに蓄電池の六ヴオルトを使用してゐるから、停電の時だけ、ラヂオの蓄電池から電氣を分けて貰へば、簡單ですむ。この豫備燈のスヰツチを女中室なり居間なりに置けば、停電だとすぐ、そのスヰツチを入れれば、要所だけは明るく暮せる。今少し停電の影響が大きい場合、例へば、繪具を使つて繪を書いて居るといふ樣な時に、パツタリ停電されて後をメチヤにされる樣な時、停電と同時に自働的に豫備燈が、つくやうにする。又電燈會社から、電氣を送つて來れば、豫備燈は自働的に消燈せらるゝ。この自働スヰウチには『タイムスヰツチ』を併用しておく。タイムスヰツチの針を午後六時より午後十一時までと調整しておけば、午後六時より午後十一時までの間で停電した場合にのみ、豫備燈をつけて呉るるしそれ以外の時間の停電に對しては知らぬ顏の半兵衞こいふ事になる

九、ラヂオ　これも住宅になくてはならないものの一つになつて來た。簡單な礦石セツトであれば、アンテナとアースだけで、電源は入らないが、二球式三球式……こしてスピーカーを鳴らすこなると蓄電池を要する。この蓄電池は、前の豫備燈に流用するが、もしもエリミネーターを使用すると、豫備燈には別に、蓄電池が必要になる。附りではあるがアース線は出來るだけ短く引くやうな注意が必要である。尙、必要な部屋に、ラウドスピーカーの差込だけ幾つも置き、同時に鳴らし得る樣アンプリフィヤーを置くのも面白い。

一〇、避雷針　避雷針は屋上に取り付くるのが例になつて居る。又ある意味に於いては、上から雷が落ちるので頭のてつぺんに立てた方が、安心だこいふ樣な心持からも手傳ひ、又、取付方から言つても、簡單であるからだらう。

一方法こして、構内の一部に、屋根より高い柱、（瓦斯管で、ステーを取つたものでよろしい）をたて、これに突針をつけ、導線をパイプ内に入れて、地中銅板に、結びつけるのもよろしい。場合に依つては、これをアンテナの一方の柱に利用しても面白い。

以上十項に亘つて略記したものを、適當に按配し、モディファイして、住人の性格趣味を表現すれば、理想的に行くわけである。

工事方法

工事方法こしては、木造で後から點檢の出來る處であれば、ノツプ、クリート（陶器の絶緣物）で電線が造營材に、くつつかぬやうに支へて、配線すればよい。木造で點檢の出來ない處は、金屬管内に電線を收めて配線する。勿論コンクリート建なれば、金屬管工事でせなければならぬ。

木造建築物で、安全を期するた

めには、金屬管工事を施す方がよい。

コンクリート建築に用ゆる金屬管は、充分防錆を施した厚手の金屬管を使用する樣注意が必要である。

既に、與へられた、紙面から、はみ出して居るので、茲に筆を置く。(終)



小住宅と保健問題

宮飼克二

現代科學の進歩は、之等の總合藝術である建築界に、急激な變化を示した事は、當然な事であります。意匠に、間取に、構造に、設備に、或は施工等の全般に於て然りでありますが、經費や容積の關係で、構造設備方面に於ては、小建築に應用出來難い場合が多々あります。廣い意味に於ては、建築物總てのものが、住に對する目的物ではありますが、今之を二つに分ち、一つを公共的建物、他を私的住宅としますと、前者は一般に大建築であり、經費其他の點で種々の設備をなす事も可能でありますが、然し乍ら後者に於ては其正反對でありませう。我國に於ける全人口の九十幾パーセント迄は、所謂中流以下の無産者又は無産に近い人々でありまして、之等の人々の住居は、自己の所有であると借家であるとに關はらず、何れも小住宅の範圍を出ないものと斷定する事が出來ます。

◇

今、保健衛生の方面からこの小住宅を見ますならば、その構造設備に於て、甚だ不備な點が多々ありまして、吾國民保健上から大いに考へなければならぬと思はれるのであります。晝間假りに衛生設備の行屆いた役所なり或は會社商店などで働くとしても、心身の勞働に依つて失はるゝ精力の消耗は多少共に之を認めなければなりませぬ。從つて夜間の、心身を休養せしむべき住宅に於て、特に保健上留意を必要とするに至るのであります。婦人や小供の大部分は終日この住宅に生活するので、尙更の事であります。

現在最も普遍的で、最大多數を占むる結核病に就て、英國アーサー・レーサム氏は次の如く云つて居ります。

『結核病は文明病とも云ふ叮嚀で、文化の進んで居る國民の間に蔓延しますが、自然的な生活を營んで居る未開人種の間には、甚だ稀れな病氣です。(中略)即ち結核病は自然の儘の生活を營むものゝ間には發生せずして、自然に反した人爲的な生活を送るものゝ間に流行する病氣だと云ふ事が出來ます、從つて生活境遇といふ事が、結核病を豫防しやうとする場合には、非常に重大な問題である事が判つて來るので、此の病氣根絶を期する上に於ても、結核菌の傳染といふ問題よりは、『如何なる場所で如何なる暮し方をして居るか』と云ふ生活境遇の問題の方が、個人的にも社會的にも、遙に重大な意味を有つて居るのであります。』と

即ち日常の生活を出來るだけ自然的にし、非衛生な習慣や不攝生を愼み、精神肉體共に無理を避けて、所謂規律的生活をなす事が、保健上第一でありますが、一面に於て、今少し積極的に、無理をせぬ程度で適當なる運動や、皮膚の鍛鍊(冷水摩擦、空氣浴など)を注意深く行ひ、榮養の點も相當留意すべきであります。以上の諸點は大體に於て一般の人々が承知して居る事で、要はその實行如何にありますが、小住宅の保健上の構造設備や、利用法などは案外無關心な人が多い樣で、吾々建築家の立場にある者は、特に此點の研究と宣傳指導に意を用ひねばなりません。

◇

吾國が歐米諸國に比して濕氣が多く、雨量の多いと云ふ事は、一般に認められて居ります。又我國では春から夏へかけて、濕氣が多く、濕度と氣溫の上昇の狀態が、大體平行して居つて、圖表ではへへの樣な形に現れて居りますが、西洋では一般に我國のそれとは反對

に、冬期に濕度が昇り、夏期には反つて降ると云ふ現象で、圖表では∨∧の如き形に現れて居ります從つて、我國の在來住宅が開口が大きく、軒出が深かつたのも、自然に順應して出來上つた形でありまして、之を無視した住居建築は我國の氣候を考へず、國民の保健を考へないものと云ふ事が出來ます。最近歐米直寫の、軒の出の少しもない、且つ小さい窓の住宅が各所に建てられて居るのは遺憾であります。

殊に我國の住宅建築の主要材料が、木材より離れる事の出來ぬ間は、室内の通風をよくして濕氣を出來るだけ避けると共に、柱其他各部材の防濕のためにも、所謂太皷壁として内外共に包んだ西洋壁は、甚だ好ましくないものであります。外觀意匠の關係から、外部をモルタル又は人造塗り、或は張付け物となす場合も、内部はなるべく柱を見せる樣な意匠にせば、餘程防濕の目的に叶ふ事となりませう。この場合に、柱外半分に間柱や筋違ひ胴縁などを納め、内半分を木摺壁又は眞壁として、柱を見せるのであります。而して間柱部分の空洞部の換氣を計るために内外適當の箇所に空氣抜を裝置する事は、多少効果のあるものと信じます。

鐵筋コンクリートを以て住宅を造る場合に於ても、コンクリートの吸水量が可成りあるので、地中壁から地上壁へ吸上げらるゝ水分は、仲々無視出來ぬものがあります。之を防ぐにも、窓其他の開口を大きくするは勿論、防水層を以て地中壁と地上壁とを絶縁し、尙架構に差支へなき限り、二重壁とするか、中空のコンクリート・ブロックの類を用ひ、この中空部が外氣と連絡する樣に換氣孔を設け之を利用して室内の換氣も工夫し度いものです。特許加藤式コンクリート・ホーム（東京モエヌ家建築社）など、此等の點より見て合理的に工夫されて居り、最近住宅や土藏などに用ひられかけて居る樣であります、コンクリートの密度をよくし、吸水量を少くするためには、硅藻土を混用する事も相當有効でありませう。

◇

開口の大きい事は、濕氣に對する通風のみならず、採光の點より及び換氣の點からも有効な事で、保健衛生の上からは、室内の空氣を出來るだけ外氣に近からしめる事であります。どんなに清潔にした室内でも、戸外の空氣に比すればより不淨であり、單に空氣條件のみより考ふる時は、戸外生活が最もよい譯でありまして、林間生活、キヤンプ生活などが唱導されるのも、この理由から出發して居るのであります。乍然、實際問題として、現在に於て住宅を省略したる生活は不可能でありまして、住宅生活をなす以上、之を出來るだけ衛生的に取扱ふ必要の起る事は當然であります。一般に空氣の良否を判別する標準としては、單に酸素と炭酸瓦斯の多少と、塵埃等の有無に依つてのみ定めますが之は空氣を吸入瓦斯としてのみ取扱つた化學的成分より見た考であつて、この他に、空氣の溫度と濕度と流動と云ふ物理的條件が、生理上から空氣の良否を決定するに重大な標準となる事が、最近認められゝ樣になつて來たのであります。

吾々の生活機能を完全に保つためには、皮膚の排泄作用が大切であると云ふ事は、悉知の事實でありまして、吾々の皮膚が、如何に活潑に排泄作用（即ち肉體の新陳代謝）を營まんとしても、之を蔽ふて居る空氣の物理的條件が不良であれば駄目であります。即ち空氣の溫度が高ければ、體溫の放散作用が妨げられ、濕度が多ければ水蒸氣の發散が出來難く、又空氣が流動しなければ、皮膚周圍の空氣の溫度及び濕度は、肉體からの發散量の爲めに高まり、前記の作用が妨げられる事となるからであります。毛製のシヤツで皮膚を包み、厚着して居る事は、第一にこの空氣條件に反するもので、且つ室の密閉は、この物理的條件を惡くするのと、前記の化學的成分を惡くするのと、兩方より見て有害だと云ふ事が明かとなります。從つて、各出入口や窓上などの欄間は、出來るだけ、之を開放して、換氣に留意すべきであります。小住宅では、よく欄間を設ける事を省略したり、折角の欄間にも嵌殺障子を取付けたりする事は、改め度いものであります。

◇

次に夜間開放の問題でありますが、日本は勿論、外國でも夜間の外氣が有害だと云ふ誤つた考へが一般の頭にある様であります。特に日本の如き空氣が濕潤で、溫度の急變のある國では、夜間の開放は不適であると說く人も少くありません。然し何事にも一利一害が伴ひますから、長を執つて短を補ふ方法を講ずる必要はあります。英國ドクトル・バターソン氏は、著書『結核辯妄』に於て、左の如く說いて居ります。

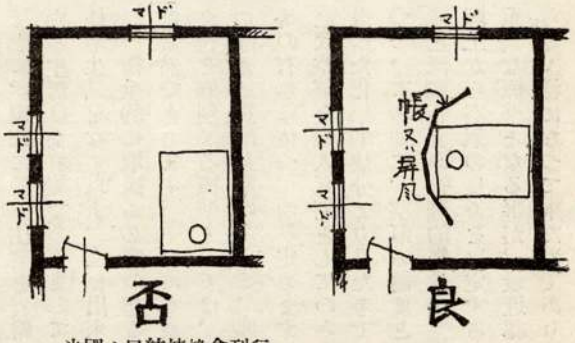
『私はどうして、夜間の外氣が、有害だなどと云ふ考へが、起つて來たのかと、不思議に思つて居るのであるが、フランスの結核療養所の一つでは、晝間は一日窓をすつかり開放して置くが夜になるとバタ〳〵窓を閉めてしまふのである。こうした例を見て、私は晝間の空氣と、夜間の空氣と、何處が違ふのかと云ひ度くなる。夜間は日中よりも溫度が低いと云ふ事はあるにしても、之を以て夜の外氣を嫌ふ說明とはならない。之は、寒冷必ずしも結核病に有害でなく、むしろ好成績を擧げて居ると云ふ幾多の例があるからであるとにかく、かう云ふ舊思想は、一日も早く征服されて、凡ての寢室が存分に開かれ、清淨な夜の外氣が這つて來る様になつたならば、一般世人の受くる利益は莫大なものに違ひないのである。……』と

又、我國の結核治療界の權威である、額田博士も左の如く云つて居ります。

『私共の鎌倉の保養院で、夜分も必ず窓を明けて置く様に申すと、何だか非常に亂暴な事をする様に云ふ醫師さへある。素人の人が妙に考へるのは當然であるが、私共多年の經驗では、夜分窓を開けて少しも有害でない。のみならず、少しこの習慣を有する患者は、若し窓を閉ぢたなら、誠に不愉快に感ずるものである。相當の注意の下に、必ず夜間でも窓を開放しなければならん。』と

結核患者に於てさへ已に右の如くであります、健康者が之を實行する上に、何の躊躇がありませう一晝夜の半分は夜であります、この夜間の空氣條件を良くすると惡くすることは、保健上に大なる差を生ずる事は明かであります。そこで種々な工夫が必要になります即ち、排氣孔を作るとか、欄間を充分開くとか、雨戸に開閉格子などを作る事は、危險なく實行の出來る事で、次第に廣く開放して之に馴れるのは、甚だ有効な事であります。睡眠中に突發的な强風に對する準備として、下部に幕を張るとか、枕もとに屏風を立てると肩口を充分包むとかの注意もよろしく、なるべく鼻呼吸に馴らす事も注意の一つであります。米國などで、郊外の小住宅に、三方開放的なスリーピングポーチを設けた例が澤山ありますが、之なぞは大いに學ぶべきだと思ひます。

夜間開放の一例
(○印は頭部を示す)



米國々民結核協會刊行
Sleeping and Sitting in the Open air ヨリ

◇

在來の日本住宅に於ける、竿緣天井と疊に就ては、傳統的の執着こそ多少の特徵もない事はありませんが、衛生上の見地から欠點が少くないのであります。竿緣天井の隙間よりゴミの落ちる事は甚だ不愉快なもので(勿論安物住宅ですが)之などは、羽重ねを廢して目板を裏から當てる様に改め度いものです。疊は保溫上からは相當有効でありますが、ゴミを吸收する點に於て、不衛生な事は一般に認められながら、之に代るべき適當のものがないために、仲々改められないのは遺憾であります。最近疊表の下に防蟲紙を挾んだものが三熊製疊所(神戸)などで試みて居りますが、物足りないもので、識者の研究に待つこと切なるものがあります。

日本座敷を病室としたる場合、室の開放(通風、換氣)の上からも、之に稼側があれば日光の射入の調節の上からも、洋室に比して甚だ便利であり、好ましいのでありますが、掃除に當つて、帚やハタキなどを用ふる事は禁物で、是

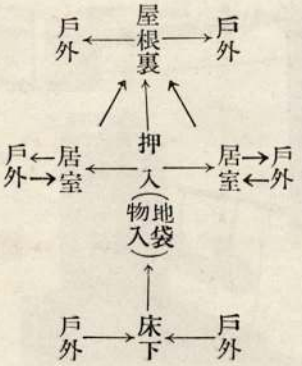
非共、雜巾類でホコリを拭ひ取り消毒的にはクレゾール石鹸液の薄めたものなどで、拭ふ必要がありますが、かゝる場合特に疊の不潔を感じます。この對策としては、疊の上に臨時に、拭ひ取りの容易な消毒にも好都合な様に、表面の滑らかな敷物を用ふるのがよろしく、大阪の原榮博士などは油圍(ユトン)を推奨されて居ります。そして出來るならば、床面のホコリより遠さかるため、長期の病臥には蒲團と疊と接したる部分が、兩方共濕氣の爲めに腐るのを避ける上からも、組立式の簡易な木製寢臺などを用ふる様にすれば、僅少の費用で非常に衛生的であります。

◇

屋根裏の排氣窓は、洋風住宅では小さい家でもよく附けられて居つて、安物の洋館では切妻の裝飾として見かけだけに附けて居る實例を見ましたが、かうなつては萬事終りです。日本家では極く上等のもの以外には餘りに用ひられず軒桁上の垂木間で所々に金網を張つて居る位が關の山であります。

この屋根裏の排氣の第一の目的は夏期に於ける室内の溫度を出來るだけ低下さすためでなくてはなりません。從つて、屋根裏の熱せられたる空氣を排出するには、天井に近い軒桁上では駄目で、なるべく棟に近い方が有効であります。日本家でも切妻或は入母屋を利用すれば容易に取設け得るので、私も大正十四年の六月に自宅(平家建一本棟切妻造りの安物の日本家)の兩切妻に、巾八寸高二尺弱の内法を有するガラリ窓(内側金網張り)を、二個づゝ眞東を挾んで取設けましたが、熱風が此の窓より排出するのを實驗して、今更の様にその効用を悟つたのでありました。其年の暮から發病して二十一ケ月の仰臥生活を續けましたが、數字的には不明ですが、確かに充分の効果があつた様で、丁度病氣を豫知して作つた様な氣がしました。

この防熱設備を一層有効にさす爲めには、天井に充分の空氣抜を必要とします、竿緣天井を目板打ち(前述參照)としたる場合は、特に室の四隅に小空氣抜を體裁よく意匠し、床の間、違棚、或は押入、物入などの天井にては、大型の空氣抜を設け、尚、押入又は地袋などの如き床に、床下よりの吸氣孔を適當に設けて、之を簡單に調節し得る様にせば、單に防熱のみならず防濕にも非常に有効で、押入の濕氣や床下の濕氣も大いに輕減さるゝことでありませう。在來日本住宅の通風換氣の設備が、床下、各室、屋根裏(又は天井裏)に於て、各個別々に水平的になつて居つたのでありますが、之を縱斷したる前記の垂直的の方法を加へる事に依つて、始めて合理的に之等の目的が達せられ、保健上有効となるものであると信じます。



◇

椽側の効用に就ては今更論ずる迄もありませんが、北向きの座敷に三尺の椽側を附け、室内を暗く陰氣なものとした例を見る事があります、之なぞは室の體裁にのみ捕はれたがためであります。椽側の必要なる室は出來るだけ西南に纏め、外觀も考慮せねばなりませんが、土地に應じて日光の射入を考へて、適當なる軒の出を決定するのが理想でありませう。椽側には硝子障子を建込むを普通としますが、通風其他の點からも前述の様に出來るだけ開放すべきで、紫外線を通過せざる普通硝子では尚更保健上開放を必要とします。冬季椽側の開放は一寸困難の様でありますが、人間の皮膚は馴れ易いもので、漸次に馴らせば嚴冬でも可能でありまして、皮膚の鍛練と信念とを以て進めば容易に實行が出來るものであります。此際衣服に依つて身體の冷えるのを防ぐ方法を講ずる必要はあります。少々極端な様でありますが、之は結核療養の越冬法で、抵抗力の衰へた患者が外氣を唯一の藥として椽側靜臥をなし、自然療法を忠實に行つてゆく一方法で、多少でも健康者が之を日常生活に加味して實行する事は、小住宅の衛生上の不備を補ひ保健上有利な策であると

信じます。

◇

以上小住宅に對する保健衛生的の構造設備に就き、甚だ陳腐な事を記しょしたが、目的は多少でも此方面の御研究發表を期待し、併せて後段の保健的利川法を、若干の體驗と、調べとを基礎として、御紹介した次第であります。多少にても、御共鳴の士を得れば幸であります。丁り（四、四、一六稿）

附記。保健常識の宣傳として、左記小パンフレットを、御希望の方に進呈します。（小生住所は名簿地方會員欄參照）

『結核病の眞相と治療原則』



住宅の改善と考慮すべき要點に就て（2）

須賀藤五郎

七　食堂の設備

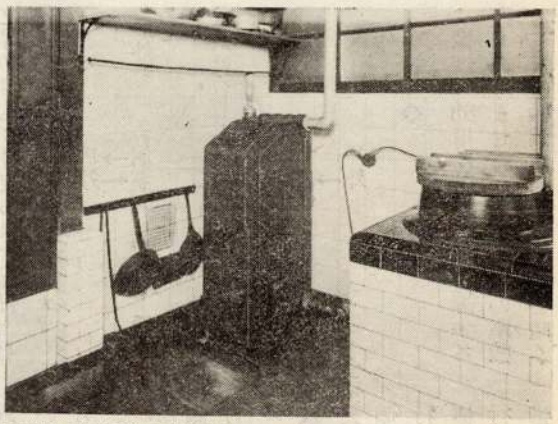
老人のある家と又病氣に罹る場合を考慮して食堂には簡單な座し乍ら使用の出來る流しを設置して臺所迄足を運ばないで此處で簡單な川を足せる樣にして置く必要があるだらうと思ひます。殊に大切な食器類は臺所へ共都度女中に始末させるより此處で始末をする方が最も理想的であります。

第七圖は食堂內の『キチエンキャビネット』の下部中央に裝置した簡易な流しであります。此兩側には食器と食料品を入れる戸棚が有ります。常に四枚の『チーク』の引戸で之を閉ぢて置けば之等の裝置は全部隱れて仕舞ふ樣になつて居ります。

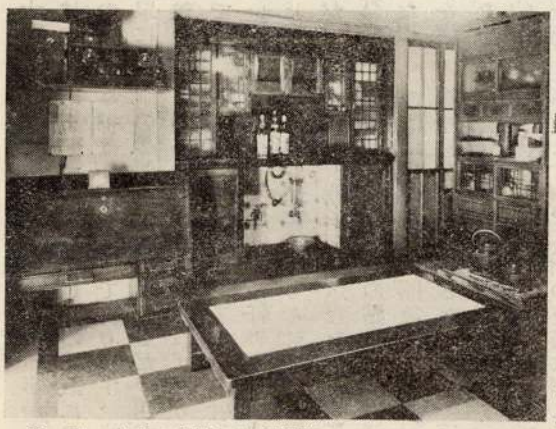
圖に示す樣に流しの正面には湯と水の栓之に瓦斯の二口栓と瓦斯焜爐自在器、其他飲用水濾過器、布キン掛たわし等が此中に始末されてあつて此處では座し乍ら簡單な炊事の用事は勿論、食卓の上には樂に瓦斯焜爐が使川出來總ての仕事が女中無しで解決出來ます。

更に右側の水屋は中心を切抜いて炊事場と食堂の兩面から使川出來る樣に工夫して調理中に必要な調味品は全部炊事場側から取れる樣にハッチ（差出口）を設け炊事場との連絡を取り料理は『ハッチ』の炊事場側の開き戸を開けて炊事場に居乍ら食堂側甲板上に差出し得る樣に、又食後に汚れた食器は此甲板から『ハッチ』に依つて炊事場側へ押出せる樣にしてある。食卓の上は清潔上カラグラスを使川しました。

食堂の床は床下の通氣を絶縁する爲と疊の目の中の埃を避ける目的でキルタ張と致します、キルクはぽんやりして足觸りがよく溫かくてよいのでありますが此の



第六圖　簡易湯煖房コンクフォートボイラー設備



第七圖　食堂と座席、調理設備

上布團を敷けば何等申分ありません。

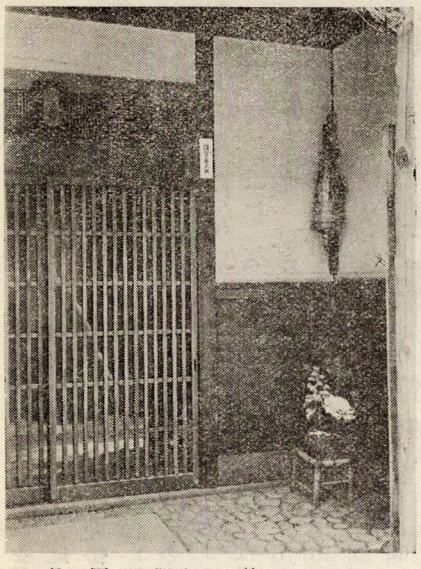
八 消火設備

我國の建物はまだまだ木造の部分が多い爲に火災の豫防法に就ては充分の考慮が必要であります。貴重な生命財産を安全にする爲には萬一の場合を顧慮して各家庭には少くとも一個の消火器は設備して置かなければなりません。

消火器は突嗟の場合にも簡單に操作が出來て確實に消火出來るものでなければならない。

度々消火の練習や藥品の効力試驗を要するものでは不適當である、消火器の中にはよく梅雨期を二三回も越すと濕氣の爲に、變質して用をなさなかつたり消火液の氣が抜けたりして使用出來なかつたと云ふ例があります。切角消火器を設備し乍ら火災を大ならしめることがあります。

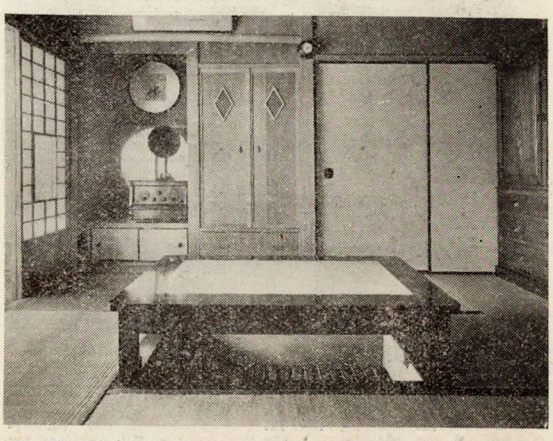
是等の欠點に關して絶對に心配のないものは獨逸製『ミニマックス』消火器であると云ふ事丈一寸申上げて置き度いのであります（第八圖參照）消火器は又成可く一定の場所に取付けて置いて之が誰にでも目に付き易い所がよいのである位置が時折變動した爲に萬一の場合に狼狽して大事に至らしめた例も澤山あります。



第八圖 消火器の取付け用脇に玄關

九 居間・寢室其他の煖房設備

日本座敷に煖房裝置をし度いと思ふ場合に放熱器や鐵管が無雜作に露出されては困る座敷が臺無しになつてしまふから設備が困難であると云つたり日本の建物には不適當だと云ふことをよく聞かされたりして居る。これを完全に制御して配置や構造を替へて行けば、日本座敷にも立派な煖房設備が出來て火鉢を抱え込んで煖を採ると云ふことは無くなり少くとも火鉢は不用となつて煖かい愉快な氣分に浸ることが出來新しい活動の餘地が與へられるのであります。唯之が放熱器、並に配管の一部の始末の問題丈で設備の可否を左右せらるゝならば、甚だ遺憾とする所であつて巧に之を取入れてこそ日本建物の快適と云ふことに始めて感謝出來るのであります。



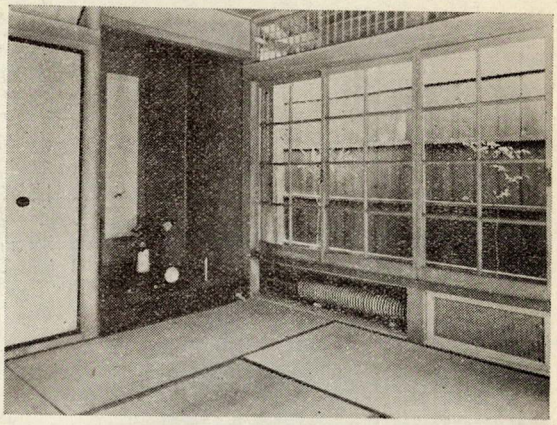
第九圖 煖房設備（放熱器に依る座席と腰掛兼用机の末下）

幸に私の宅に簡單な煖房裝置をして日本座敷には勉めて放熱器を隱すことに注意致しました。所が成績も至つて良好であつた爲深く意を强うしたのであります。

將來共日本建物が日常生活から離脫されぬ所から行く行くはどうしても其の必要を感ぜられずには居られないと云ふ見地で、今茲に附記することに致しました。

第九圖は居間の中央机の下にパイプラヂエーターを横に取付けて放熱させてありますから下からは何時も溫かい空氣が昇つて居つて部屋を溫めます。机を使用するには座つて使ふ事も出來れば腰掛けともなります、腰掛けゝすれば非常に樂で而も足先はラヂエーターがあつて何時も溫かくて愉快であります。

此の机は木では狂ひを生ずる心配があるので、カララグラスを使用致しました。パイプラヂエーターから昇つて來る溫かい空氣が直接常つて机全面溫かくなつて非常に



第十圖 日本室居間に於ける煖房設備

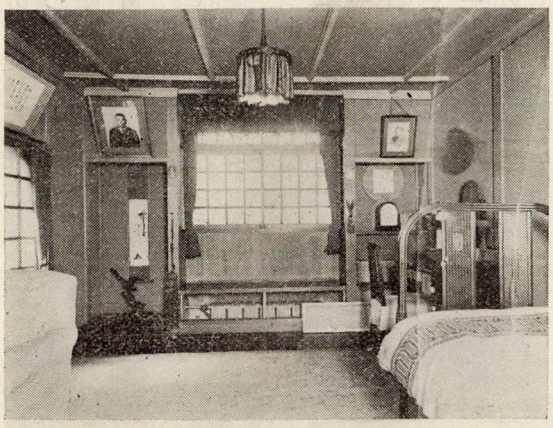
よい氣持を與へて呉れます。

第十圖は日本間寢室の煖房裝置で有ります圖に示す樣に硝子戸の下の小壁を利用して此處に小型の『ギルド』型放熱器を利用した。左側に放熱器が見へて居りますが右側に見へて居る樣な體裁のよい金網を張られてある網戸であつて放熱器からの溫かい空氣は此の金網を潛つて出て參ります。夏季になると放熱器の裏側を開いて置くと、戸締後も此處からは涼しい風が吹き込んで來ます。

第十一圖は寢臺を設置した寢室で放熱器を設備した所であります。此室では圖の樣に正面の腰掛の下を利用して、此の僅か許りの場所に放熱器を修めました外側は金網でカバーされて居ります。カバーは圖に見える樣に取外しが出來て極體裁のよいものであります。

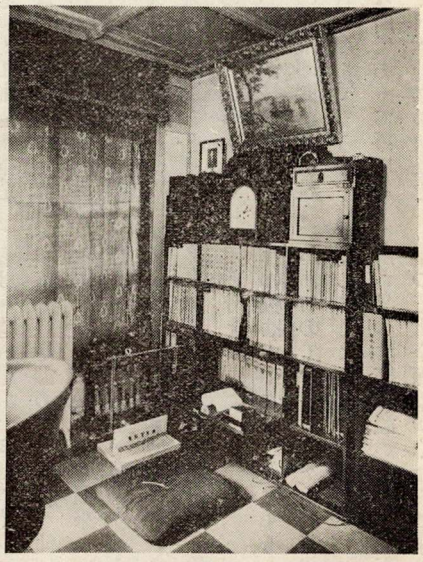
第十二圖は書齋兼應接間で書見は和洋折衷と云ふ考案で、本棚の中央一部を利用して之に蓋を設けて之を開くと、座つた場合の机に工夫致しましたが、非常に便利です此の室の煖房設備は普通竪型二十六吋の放熱器を設置してありますが季節の變り目ゝ突嗟の場合で煖房を使用してゐない時には左手に在る三キロの電氣放熱器を豫備として利用して居ります。殊に應接室は此の突嗟の場合にと云ふ考慮が必要でありますから是非之もあつた方がよろしいのです。

電氣放熱器の場合には密閉された室で煖房が溫まつて來ると空氣が乾燥して咽喉を痛めますから、相當の濕氣を出す裝置をせねばなりません。此處ではタオルを懸けて水分を蒸發させて居ります。



第十一圖 寢室に於ける煖房設備

總て放熱器の置場所と云ふ事は最も頭を惱まされる問題でありまして、一般に疊敷であれば一部を切取つて板敷きとし放熱器の周圍は調和のよい適當な材料でカバーをすれば充分でありますし、或は日本座敷で床の間、違棚、附書院等は放熱器の最もよい隱れ場所でありますから思ひ切つて此の邊の所を利用するとよいのであります。



第十二圖 書齋の電氣煖房と湯煖房設備

十 煖房裝置の種類と其概算

住宅の煖房裝置には大略溫水煖房法、熱氣煖房法、電氣煖房法の三種類が有ります。

溫水煖房法は第一取扱ひが容易で住宅には誂へ向きのものであります、而も溫度の調節は溫水の溫度を加減して調節出來るため簡易であり、燃料も節約出來ると云ふ利

點があります。

電氣煖房法は住宅の煖房法としては設備、取扱最も簡單で、而も清潔を保つ上から云つても理想的なものであるが、部屋全體温めるには非常な電力を要し電氣料金も從つて高價となる缺點があります。

電氣煖房と溫水煖房の經常費概算の比較

私の實驗したものによりますと冬期一ケ月三キロの電氣ストーブを日本室八帖と四帖の間に、夕七時頃より翌朝七時頃迄、約十二時間使用して約三十五圓の經常費が掛つて居るのであるが、一室の此費用を溫水煖房の燃料費に投ずれば寢室二間と應接書齋と脫衣室のパイプラヂエーターとを放熱せしめて、更に走り元へ溫水が自由に使用出來るのであります。

然し一方に便利な事には、一寸スヰッチを捻るとすぐ採煖出來ると云ふ簡便な點で重寶がられて居るが、唯單に輻射熱を利用すると云ふ丈で、普通一般に行はれて居る樣に其局部だけ溫めるのならばよいが、室全體の煖房裝置としては不適當で、相當大きな物を付けねば室も人も温まらないと云ふことになります。

此の日本間八帖の爲には三キロの設備か充分で丁度相當して居ります。

熱氣煖房法はボイラーを設置する爲に地下室を必要とします、米國では隨分多く使はれて居るが、未だ內地では湯煖房に及ばないため住宅に設備される所は極一部に限られて居ります。

大體の設備費の豫算を示せば次の通りであります。

但し建物の構造や位置等に依つて多少の變化はあるが、概略東京、大阪附近の中流建物で地下室も煙突も有り、天井の高さ十尺を限度とした建物に對する設備費は次の通で有ます。

延坪	熱氣煖房法	溫水煖房法
五〇	二〇	三四
一〇〇	一七	三三
三〇〇	一六	三二
五〇〇	一五	三一

（設備費（坪當り圓））

煖房裝置と防溫裝置に就て

元來一般の方は室內を溫める事許り考へて、之を保有せしめると云ふ事に就ては無關心であつて、高價な石炭や燃料を使用して得た暖氣を惜し氣も無く、ドンドン外氣へ消散さすに任せて一向平氣であります。折角高い金を使つて煖房裝置を施して居ても効果が少い僅かの不注意から知らぬ間に、障子襖、壁、天井、其他の間隙から室內の空氣は、間隙が廣ければ廣い程容赦なく外へ逃げ出して行くのである、云はゞ限りない外氣を溫めて居る樣なものであります。從つて火鉢に噛り着いて寒さに震へ乍ら、他からは贅澤だと云はれても一言もないのであります、保溫と云ふ事を考へないで、煖房を設置して居るのは、丁度栓の無い溜に水を注ぐと同じ理由で、僅かの間に温度は降つて寒くなるのである、先づ吾々の住宅の煖房に就て考へる時に、第一に建築上の保溫的設備と之に伴ふベンチレーション（通氣）の問題であつて、此の點に注意して建物をこしらへ上げなければ、折角の煖房裝置に金を費し、必要以上の燃料を使ひ乍らも滿足な結果を得られぬと云ふことになるのであります。

十一 水洗式便所設備

便器から排泄された屎尿を水で洗ひ流して、汚水淨化槽に導いて完全に淨化し放流させると云ふ設備を水洗式便所裝置と謂ひ、淨化槽では先づ汚水は流入管から第一に腐敗槽に入り腐敗醱酵し、次で酸化槽に流れて空氣及び微生物の酸化作用を受けて最後に消毒の上で、下水道に放流されるのである。

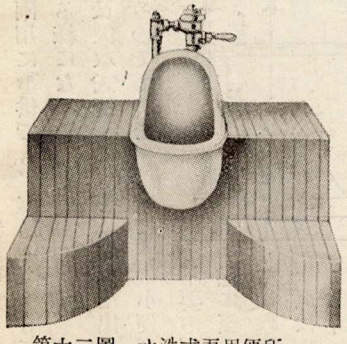
此の裝置の特長とする所は

一、水洗式であるから絶對に臭氣がないこと

二、度々汲取る世話が要らぬこと

三、蠅や蛆が發生せないこと

四、盜賊が此處より侵入出來ないこと



第十三圖　水洗式兩用便所

五、檢便に便利なこと

でありまして臭氣がせないと云ふ丈でも、臭氣止の藥液や線香と云ふものは、不用となり汲取つた附近の跡の掃除も全然省けるのである、便所の蠅が食卓附近を飛廻はられては、勿論衛生的とは云へないのであります、此の點から申しまして水洗式便所の設置は目下の急務であります。

一般の住宅の汚水淨化槽は四百圓內外で出來、而も維持費が要らぬ點から申せば、從來の汲取便所や改良便所よりも、經濟的になるのであります、住宅の衛生設備として先づ第一に改善を要す問題であります。

住宅用の淨化槽は、最小限度三十人分のものを造つて置かねばならぬ事になつて居る、大きさで申しますと巾五尺、長十尺、深五尺位(何れも外側寸法)となるのであります。

これが爲に場所の狹い庭では、一部分でも之に割くのは苦痛であるから、此上に盛土をして植木を植えたりして居るので、よい思付でありますが、マンホール丈は始終すぐ開閉出來る樣にして置かなければなりませぬ。

屋外には設置する場所がなく屋內に設置する場合にも、マンホール丈は現はして置いて、開閉自由で出入の容易な所でなければなりません。

十二 汲取改良便所設備

在來の便所では非常に不衛生である所から、色々改善を加へられて來た水洗式便所の比ではないが、普通汲取便所より數等衛生的で進歩した設備であります。

此の特長とする所は

一、殆んど臭氣を發せぬ樣になつたこと

二、跳ね返りがなく下部の汚物が殆んど見えなくなつた事

三、下から冷氣が逆入せなくなつたこと

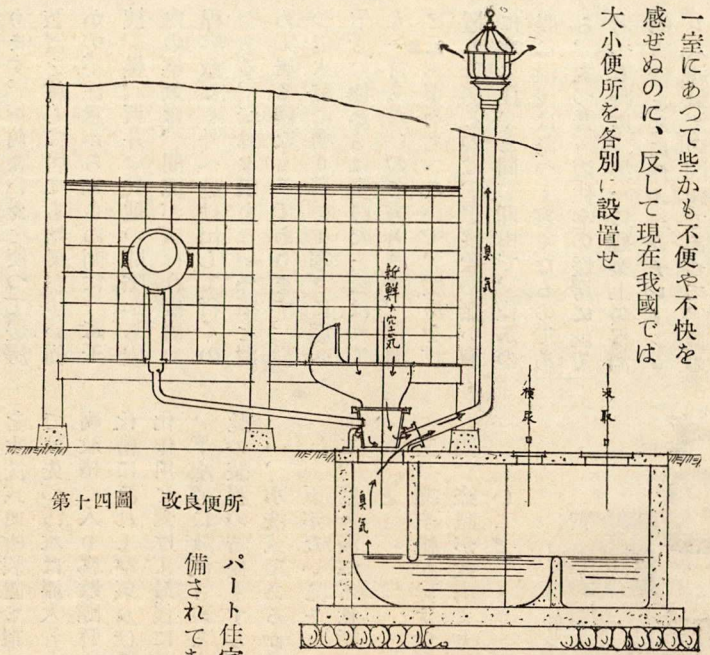
四、汲取口から盜賊が侵入出來ないこと

等であります。

此の種の改良便所には、內務省衛生課長高野博士考案にかゝる改良便所及び昭和便所又はSO便所或は大正便所等があります。

これ等の設備費は大小便設備共一ケ所百圓內外で出來、便器の臭氣抜も完全に設備されて居ります。

次に昭和便所の圖面を御參考に載せて置きませう。



第十四圖 改良便所

十三 兩用便所設備

外國では浴室、便所洗面所等は、一室にあつて些かも不便や不快を感ぜぬのに、反して現在我國では大小便所を各別に設置せねばならぬものの樣になつて居るのは、建築上誠に不經濟と思ふのであります。

最近水洗式兩用便器が、市場に販賣せられて、此の便器一箇設備すること で容易に、且安全に大小便兩用に小供でも、容易に使用出來る樣になりました。

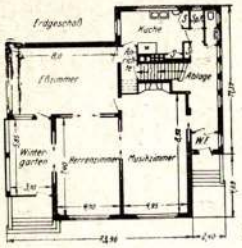
又汲取式便所にもこれが應用出來るのであります。特に此の小便所不要の利點に至つては建築上又は衛生經濟上絕大なものがあるのであります。

現在東京又は大阪市營のアパート住宅に澤山設備されてあります。

(了)



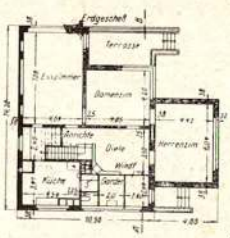
1



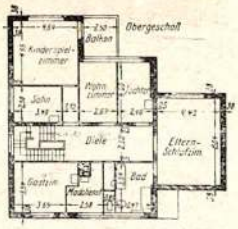
2

3

獨逸伯林ストルバー博士邸
1. 全景　2. 3 平面



4



5
6



獨逸ダーレム在・高級官吏の官舍
4. 5. 平面圖 6 全景　BRUND AHRENDS 設計

切取線

登録商標



資本金 五百万円
年産 百五十万樽

ヨロギヨロギ高級セメント
（特許七八四五）

二日で普通セメント四週の強度

耐壓力
一日 三〇〇
二日 四〇〇
七日 六〇〇
二八日 七〇〇
瓩平方糎

高輪伊皿子路面工事は冬期
三日で八噸ローラーに堪えて
完全なりき

「早期高强度」時代の要求
脫枠迅速工事期間の短縮は
弊社高級セメントに
依りて得らる

終局强度も大にして
使用法は普通セメントに同じ

本品は已に陸軍省、鐵道省、東京、大阪兩
市等に御使用の榮を得たり

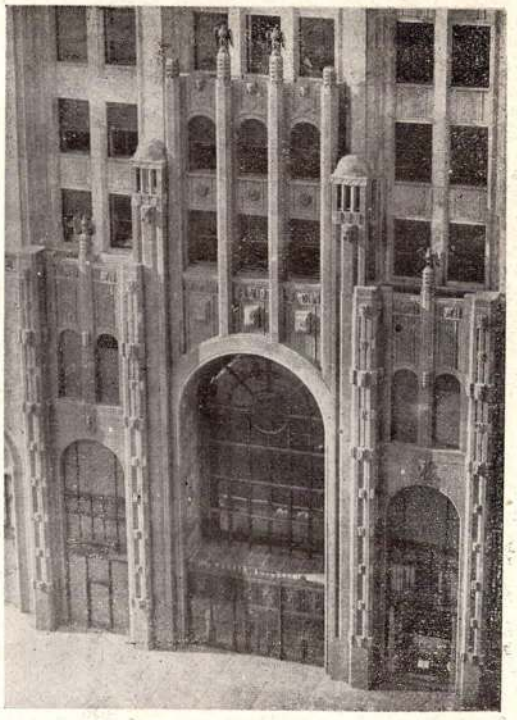
大阪窯業セメント株式會社

大阪市北區堂島濱通二丁目　電話北自一一〇至一一三番

工場　大阪市港區南愚加島町
電話櫻川 一一七七 二六〇九 二八四三

東京出張所　東京市神田區表猿樂町
京都出張所　京都市二條驛前
名古屋出張所　名古屋市中區老松町七丁目





米國・デトロイト市 フ井シヤー・ビルヂング アルバート カーン會社設計
1. 全景　2. 主出入口

切取線

專賣特許八〇〇九四號

富士黃色セメント

外ニ栗色・空色アリ

本品の五大特長

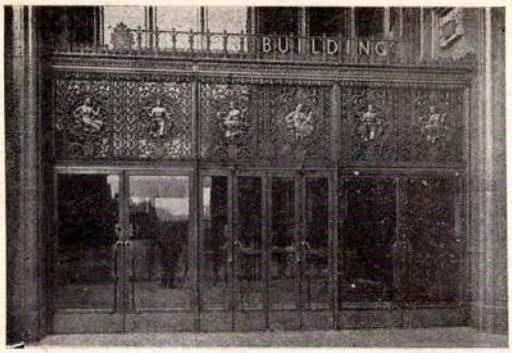
一、色口調＝絶體不變にして永久的美觀を保つ
二、強　度＝耐伸耐壓、强度及硬化時間は一般セメントに等し
三、防水性＝なるが故に浸水を防止し永久的美觀を保つ
四、價　格＝大量生產販賣なれば極めて低廉なり
五、光　澤＝施工後は有雅なる光澤を有し美觀を添ふ

用　途

一般內外裝川モルタル、セメントタイル、セメント瓦、一般人造洗ひ出仕上、研ぎ出し仕上、其の他色彩を加味せるセメント加工物一切

製造發賣元
大阪市東區備後町一丁目四〇
灰久本店
新建材部
電話本町二五三番

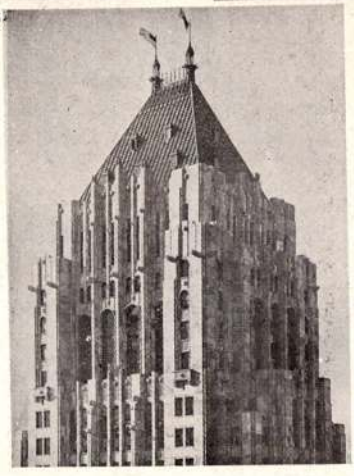
見本型錄進呈



1



2



3



4

米國デ　ロイト市フ井シヤービル
チグ. アルバートカーン會社設計

1. 主出入口詳細
2. 第一ナシヨナル銀行營業室
3. 塔屋の詳細
4. アーケード及劇場の玄關

切　取　線

庭園設計と施工

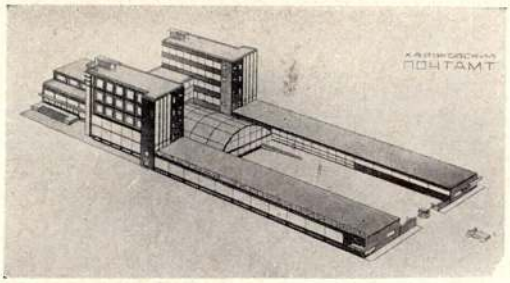
造庭學上の新智識を實地に應用して經驗を積む事十餘年
獨特の技術と從業職人の訓練と優秀な設計と完備せる施工

和洋庭園築造請負專門
創業大正五年我國唯一　設計と施工案內進呈



橋本庭園工務所

大阪市住吉區田邊町鶴ケ丘
電話特長天王寺(七)一三三四番



1



2



3



4



5

1. ロシアチヤルコフの中央郵便局の競技計畫案 GOLOSSOW 設計　2. 南露の轉地療養所. SCHUESSEW 設計
3. モスコウ ゴストルグ館 WALIKOWSKI 設計　4. 5. モスコウ新聞社建築 BARCHIN 設計

切取線

セメフアルト

◎「セメフアルト」工場の完成

「セメフアルト」は一セメント」製品又は「セメント」アスペスト」混合製品並に燒成「ブロック」に絕對の防水耐酸工程を施したるものにして破壞、剝落、風化を防ぎたるものなり

◎青色淡黃色褐色「セメフアルト」の發見

從來の「セメフアルト」製品は黑色の一色なりしが今回研究の結果之を淡黃褐色となすことを得たり今後は如何なる防水耐酸色料も之を製造し得ることを豫告す

營業目品

『セメフアルト』瓦
『セメフアルト』スロック
『セメフアルト』スレート
『セメフアルト』タイル

工材社

大阪市西區京町堀一丁目四十番地
電話土佐堀五八〇九番

長尾薰
阪口芳三郎



桂離宮記 (一)

京都帝國大學建築科研究室
服部勝吉

本春協會が武田博士の斡旋で京都御所及桂離宮を拜觀し兼ねて例會を京都で催した、この記事は之に關連して桂離宮に就き特に御造詣深い京都帝國大學建築學教室の服部氏を煩してその御研究を發表することにした拜觀者は勿論未拜觀の方々に於ても多大の好參考たることを確信す

一

桂宮家の御始祖は、八條宮智仁(トシ)親王さて、正親町天皇の第一皇子誠仁(ノブ)親王(陽光院、贈太上天皇)の第六子にわたらせられた。始め關白豊臣秀吉に子なきため、即ち六の宮を請ふて御猶子としたが、實子鶴松の生後、主上の御沙汰を拜して六の宮は別に一家を創められ天正十八年(一五九〇)二月、八條宮と稱され御本邸八條殿に居せられる事となつた。翌十九年には正親町天皇の御養子となられ、即ち親王宣下、智仁の名を賜はられたのである。

秀吉は此の間、親王に高祿をおくり、別に洛西桂村の地に別墅を營んで獻ずるなど、あらゆる誠意を盡して厚く酬ひ奉つた。八條宮の御系嗣は二代智忠親王を經て、其の後屢々絶へ、常に天皇の皇子女入つて是を繼がれ、常磐井宮、京極宮と名を轉じて、文化七年(一八一〇)光格天皇の御五皇子磐(イワ)宮盛仁(タケ)親王、入つて宮家を繼がれてより、更にあらためて桂宮と稱され、御十三代淑(スミ)子内親王明治十四年(一八八一)薨去の後、桂別業は十六年桂離宮と改稱され、繼嗣なきまゝ同十九年當宮の稱號は宮内省に於いて御預りし、宮邸以下は主殿寮に引繼ぐ事となり、桂離宮は全く名稱通りの離宮となつたのであつた。

俗に桂離宮の事を桂御所とも云ふかのやうであるが、大體桂御所とは、嘉永七年(一八五四)皇宮炎上に際して、今出川の桂宮御本邸を(舊八條殿の地、中頃本邸は石藥師に轉じてゐた)假皇居に營まれ、安政二年(一八五五)新造皇居へ御還幸の後も、是を桂宮に還附せられると共に、御所號は其儘存置する事をゆされたるため、即ち桂御所と呼ばれ、轉じて是を桂宮御本邸とされた其の結果の御呼名で、桂離宮とは本來全く相異する所のものである。

即ち桂離宮は、當初からの御別業であつて、八條宮一品式部卿智仁親王の御ため、御なりどころとして、天正十七年(一五八九)の頃豊公秀吉が造營し奉つたに創り、其の當時は御書院と御庭苑の他、御茶屋、月波樓などのみであつたと云ふ。後水尾天皇が寛永中、即ち御二代二品中務卿智忠親王の御時、桂別業に行幸あり、即ち此の時伏見奉行小堀遠江守政一、更に規模を擴めて經營の事にしたがひ御幸御殿以下庭苑亭榭の築營を成就し、此處に始めて現在に見る桂離宮の諸殿亭庭苑の大觀を作りあげたと察しられてゐる。

一說に小堀遠州は初度の桂別業經營にもあづかり、其の當時豊公と約するに次の三事を以つてし、やがてこの名建築名庭苑を成就し得たと傳へられてゐる。即ち一に曰く、勞資を吝む勿れ。二に曰く成功を急ぐ勿れ。三に曰く、成就に至るまで決して見る勿れ。と。然し小堀政一の誕生は、天正七年(一二三九)であつて、政次の後を繼いだ時もなほ慶長九年(一二六四)であり、伏見奉行であつたのは元和九年(一二八三)以後の事に屬するのを見れば、所謂小堀遠州の造營は寛永再度の造營とより思はれない。遠州は正保四年(一三〇七)在職二十五年で職にあるまゝ卒してゐる。

二

天正、寛永兩度の造營以後、現在に至るまでの沿革次第は、あまり審にされてはゐない。僅少な記錄や云ひ傳へによつても、あまり大した事件はなかつたやうである

が、今建物なり庭園なりを拜觀して見ると、其の時々の修理營造は極はめて屢々、それもあまり大規模ではなく行はれた跡の歷然たるものがある。更に明治の初年、桂川の水害を被つた際などには、御殿を除く他の亭榭は概むね水中に浸り、壁其他に著しい被害をうけ今も、其の修理のあとが明かに見られる。各屋舍の壁や襖の張附の張替、柱根本の腐蝕による切り繼ぎ其他、細々とした點の仕替や一寸とした彌縫的な修補改變は、夫れが今から察して何時の頃出來たものであるか、全く推察しやうもない點が、仔細に覗へば覗ふ程、數限りなく起つて來るが、夫等は宮家在存の中に時々なされたもので是と云て取り立てゝ云ふ程のものではなく、又當初の意匠を傷つけたり、或は一變せしめたりしたものでも決してない。それでも亭榭の方面は割合に柱等の構造部根幹に於ける改修が多く、又化粧屋根や戸障子等其他にも、修造されて全く新しくなつてゐるものが尠くない。

更に庭園の方面では、樹木の植加其他、岩石の移動等相當に認められてゐる。明治以後離宮として宮內省の直轄になつてからでも、相當な變化があつたのは事實である。

夫等一々の詳細な考證や吟味は今此處では何等の必要を認めないと云ふのは、屢々云ふが如く、規構意匠に關する重大な改變ではなくて、單に破損を整へ腐朽を替へる程度の修理であつて、時々は改變されたかと思はれる不可解な修補の部分があるとしても、夫れはあまり重大な點ではないからである。

即ち、所謂桂離宮の建築や庭園として有名な、創建當時の意匠意志とその技倆とは、多く殆んど其の儘に今に見受られるのである。即ち沿革の詳細は敢て此處に省略して、直ちに夫々の殿舍建築の說明に入らう。

三

桂離宮は、現に葛野郡下桂村に屬す。東は桂川の淸流に直ちに接し、其の水を庭內にも引き、遙かに京都市街を經て東山を望み、西は一帶の西山をやゝ間近かにめぐらせて、北は遠く桂川の上流嵐山龜岡の邊りを見、南は洛南の平地遠く拓けて、下流男山山崎の間を眺める可き地を占める。總地域一萬三千百〇七坪と云はれ、流水池面約二千三十四坪、苑池の中、島嶼大小十餘、橋十有六、燈籠を置く事二十有四、手水鉢八、亭榭殿宮の數は八を數へると云はれる。林泉の構殿舍亭屋の配置、夫等の意匠は遠州得意の技をきはめたものとして、既に早くより景勝最も名あり、寬永二年(一六二五)秋九月、南禪寺の僧金地院崇傳は、其の桂亭記一編をゑらんで、勝境の所以を列擧してあます所さへなかつたものである。

平安通誌によれば、宮殿榭亭の大樣は次の如くしるされる。……

抄載補加

一 宮殿

御幸門　御幸道の正面にあり、萱葺、柱は櫪の皮付を用ふ。門外方四尺許の板石あり、輿を置く處にて、往時此處より御徒歩なり。

御玄關　西表北寄にあり、廣八帖

御玄關は瓦敷、側に手水鉢あり

次の間　長八帖。

廊下　御槍、御弓、ウツボなど陳列せられたり。

御輿寄　東表北端にあり、廣四帖

杉戸は鳥獸草花の繪……虎と胡枝花、芦に鷺、松に鶴、狩野永德の筆。

御輿寄の前に、遠州眞の飛石あり。

踏脫石は表面に膨みあり、六人の沓を並ぶ可く『六ツの沓脫』と云ふ。

御槍の間　廣十帖、槍長刀をかけらる。

御輿寄より御槍の間を經て古書院に入る。

古書院一の間　廣九帖、一間床。

同二の間　廣十四帖

御張付襖とも、白地に黃の桐模樣。

伺候の間より二の間、一の間と通る可し。

同御椽座敷　廣七帖、連子窓、桂亭記の橫額あり、南禪寺僧錄司金地院崇傳長老、寬永二年九月撰並に書。

搏板十八枚の御廣椽、南及び西に廻はる。

月見臺　廣方二間、簀子露臺、上屋なし。南庭苑を眺め觀月の場である。

伺候の間　鎖の間又は廁廬裏の間とも云ふ。廣十帖の中一帖の大廬あり、杉戸の表裏に諫鼓、花籠の繪あり、狩野永敬筆。

中御書院一の間(山水の間)　廣六帖、床二間、床の間張付、襖皆山水の繪あり、即ち山水の間と云ふ。

袋棚小襖四枚、竹に芙蓉、水仙に寒菊圖、棚下張付、水邊の樹木に宿鴉の圖、此の繪殊に著名探幽三鴉の一と云ふ。御脇張付瀧下李白の圖、襖八枚、山水樓閣圖、以上筆者粹野探幽。

同二の間(七賢の間)　廣八帖、襖竹林に梅、七賢人圖、狩野尚信筆。

同三の間(雪の間)　廣十帖、床一間、御張付雪持竹に雉の圖、襖雪竹に雞、雀、樹木、鳩、芦、雁、脇張付梅林の圖、以上筆者狩野安信。

椽座敷　東四帖、南四帖、中連子窓あり。

御湯殿に通ずる處杉戸あり。

湯殿　上段二帖、廁あり、內半間床の間、香爐香案あり。

杉戸、取手笠形、嘉長作。

樂器の間　三帖、床一間半、掛物釘なし、平常樂器を置かると云ふ。張付白地に黃色小形桐、杉戸外柳、鷺、杜若、內檜、芦、雁共に海北友松筆。

御幸御殿

後水尾上皇東福內院と御幸啓の時新築、新御殿とも云ふ。總て吉野丸太造、面皮付、柱長押共入口杉戸、內竹林に東坡圖、外椎に尾長鳥圖、探幽筆、引手、兩面共に四季花桶、祐乘作。足利氏の遺物なりと。

長押は吉野杉にして、長五間餘釘隱は水仙花、花金葉銀、嘉長作。

御椽座敷　七帖半、滑敷居は南東に屈曲して七間、加藤清正の進獻と傳ふ。

同一の間　廣六帖、張付白地黃小形桐、上段三帖、床緣栩、格天井板欄、掉椽黑塗。

桂棚、眞の御棚は遠州の好みにて上段西北隅に折廻し、南に附書院あり。棚の大小十餘數、間架高低參錯して、曲折の妙を極め、材には紫黑檀、紅花欄、紅緣椅、檳榔、伽羅、唐桐、唐桑等當時の得難き奇材を羅致したるものと見ゆ。

御開き(圓月形)　小襖山水人物圖(探幽筆)

引違小襖　上方樹木人物、下方笹に小鳥(探幽筆)

棚上厨子鎧板　紫檀、椽黑檀、中棧紫檀。

兩脇小板　紅花欄。

下厨子扉鏡板　タガヤサン。

同脇下小板　イスの木、緣黑塗

同二の間　廣八帖、床一間、側に遠州好木瓜竪形吹拔窓あり。

欄間　一の間との間の欄間は黑漆細木を交叉し月字をあらはす

襖引手　行體月の字、赤銅無地嘉長作、筆者鳥山若狹守輔忠。

皆桂の里の稱呼に因み、月字を賞用せしものなり。

同次の間　長六帖、袋棚二段、下方拭板。

同御水屋　廣五帖。

同御寢の間　廣九帖。

劍璽の御棚　一間二段、中棚にして板を筋違ひに架し、別に綟子障子四枚、下方黑塗椽。

同御小座敷(御化粧の間)　廣四帖半。

遠州指圖の違棚、上地袋棚小襖四枚、蘭、菊、梅、牡丹、中棚下二枚、竹に燕雀、他六枚、琴碁書畫、總て筆者は探幽

同御衣紋の間　三帖、傍袋戸棚あり、中三段御衣を納るゝ所と云ふ。

同御物の間　御納戸とも呼ぶ。八帖、物置。

後廊下より御手水の間に次ぎ、御浴室あり、階を下り御廁あり

二　月波樓

位置　宮殿東南に接し、東向高所にあり。

池面に映ずる月を眺むに良く、やがて其の名の選ばれた由である。

名稱　白居易の句『月點波心一顆珠』によると云ふ。

額　東北破風にあり、松花堂筆『月波樓』三字なり。

室　一の間、床一間、六帖。中の間、次の間の三室、一の間を除き各室承塵なく、葭の昇り張り、竹を以つて椽とし、藤繩を以つて是を縛す。

襖　遠州好み、中央透し綟子張

同引手　杼形、嘉長作。

欄間　兩室の中央、一間の巾一半隔子一半を葭張とす。

畫馬額　厨房板間棚上に掲ぐ。

舊住吉神社藏、外船に皇漢人乘

合の圖。裏に慶長十年奉掛御寶前の銘あり。
鎌形手水鉢　西南にあり。

三　松琴亭

位置　南方高所にあり。四邊松多し
名稱　齋宮女御の御歌意によつて松琴亭と名附けられしと云ふ
　ここの音に　みねの松風　かよらん　何れの緒より　しらべ初めけん。
額　東博風にあり、『松琴亭』三字、後陽成天皇御震翰。
書院、茶室等遠州の最も心匠を費やせしものゝ云ふ。
一の間　廣十一帖、床一間、脇棚石燈、爐上袋戸棚等あり。
御張付壁間及襖、青白二種加賀奉書方敷等なるを石疊形に間錯貼付す。
脇棚開戸下持袋小襖二枚、山水人物、探幽の筆。
横方石爐上持袋棚小襖四枚、水邊樹木小鳥の圖、探幽筆。同引手、素銅結紐形、嘉長作。
次の間　廣六帖、違棚構、平書院窓あり。
違棚上持袋小襖二枚、山水繪、探幽筆。
欄間　一の間との間、廂桁の竪寄。
御園　廣四帖、內一帖大目、世に遠州八窓の御茶室と稱し、窓櫺明朗、光線四隅に達し、茶家の推賞して措かざる處、東方壁の一窓織部窓に似たり。
棚　一隅に棚二段あり、柄杓をおく所ゝす。傍に袋掛の節枝あり。
室の外方池に臨んで、踏石の配石最も妙なりゝ云ふ。
手洗所　流れ手水と名づく。池にのぞみ石を配して、流水を掬ふて盥漱す可く、踏石に對して柄杓を置く石等あり。
石橋　長三間、巾二尺余、厚一尺白川石造り、東西に架す、加藤嘉明の進獻なりゝ。
待合橋の北、蘇鐵多き所蘇鐵山ゝ云ひ待合あり。外腰掛とも云ふ。傍に方二尺桝形手水鉢あり蘇鐵は島津氏の進獻と傳ふ。

四　四腰掛

待合より松琴亭に通ずる間東方高所にありて、一つに卍字の腰掛と云ふ。九尺四方、萱葺、土間にして四面敞開、四方に各床一を架す。卍字形なり。

五　賞花亭

位置　池中の中島、山上にあり
名稱　亭後櫻多く、因て名あり又丹楓の風光亦凡ならず、故に『龍田屋』ゝ云ふ。
意匠は茶店に模し、軒に暖簾を掛く。紺地白上りにて『龍田屋』『たつたや』ゝ文字をあらはす、青蓮院尊朝法親王の筆。
折廻り四帖、腰掛あり。
額　『賞花亭』の三字、竹內良尙法親王筆。
石燈籠　銘『水螢』。家仁（イヘ）親王（第七代）御歌に
　池ひそみ　うつれば水の　螢かゞ　むかふもあかぬ　夜半のゝもし火

六　園林堂

中島にありて西向、無量品『園林諸堂閣種々寶莊嚴』の語を取りて名付けしと云ふ。
額　『園林堂』の三字、後水尾院宸翰。
宮家歷代の影像及靈牌を安んずる佛龕、二代智忠親王の新造、本尊楊柳觀音畫像、寶鏡寺本覺院宮の筆。離宮以後靈牌等總て相國寺慈照院……桂宮菩提寺……に移す。堂前燈籠一基あり。

七　笑意軒

名稱　古句『一枝漏春微笑意』
一の間　廣三帖、床一間、前に附書院あり。後は納戸三帖、御東（トウ）司なり。
中の間　廣六帖、南方聯子腰張に渡り初め唐天鵝絨黑地輪十切に石疊なるを貼付す。
次の間　廣七帖半、西方袋棚あり北方水屋に忘窓あり。造作の時篠竹一二と藤瘤みを忘れたりゝ云ふ。
口の間　廣四帖。
襖　墨繪山水、狩野尙信の筆。
同引手　素銅櫂形、嘉長作。
杉戸　東南側にあり、樹木に鳥の繪。
同引手　唐金、長二尺九寸、朝鮮製、豊太閤の進獻矢形なり。
次に御膳組の間二間、棚架爐竈の裝置亦意匠を凝らす。
以上（ヤ）安通誌に載せる概様を參考ゝしたに止まり、しかも其の記錄は、建築物を語るに著しく不都合ではあるが、所謂坊間に傳はる程度の、桂離宮殿舍の有樣をよく記し、特に襖繪、引手釘隱金具、其

他に注意して、相當其の詳細を盡してゐるので、其の方面を知るためにもと、此處に掲げてをいた。抄載の上に屢々補筆した點が甚だ多い事はおことはりして置く。

次項には、實際に今見る桂離宮殿舍の有樣と、其の意匠の一般とを通觀してみやう。（未完）

飛行機より見たる建築と社會（四）

4 社會の巻

下浦光衛

九 社會運動家

社會運動と申しますか、精神運動と申しますか、何れにいたしましても、社會の改善、人類幸福の增進を高潮し度いと云ふ極めて結構な運動があります、曰く禁酒、廢娼、免囚保護、宗教、勞働、之等は惜しい事には何れも聲の大きい割に、熱がなく眞劍味を缺いで居ります。要するに臆病犬の遠吠えで核心に觸れないために、効果の極めて少ないのは、殘念な事であります。如何なる運動にしましても、理性一遍推理推測で根本の解決は得て望まれない事である。殊に人間に關する問題は潤ひがなければ圓滿な發育が出來ないのである。禁酒運動にしても、酒は毒なり生命を亡ひ子孫を白痴にする等と云つても、嗜なき者は止められない。米國の禁酒法の如くしても密造が盛んに行はれ、密輸入するのみである。成程數字の上から申しますと、酒代として何億圓と云ふ米を飲む事は、惜しいには相違ないが、立派な洋食を食ひ高價な美服を着けるのも決して、小額ではない、要するに自省の問題である、酒が好きであるからと云つて、奈良漬化するまで飲む徒輩は丁度毒藥を服んで自殺する人間と同じ者である、自殺は國法で禁ぜられて居ても好んでやれば仕方ない事である。其人の體質に依つて必ずしも毒にもならぬ、人間の日常生活は何事に限らず度合のあるものである。モルヒネも分量に依れば藥となる、美食の食ひすぎ、書物の讀みすぎも度を越へれば中毒する、酒煙草にしても

公娼問題 にしても對岸からの觀察を以てしては空論である。之等の運動に與はる者の多くは、酒が生れ付き飲めないか、又は飲みつぶして遲蒔きながら禁酒黨に塗替へたか、人身賣買論でメートルを上げた女流物知り等である。飲めと云つても飲めない買へと云つても買へない者も澤山ある。飲んでも、買つても、人樣に迷惑を懸けず、身も誤らず犬の遠吠えもせず一生懸命子孫の爲めに働いて居る人もある。神の愛は平等であるかも知れないが、生きて行くに必要な物質を神から皆惠まれないで人生のごん底生活をして家もなく妻も有つ事の出來ない者が塲末に行くと澤山居る。公會堂や教會で食ふに事缺がぬ、知識階級とか云ふ者を相手にして、暇つぶしに金切り聲で『諸君』をやつて居る人々には、目に付かない。汗と油で烈しい勞働から歸つた人達が一合の酒に慰安を求め惠まれない本能からの要求を公娼に依つて僅かに潤ひを保つのである。之を有產階級者が倶樂部に、ホテルに、山海の珍味をほしいまゝにし、ゴルフだドライブだと云つて贅澤をして居るのと比べて幾何の相違ありや要するに禁廢共に末の問題である先づ小學教育からして、克己の精神を養ひ、獨立獨歩、他人に迷惑を掛けない完全な社會人を作り、一方惠まれない幾多の人間生活苦から救濟し、更に當面の問題として、公娼共者の待遇の改善運動をなさるがよい。夫れも樓主にせまつては値上げして遊興者の負擔を多からしめるから、宜しく篤志運動家の寄附に待つべきである。衣食足りて禮節を知る、先づパンを與へるにある。何れか好み求めて身を浮き竹川に沈むべきや、眞に人間愛からの叫びならば彼等多くの女性が身を沈める前に救濟し或は幾百かの借金を立替へをするに

ありだ。單なる文明人としての體面論なれば無用の運動と云ふべしである。之も形式病の特徴である歐米の各都市に於ける私娼の發展と比べて何れか烏の雌雄を決せんやである。昔の名僧知識ですら斷根して始めて本能欲から脫し得たと云ふではないか。御玉杓子が蛙に形を變へるに等しい事である。廢娼などは云はぬが花だ。風紀問題なればむしろ近來流行の婦人雜誌の性の問題の記事などがはるかに恐るべき事柄であるまいか。

免囚保護運動　にしても、理想としては正によい仕事ではあるが、運動者先づ率先して、せめて自分の內の下男か下女にでも使ふ事である。相成るべくは前科三犯四犯の免囚をだ。更に進んで七犯八犯と云ふ重罪犯免囚を世人が殊更前科者呼ばはりをする必要はないが何人か斯かる危險な人物を求めて使用せんやだ。今日の世間では眞面目な人間ですら信用する事を得ず保證人を要求するにあらずや。幾何も立派な人間はあるのに喜び迎へらる可き者でない。要するにならぬ相談と勿體らしく持ち掛けても恐らくは一人としておい夫れと御受けをする人はない。若し夫れ運動者が改心せしめ得る自信があるならば、少なくとも運動者自身が免囚の二三人を使用し改心の情顯著なるを證明し、戶籍面から前科を抹消すべきである。在獄中宗教家によつて溫かい精神修養を幾度か繰り返されても娑婆に出るとすぐ罪を犯す。之を世人が職を與へないからだと云ふ、一日働いて二圓の金を與へても、働かずに五圓欲しいと云ふのが犯罪者の常である。特赦に依つて出獄した其の日に友人を慘殺すると云のもある。人命の尊重もよいが四五犯以上を重ねる如き者は正に斷罪者である前科數犯の一人の囚人が服役中或有名な宗教家の立派な人類愛を唱導した小冊子を讀んで大いに感激し出獄後北海道から尋ね來て其人に救ひを求めたが牧師曰く、僕は一々左樣な事を聞いて居てはやり切れない他で口を求め給へと斷つた。其所で前科者は翌日再び牧師の門を叩いて、何所かの教會の小使か掃除人にでも御世話を願ひ度いと涙を流して賴んだが遂に聞れなかつた。彼牧師の說く所となす所餘りに表裏あるに憤慨して已れ僞善者よと飛びかゝつて切り付けられたと云ふ事は、吾人の耳に未だ新たな事である。獄からわざ〳〵尋ねて來て呉れると云ふ事は、實に稀な事である。例へ就職の世話が出來ないにしても探してやるとか、せめて十圓の金を與へて親切に其行くべき道を心から教へてやれば、或は此事なくしてすんだかも知れない。此一事を見ても宗教家とか救濟運動家と云ふ者が如何に、名を賣る事に急にして空理空論を物知り顏にやつて居るかゞわかるだらう。一時の出來心からの犯罪人は之を別として、幾犯もある者を同仁視するは彼等に犯罪を奬勵する事になる。善をすれば世人から尊敬せられ惡事をすれば後指を指される、賞罰を明かにするのは人間の道である、改心の見込なき前科者を生中社會に放つ事は危險此上もない事である。宜しく國家が特別救濟をなすべきである、根本問題として善良なる國民を造る事である。但し今日の經濟組織下に於ては、人間の生存する限り石川五右衞門の辭世の歌は永久に眞理である事を覺悟せねばならぬ。

勞働運動　にいたしましても、無理解な勞働者を或一部の少數利權屋が、煽動して魚夫の利を占めて居る樣である。勞働運動の眞面目は、各人をして人格の向上を計り權利義務の觀念を養成し、眞に勞働の神聖なる事を理解せしめ、各自喜んで業務に精進努力せしむるにある。勞働者各自の生活の向上、利益の分配は當然の歸結として必ず酬ひらるべきものである。然るに之等指導者等は、外國の勞働爭議の缺點のみを輸入奬勵せる爲め、勞働運動とは權利を主張し利益分配を強要し、差別を徹廢し多數の暴力を賴み、怠業を事とし機械器物を破壞し、或は投石し、或は支配者を途に要擊し、同盟旗を押し立てて、行列示威いたずらに喧騷を好み、何の必要あつてか西洋輸入のメデー歌を高唱し、心ある者をして惡感を抱かしむるを以て、勞働運動と心得へ居る者の如くである。勿論斯かる運動を起さしめるべくした事は、資本家側にも大半の責任はある。即ち無暗に配當を要求し職工の待遇の改善衞生、設備の完備を等閑に附した結果に外ならない。資本家に於ては極めて合法的に分配を實行し、堅實なる經營をせよ、勞働運動者

に於ては、いたずらに資本家を敵視し、資本家を倒せと叫ぶな。過日川崎工場の經營難に遭遇するや救濟せよ然らざれば我等は食なく死に至るべし……と從業員が叫んだが何と云ふ輕率な事ならずや。

社會運動家　が人類幸福の增進運動に熱中せられる事は誠に結構な事ではあるが、然し夫等は形式一點張か然らざれば理想一點張か或は體面上からの論法である。夫れも自己體驗體得に依るのならばいざ知らず、無條件西洋崇拜から出發した模倣では到底完全に救濟する事は出來ぬ。殊に滑稽なのになると、米國人にでも成り濟した積りでワシントン祭とか獨立祭だクリスマスだと云つてモーニングを着て澄した顏で街頭をうろついて居る。斯ふ云ふ手合に限つて、天長節や紀元節は、子供から聞いて知る位のものである。敎育家にあれ宗敎家にあれ、はた又社會運動家にしろ、歐米思想の移植か然らざれば理性一天張の低級なる社會施設や思想運動は駄目である。のみならず惡くすると害を招く事になる。酒も飮むな、煙草ものむな、女郎買もすな、日曜は休んで敎會で聖書を讀め、欲を捨てゝ德を積め、然らば救はれんてな一定の形に嵌つた、沈香も焚かず屁もひらず式謹嚴共者の人格を養成しても、國體を破壞するが如き徒輩は宜しく生存の權利を剝奪すべきである。

君國多事　の際眞に昭和の新日本を背負つて立つのには左の條件を具備すればよい。

一、靈肉一致の健康の持主たる事

一、如何なる形にも囚はれず獨立獨步自守し得る者

一、人生感意氣ていの義俠心に富む事

一、職業的信念に終始する事

一、熱い血と涙、人間味の豊かなる事

一、日本國民たる事の意識を明瞭に持つこと

身に學問の素養あり立派な肉體の所有者であつても心が健全でない爲めに、世を毒し身を誤まる者の多いのに驚く、如何に最高の學府を出ても顏面蒼白藥瓶携帶では平時も有事も用をなさぬ。如何に立派な肉體の持主でも、只其本能的に空氣の壓力で生きて居るのでは困つたものである。如何なる酷熱嚴寒にも耐え得る立派な肉體と如何なる惡思想の潮流にも、如何なる困難にも動搖しない鐵石の如き强い心と併せ持つ人間が必要である。

國法と道德を侵さない範圍に於て囚はれない自由の生活が必要である。衣食住共に身分に應じ、節制宜しきを得る事が最も大切である。然も自守自營、決して、他人の力に賴らず、渴しても盜泉の水を飮ずていの人間でなければならぬ。此意味に於て近來社會事業として各都市競つて無料宿泊所、無料職業紹介所、無料施療院等を設立して居るのは、依賴心を高め怠民の奬勵となる傾向あるを悲しむ。貧乏人に氣兼ねして無暗と社會施設を完備する事は、弱い質の惡い貧乏人を造る事となるであらう。

人生は宜しく意氣に感ずべし、又意氣に感ずる程の氣慨が欲しいものである。殊に近代人の缺陷は自己の職業に對する信念のない事である。能力のなき者が徒らに他人を羨むか、或は自らの務めを輕んずる事である。更に今一つの缺點として、理性か感情かの、何れかに遍し温かい人情味のなくなつた事である、即ち人間味の缺乏である。從つて主從の關係に於ても呉れれば働くが、働けばやるが、では味がない。解雇せらるれば同權じや、出れば赤の他人と云ふ考へ方では人間味がない。更に更に重大な事は、生存競爭の結果、神經衰弱症に侵されてか、日本國民であると云ふ意識さへ不明瞭になりつゝある事である。現今思想の惡化は實に此意識を失つた結果に外ならないのである。人間の集團生活には原則として、必ず各自異なりたる、能力に應じ不平等なる所有權を認め、同時に主權者を必要とす。然も主權者は絶對の大聖大德でなければならぬ。歐米に於ける國家組織の變遷を見るに、主權者が常に動搖して居る。德望なり信任がない爲めに取替へられてゐる。然るに、獨り我日本帝國は大聖大德の君臨ましまして以來三千年來萬世一系の　天皇を戴き奉る世界無比の國體である。眞理は照々として萬代不易のものである。神國建てられし其御精神が、眞理其者である。爲めに尊く變る事がないのである、この尊き日本に生れ來たと云ふ事は、何よりの幸福である、我等は日本帝國の臣民である事を意識する事に依りて、自ら襟を正しうする者があるであらう。

（つゞく）

建築と社會第十二輯第六號

廣告目次

頁

A
葵商會……一七
有山組……三四
安藤組大阪支店……三四
淺野物產株式會社大阪支店建築材料部……四九
淺野スレート株式會社……一二
淺野スレート株式會社……七〇
淺海商店……五八
阿部鐵工所……六二

D
デウエット商會……六三
大和工業株式會社……八二

E
エッチ・イー・ルート……一八
エッチ・イー・ルート榮進社……一九
生工業商會……三七
……三〇

F
福原工場大阪販賣店……四〇
藤井製作所……四六
藤木工務店……三三

H
橋本建築事務所……二六
橋本庭園工務所……二三
波江野工生所……四五
白陽工務店……三〇
汎建製作所……表紙三
灰久本店新建材部……二二

I
池田建築事務所……二六
池田組……三〇
伊丹商店……四六
クロースルーフキング製造所……五四

江東サッシ株式會社……六五
木下謹三商店……七〇
熊坂谷熊次郎商店……三三
高陽商會……一六
國枝工務所……二八
金剛商會……四一
片岡、石本建築事務所……二七
桐田商會……六〇
建築金物商會……表紙四
鴻池組……三四
駒井喜商店鐵工部……三四
工材社(阪口芳三郎)……二四
龜谷開作商店……三二
小森商店……七三

M
松井組……九
松尾鐵骨橋梁株式會社……三九
松村組……三三
三井物產株式會社……二
森本建築社……三五
宮島康夫商店……七七

N
ナンコク商事株式會社……一一
內外エレベーター株式會社……四七
內外土木建築材料合資會社……七二
內藤製作所……五八
日本洋瓦株式會社大阪出張所……四四
日本木材工藝株式會社……七九
日本スレート販賣株式會社大阪支店……六九
日本ペイント製造株式會社……一五
日本エレベーター製造株式會社……八
日本石油株式會社……二五
日本水道術生工事株式會社……五九
日本建築紙工株式會社大阪出張所……四五

日本地下水協會……八一
日本工劑株式會社……七一
西村建築株式會社……一〇
西孫南店建築金物部……六八
西原衛生工業所大阪支店……二九
中川辰藏店……三二
中村グラニット商會……八〇
南滿鑛業株式會社……五一
野澤幸三郎商店……六六

O
オキナ商店……五三
大阪ピトロライト工事合資會社……一六
大阪耐火リノリューム工業合資株式會社……四八
大阪窯業セメント株式會社……二一
大阪鐵筋混凝土工務所……三一
大阪橋本組……三一
大阪電氣商會大阪暖房商會……七五
大林組……三一
大倉商事株式會社……五
大倉土木株式會社大阪出張所……三〇
大塚鐵工所金庫部……七
大野製作所……一
小笠原建築事務所……二六
岡本工務店……三一
岡部建築事務所……二七
岡田建築材料店……五四
奥村重兵衛商店……六一

R
ラバロイド商會……一三
玲光社(木內眞太郎)……五二

S
SO商會……四二
須賀商會……四三
澤田合名會社……七六

島田硝子製造所……七四
島貿易株式會社建材部……三
佐濱島西店建材部……六七
佐久間建材工業所……三六
佐伯組……三五
三機工業株式會社……表紙二
三機工業株式會社……二〇
笹岡家具裝飾店……三八
城口研究所大阪支店……六四
宗建築事務所……二七
設樂建築事務所……三〇
清水組大阪支店……三七
品川白煉瓦株式會社大阪タイル部……六八
政正合資會社……七八

T
東洋コンクリート合資會社……五六
東洋リノリューム株式會社……一四
東洋工業株式會社コルク部……一〇
東洋スレート株式會社……八三
東亞鐵工所……五五
田中源太郎商店……四
田中昌司商店……七二
田中工業株式會社……八四
田村商會……六
竹中工務店……三二

V
ベニス工房……五〇

Y
山本窯業商店……五〇
山中商會……五七
山田大理石製作所……三三
矢橋大理石商店……三八
安井建築事務所……二八
米本商店……五二
橫河工務所……二七

Z
錢高組……三五

1. 外觀(南側)
2. 五階保養室
3. 特等病室
4. 階段詳細

1



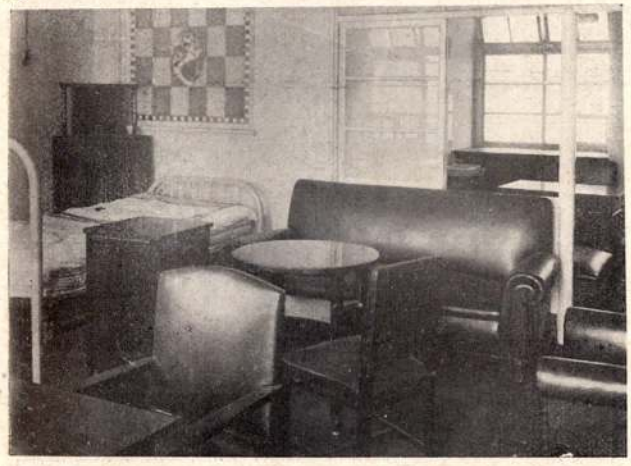
2



4



3

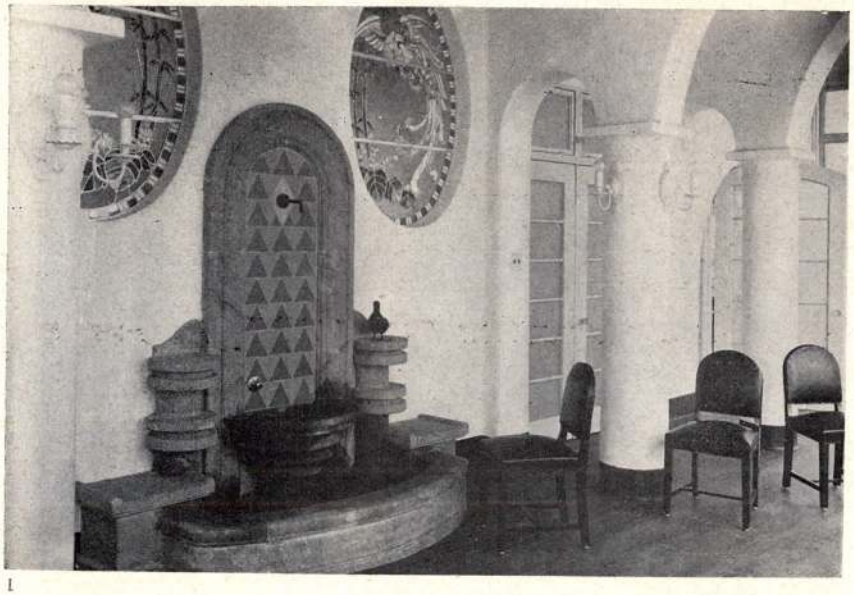


日本赤十字社大阪支部病院（1）

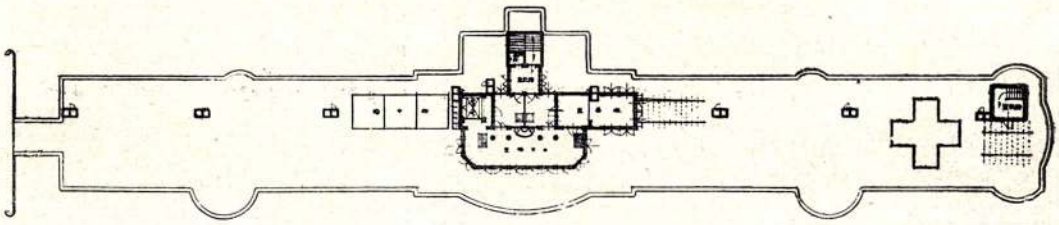
設計者　同　病院建築事務所

施工者　大倉土木株式會社

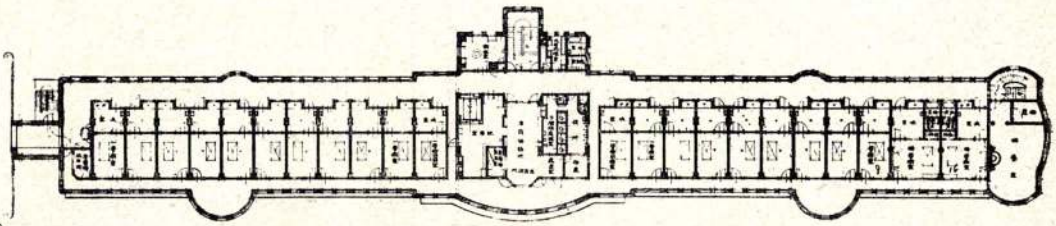
1. 日光浴室
2. 屋階平面圖
3 第三・四階平面圖
4. 地階及第一・二階平面圖



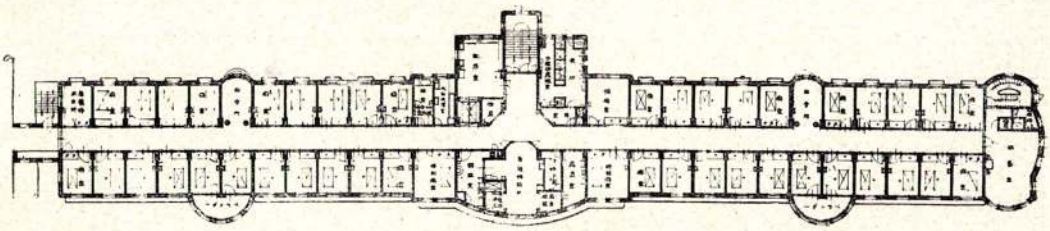
1



2



3



4

日本赤十字社大阪支部病院（2）

設計者　同　病院建築事務所

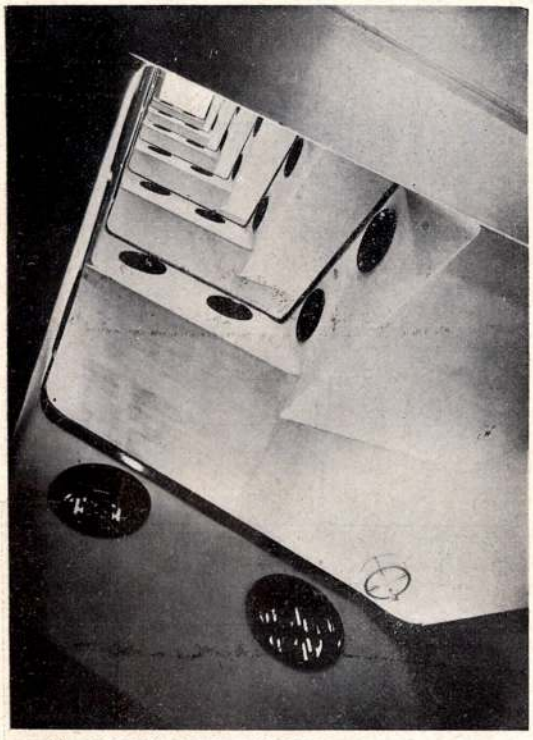
施工者　大倉土木株式會社

1. 外　觀
2. 階段仰觀
3. 一階天井詳細



1

2



3



大阪・阪急ビルヂング（1）

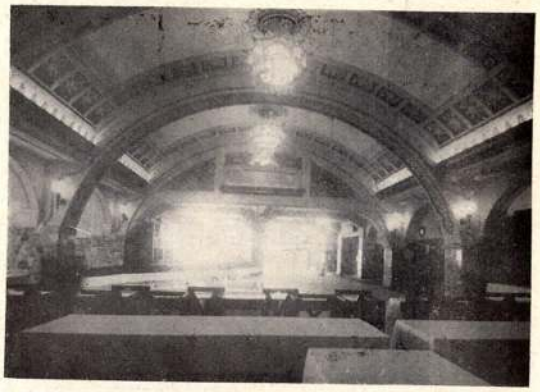
設計者　合名會社竹中工務店
施工者　同　上

大阪・阪急ビルヂング(2)

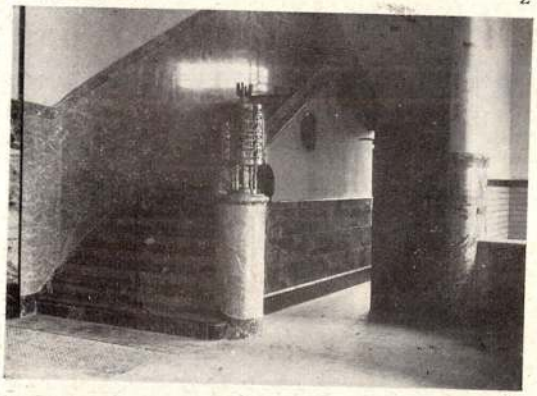
設計者　合名會社竹中工務店
施工者　同　上

1. 竣工式當日の一階
2. 階段詳細(南側)
3. 階段詳細(北側)
4. 天井詳細
5. 同　上
6. 食　堂
7. 食堂調理臺

1



2



3



4



5

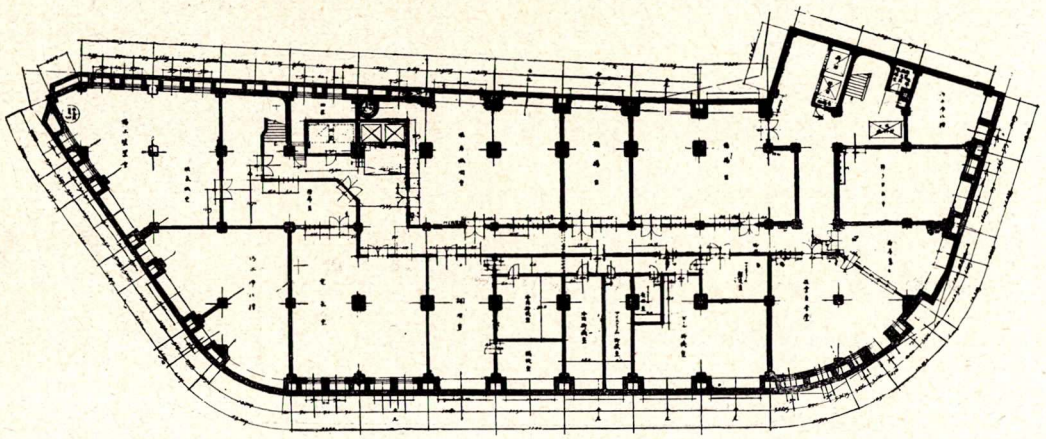


6

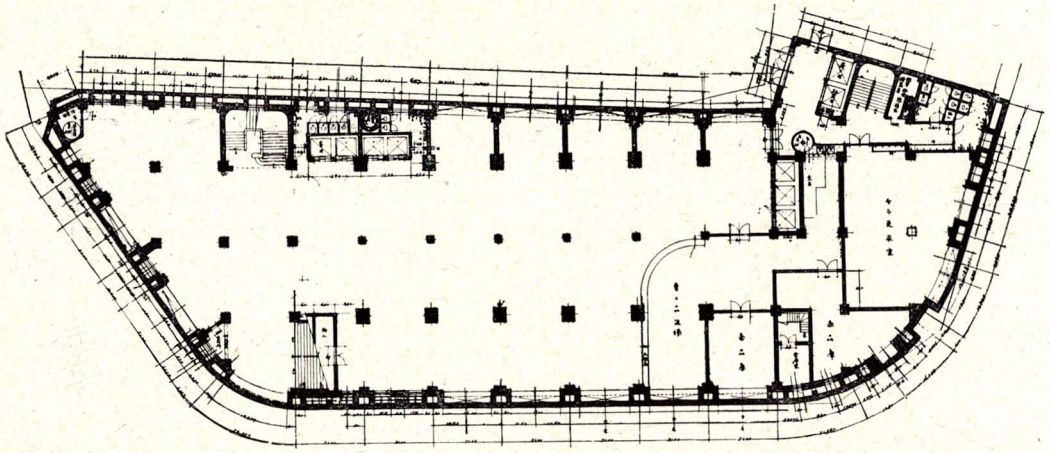


7

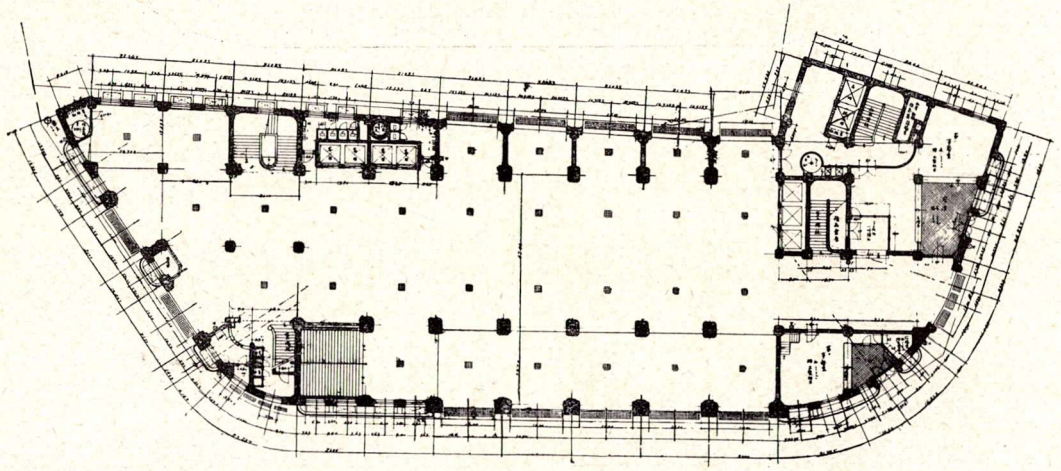




1. 第二地階平面圖



2. 第一地階平面圖

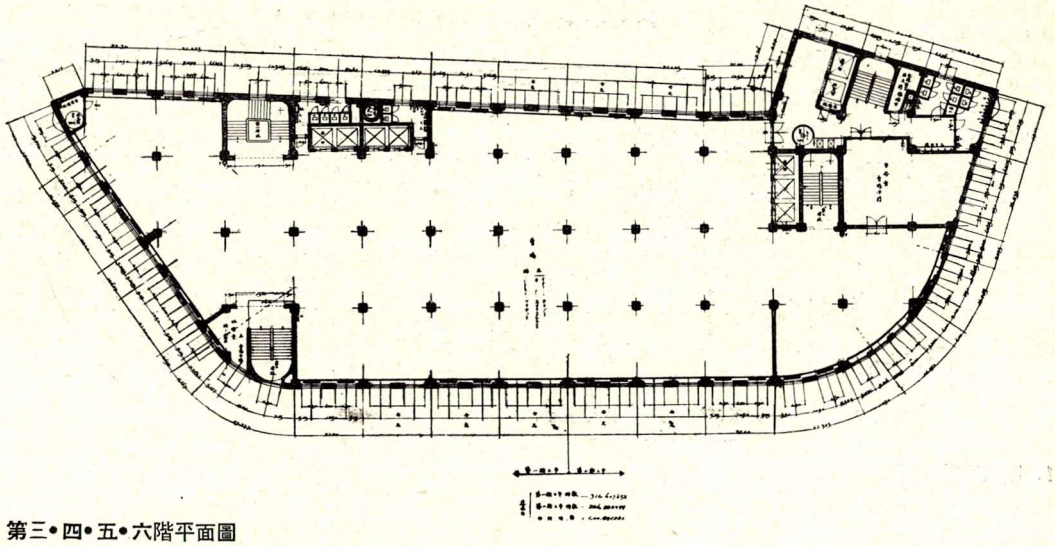


3. 第一階平面國

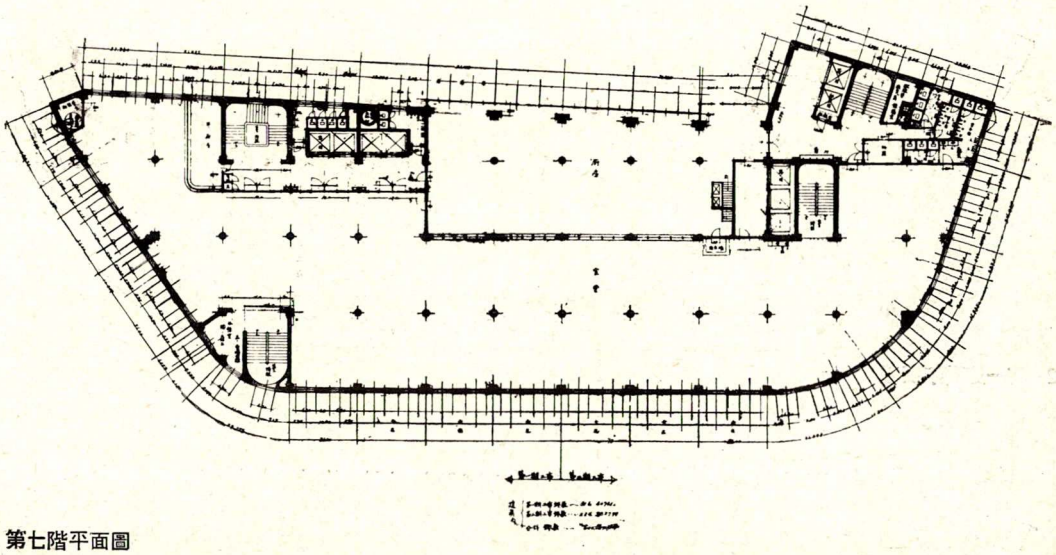
大阪・阪急ビルヂング（3）

設計者　合名會社竹中工務店

施工者　同　上



4. 第三•四•五•六階平面圖



5. 第七階平面圖

大阪・阪急ビルヂング(4)
設計者　合名會社竹中工務店
施工者　同　上

日本赤十字社大阪支部病院建築概要

一、位置　大阪市天王寺區筆ヶ崎町日本赤十字社大阪支部病院敷地內東南隅

一、病院總敷地
　壹萬貳千四百〇〇貳坪八四

一、病院總建坪
　五千參百六拾六坪參貳

內南病棟　四百五拾六坪貳六

一、病院總延坪
　九千〇〇九拾六坪六參

內南病棟
　貳千參百五拾貳坪九七

內譯

地下室　貳拾貳坪六〇
地階　四百五拾六坪貳六
一階　四百五拾六坪貳六
二階　四百五拾六坪貳六
三階　四百五拾六坪貳六
四階　四百五拾六坪貳六
屋階　四拾九坪〇七

一、各階室配置

地下室　機械室
地階　臨時二人詰三等病室
　四十一室　八十二床
（將來二等病室として使用）
特別病室　貳室　貳床
豫備室（臨時內科特別診斷室）保養室、面會所、處置室、看護婦詰所、同派出所、同休養室、醫員控室、リネン室、調理室、配膳室、浴室、脫衣室洗面洗濯室、便所、同前室、不潔物處理室、物置、階段、非常階段、『エレヴエーター』

一階
二等病室　四拾壹室四拾壹床
特別病室　貳室　貳床
豫備室（臨時外科處置室）壹室
保養室以下地階に同じ

二階
二等病室　四拾壹室四拾壹床
特別病室　壹室　壹床
特別病室（臨時產室）　壹室
豫備室（臨時婦人科處置室）
　壹室
保養室以下地階に同じ
以上の各階は中央廊下式なり

三階
一等病室　拾八室　拾八床
特別病室　貳室　貳床
保養室以下地階に同じ

四階
一等病室　拾八室　拾八床
特別病室　貳室　貳床
保養室以下地階に同じ
以上は南北兩側廊下にして南側を醫員回診用患者休憩用、北側を一般通路とす

屋階　階段『エレヴエーター』塔、水槽、日光浴室、喫茶室洗濯場、物干、便所、『バラコラ』、屋上庭園、鐵塔
以上は一般散步場として使用せらる

病室數　百七拾參室
病床數　貳百拾四床
工期
起工並に地鎭祭
　昭和參年壹月十日
竣工並に落成式
　昭和四年四月八日

設計並に監督

日本赤十字社大阪支部病院建築事務所

顧問　工學士　岡田信一郎
主任技師　工學士　木子　七郎
現場主任　北川　庫吉
係　小川久太郎
係　山本　久吉
係　松本　涉
係　石田榮次郎
係　大佐和彥太郎
顧問（電氣工事）　工學士　上妻　博
囑託（電氣工事）　工學士　工藤　壽男
囑託（煖房衛生工事）　工學士　中島　彥六

工事請負者

建築工事　大倉土木株式會社
煖房工事　株式會社須賀商會
衛生工事　同
電氣工事　內田商事株式會社
瓦斯工事　大阪瓦斯株式會社
『エレヴエーター』工事　米國『エー・ビー・シー』會社
　內田商事株式會社施工
氣送管工事　大倉商事株式會社
寢臺及附屬品
家具裝飾　株式會社　三越
大阪刑務所　株式會社　三越
株式會社　大丸
山谷洋家具合資會社
松原木工所

一構造の大要

樣式　近世式
構造　鐵筋『コンクリート』造地階共五階建
基礎　柱下『シンブレックス』式『コンクリート』杭打地形
壁體、床、屋根、階段
　全部鐵筋『コンクリート』造
非常階段　鐵骨製
窓、入口戶　外部に面する總ての窓硝子障子及入口戶並に室內防火間仕切の窓及び戶は東京建鐵製田島式『スチールサッシュ』及『スチールドアー』其の他の間仕切窓戶は全部木製とし、病室等入口扉は新田式『ベニヤフラッシュドアー』とす。

防火捲上戸　各階二ヶ所大野式自動防火捲上戸を設け防火區域を作る。

仕上　外部　全部淡黄色人造石塗壓搾空氣使用叩き仕上げ、屋上三層『アスファルト』防水工事を施し『シンダーコンクリート』打ち表面『セメント、ブロック』四盤張付けとす。

内部壁面

室内天井及壁『ドロマイト』及『スタッコ　マンチユーリア』塗仕上『ペンキ』及水性『ペンキ』塗

巾木及床戸棚廻り木製、特に水使用の室内に限り床人造研出し塗、腰及室内洗面器裏白色『タイル』張り、一等室洗面器裏『ビトロガラス』張りとす。

廊下　腰人造石研出し塗、床楢材樽張り。

階段　階段踏板板張り、巾木廻り、蹴込み、人造石研出し塗『ペンキ』塗色合は病室『クリーム』色内部間仕切及建具廻り一式米檜製『ペンキ』塗、色合『クリーム』色、外部窓東京建鐵製『スチールサッシュ』と共に『ロールスクリーン』取付け各階の表示及室番號、病客名科名表示等其他適宜之を設けペンキ塗とす。

硝子舶來正一分『マシーングラス』特に日光浴室『ベランダー』保養室の窓には獨逸『ショット』會社製『ウビヨールグラス』を用ひ紫外線の透入をなさしめ、其の他防火間仕切には網入二分厚『ガラス』保養室面會室、看護婦室等適所『ステーンドグラス』を設く。

各階保養室、屋上日光浴室、一等廊下には千歳石大理石『タイル』交用の噴泉前飾りを作る。

阪急ビルヂング
建築概要

一、意匠

大阪市都市計畫と建物の使用目的とに順應してその平面計畫を最も自然に、無理の出來ない樣に而も相當の餘裕を存ぜしめつつ決定した。

其の意匠は極めて明快簡素にして奇に走らず舊套に陷らず而も壯重堅實を根本義として無用の虚飾を避け、有るが儘の姿を最も自然に表現することに努めた第一階『コンコース』の天井は特に注文者の要求により伊東忠太博士の考案を煩したものであつて、此分のみが他の意匠と其の手法を異にして居る。

二、構造

將來起り得べしと想像せらるゝ地震に對して絶對安全なるべしと言ふ注文者の要求により阿部美樹志博士指導の下に次の如き條件に基きて實施した。

(a)地震々度を〇・一五としたる場合に各材料が其の許容應力度に達すること

(b)横力によりて起るべき柱の虚點の高さの柱長に對する比を純理論的に算定して次の如くしたこと

	第二地階	第一地階	一階	二階	三階	四階	五階	六階	七階	八階
側柱	〇、七	〇、六〇	〇、五二	〇、五二	〇、五三	〇、五五	〇、五五	〇、七	〇、六〇	〇、六
内柱	〇、六	〇、五二	〇、五〇	〇、五二	〇、五三	〇、五三	〇、五四	〇、五四	〇、五五	〇、五六

(c)第一階天井には特に大『アーチ』を架して横力に對する水平撓度を著しく輕減せしめたこと

(d)混凝土施工にはInundatorを使用したこと

以上の如き條件による結果として普通の計算法によるものに比し優に四倍の强度を保證し得る確信に達した。

三、設備

近時の大建築が存すべき一切の設備は悉く其の最善のものを採つた。其の内特に注意したのは變電裝置、蓄電裝置、昇降機裝置及電話設備であつて、殊に電話設備は私設容量一、〇〇〇回線を有する自働式交換機を使用し、電鐵沿線の八局が自働交換裝置となりたるときは之れとも相互交換をなし得る構造とした

四、**工事關係者**

建築主	阪神急行電鐵株式會社
顧問	工學博士　阿部美樹志
顧問	工學博士　古塚　正治
相談役	工學博士　伊東　忠太
設計	合名會社　竹中工務店
施工	合名會社　竹中工務店

鷲尾九郎、青柳貞世
田中清藏

五、坪數其他（第一期工事分）

建坪　三二八、二一坪
延坪　三二一四、〇二坪
階數　地上八階　地下二階
構造　鐵骨鐵筋コンクリート

日本建築協會會報

例會

日時　昭和四年三月二十四日午前十時―正午
見學　大林組工作所見學
出席者　五十六名
記事
一、三月例會は第二部(敎化)委員會の計畫事業として大林組工作所見學を擧行に付之れと同時に當月の例會を行ふことゝなりたり
一、當日折惡しく曇天にして雨かと案せられしにも拘らず大林組工作所の集合所に集るもの五十六名休憩所内に於て大林組より一同に茶菓の餐應を受け社長代理松本監査役の挨拶及當工作所沿革に付て說明あり次で小笠原第二部委員會幹事の一同代表して挨拶及尙見學に付ての注意ありて全員を三班に分ち一班毎に說明者一名を附して順次工場の作業を見學せり
見學終りて再び休憩所に入り休憩の後一同謝辭を述べ解散したり

第一部(法制)委員會

日時　昭和四年三月二十七日午後六時二十分―九時十分
會場　大同生命ビル、ライオン食堂
出席者　委員長　池田實
第一分科
主査　小川安一郎
委員　加藤善吉　林豪藏　北垣熊之介　椎原兵市
第二分科
委員　竹中景一　前内文二郎　三浦茂
第三分科
主査　今林彦太郎
委員　村野藤吾　小川陽吉　鷲尾九郎　古塚正治
第四分科
主査　高田利一郎
委員　伊藤幸太郎
第四部(災害)委員長　光安梶之助
第四部(災害)委員　谷田實
記事
一、開會池田委員長より本夕は御協議致したき問題多數あるも就中先日第二分科に於て研究を致しました第四部(災害)委員會より廻付の市街地建築物法施行規則中改正意見の條項に付、本夕第四部委員會より說明の爲光安、谷田の兩氏出席せられましたから先づ該問題より審議を開始する旨を述べ
一、次で第四部(災害)委員長光安氏より四月中旬東京に於て監督官會議開催の趣にて規則中改正意見あらば提出されたしとの事にて先般來短日の間に當委員會に於て研究を重ね漸く改正意見を取纏め過日廻付し本夕說明の爲出席したる次第なり
今回の改正條項は前年建議のものゝ異りたる點多いと考へます
一、是に於て改正意見書の各項に付一項宛光安氏及谷田氏交互に說明の後審議をなし合議の上修正を行ひ可決せり
右修正案を以て常務會に委員長及第四部委員出席報告することに決す
一、右了つて左記委員長より注意あり
本夕可決したる改正案は改正の結果易となるものと却つて難となるものとある樣に思はるゝが之に反對意見のある各位は本夕どし〳〵と述べられ度過日の建築士法案の如く委員會に於ては反對意見なくして評議員會に於て反對の意志を發表し恰も委員長一人の決定したるが如く思はるゝは洵に遺憾なり故に異議は遠慮なく發表ありたしと念を押したり
之に對し反對意見者なく可決せり
一、次で委員長より第三分科に於て研究の上提出したる建築士法案に關する評議員會の經過を詳細報告したきも時間の都合上之を略し只否決されし事を報告し、其の結果第三分科を廢することゝなりしを以て其の處置に付諮りたしと協議に入りしも時間無き爲兎に角第三分科の處置は次回迄保留することに決す
一、今林幹事より第三分科の經過に付陳述したきも次回に讓る
一、開會

常務會

日時　昭和四年三月二十九日午後六時―八時三十分
會場　本協會會議室
出席者　理事　片岡安　常務　德政金吾　岡部顯則　酒井勇三郎　本間乙彦
第四部(災害)委員會委員長光安梶之助
同　委員　林豪藏
記事　本夕は出席常務定數に滿たさりしも議事に付議し廻議として決議を得ることゝなす
議事　一、評議員會開催の件
A左の諸問題附議の爲
1古宇田常務辭任に付補缺選擧の件
2美觀地區並風致地區指定促進に關する建議の件……第一部(法制)委員會報告
3大阪府令湯屋取締規則一部改正に關する建議の件……第一部(法制)委員會報告
B定款改正に關し懇談の爲
右は開催のことに決定し尙回議により決することゝ、四月四日(木)午後五時三十分開會とす
一、市街地建築物法施行規則一部改正意見建議の件
一、建築士法案に關する特別委員會委員推選の件
右人選は主記に一任することに決定
一、春季大會に關する件
一、豫備費支出の件
一、會員詮衡

一、尙本夕は常務會の權限を定むる要あることに付意見の交換ありたり

第三部(資料)委員會各分科會

日時　四月一日午後五時半―八時
會場　大同ビル、ライオン食堂

第一分科

出席者　主査　大澤
委員　梶垣、谷口
研究事項　一、コンクリート打現場及コンクリート打の日を調査研究すること

第二分科

出席者　主査　中村
委員　白石、淺原、河合
研究事項　一、テラカツタ及スレートに付て

第五分科

出席者　主査　森本
委員　藤村
研究事項　一、藤村氏提出の「スチイールサツシュ」の昭和三年度に於ける製作品に對し寸法調査をなす

第六分科

出席者　主査　阪井
委員　井上、伴、城口、須賀
研究事項　一、洗面器の大いさに付全部決定をなす

第一部(法制)第四分科會

日時　四月二日
會場　本協會會議室
出席者　主査　高田利一郎
委員　田中　美一　久保田筆雄　島田　巽馨

記事

一、實費精算式施行方法に付更めて最初より研究に取掛ること
一、次回定例日迄に外國(主として英米)の本件施工法を研究し置き分科會に討議すること
一、本夕は大體實費精算式施工方法に對する意見の交換に止め次回定例日迄に在來の資料に付研究し置くこと

評議員會

日時　四月四日午後五時三十分―九時
會場　大同ビル、ライオン食堂
出席者　片岡　安、宗　兵藏　池田　寛、本間　乙彦、德政　金吾　大澤　幸平、大野　直平、岡部　顯則　和田貞治郎、吉井　長七、横濱　勉　高田利一郎、坪井　誠一、波江　悌夫　中島　智喜、中村　義雄、村上　徹一　松本　儀八、小西　一良、阪井　米吉　酒井勇三郎、芝田　知重、下浦　光衞　森本　藤吉　第四部委員長　光安悌之助

記事

一、定刻となるも出席者二十一名に達せざる爲本夕の選擧議事懇談會の順序を變更し定款改正に關する懇談會を先きに開く
一、七時十分、出席者漸く定數に滿ちたれば懇談會を中止し宗副會長議長となり評議員會開會を宣す
一、先づ議長より常務古宇田氏常務辭任の理由を說明し本夕其補欠選擧を行ふ旨を述ぶ
右選擧に關し各員の贊成により詮衡委員七名を議長指名し其の詮衡委員に依り候補者三名を詮衡して貰ひ其の三名を各員の投票により一名を選定することに決す
是に於て議長は左記七名を指名す
横濱氏、吉井氏、坪井氏、德政氏、芝田氏、下浦氏、松本氏詮衡委員は別室に於て詮衡委員會を開き候補者左記三名を報告す
山脇友三郎氏、增山新平氏、小西一良氏
是に於て各評議員の投票選擧の結果山脇友三郎氏十一票にて當選す次で議事に入る

議事

一、市街地建築物法施行規則一部改正意見建議の件
右に關し原案者光安第四部委員長は各條項に付說明をなしつゝ逐條的に審議に入る
午後八時片岡會長出席、宗議長に代りて議長となる改正意見書の原案に付ては多少修正を加へ審議了り建議することに可決せり
尙美觀地區並に風致地區指定促進に關する建議の件及大阪府令湯屋取締規則一部改正意見建議の件は時間の都合にて次回に延期されたり
尙定款改正特別委員會委員選出に關し池田氏は左の如き希望を述べらる
理事中一名、監事中一名、主記、主計編輯中より各一名宛計三名、評議員中八名
元改正委員會中二名、合計十五名
一、右にて議長閉會を告げ解散す

第一部(法制)第一分科會

日時　四月八日午後五時三十分―七時
會場　住友倶樂部二階談話室
出席者　主査　小川安一郎
委員　椎原兵市

記事

一、前回分科會に於て申合せの建議文案は作成持寄られしも出席者少數に付協議に至らず散會す

第一部第三分科會

日時　四月十日午後六時―八時
會場　大同生命ビル地階ライオン食堂
出席者　主査　今林彦太郎
委員　村野藤吾　鷲尾九郎

協議事項　一、建築士法案に關する審査事務完了せしに付當第三分科會を廢止するや否やに關し協議をなし來る第一部總會開催當日第三分科會委員連名を以て辭任届を提出することに決す

常務會

日時　四月十日午後五時三十分―七時三十分
會場　本協會々議室
出席者　理事　片岡　安、宗　兵藏

監事　横濱　勉
常務　德政　金吾　岡部　顯則
松本　儀八　山脇友三郎
坪井　誠一

報告
一、三月分會計報告……岡部主計
二、大津市に於ける生活改善展覽會出品に關する決算報告……坪井主計報告
三、建築士法案特別委員會及定款改正特別委員會委員豫選報告德政　主計報告

議事
一、補缺常務職務分掌の件
常務主記古宇田實氏辭任に付四月四日開會の評議員會に於て補缺選擧の結果山脇友三郎氏當選し本夕出席の上就任の挨拶あり次て職務分掌に付互選の結果左の通決定せり
主記(元主計)　坪井　誠一氏
主計　山脇友三郎氏
二、春季大會委員會に關する件
三、名譽賛助員推薦の件

第二部(教化)委員會

日時　四月十三日午後五時三十分—八時三十分
會場　大同ビル、ライオン食堂
出席者　幹事　小笠原　鋤、增山　新平
委員　岡本新次郎　山本　春水
藤枝　良一　芝田　知重
姫野　武

決議事項
一、講習會開催期日變更のこと
二、會場選定の件
三、講師に關する件
右計畫を立て來る十六日更に臨時會を開き豫算時間割其の他プログラムを作り新聞廣告通知認可手續等をなし、一方常務會に承認を得る手續をなすこと

第三部(資料)委員會

各分科會
第二分科
日時　四月十五日
會場　大同ビル、ライオン食堂
出席者　主査　中村
委員　河合、淺原、白石
研究事項　一、テラカツタ、スレートに付て研究を續行す
第四分科
出席者　主査　下浦
委員　大島(代)、田阪、福澤
研究事項
一、塗料の重要視せらるゝ方法を考ふること
一、セメント、コーテングの內外壁に使用する各材料の性分及塗布手間作製の件
第六分科
出席者　主査　阪井
委員　井上(代)、伴、城口、須賀
研究事項　一、洋風、和風、大便器の種類の統一をなす
第七分科
出席者　主査　谷
委員　中川(代)
研究事項　一、前回に同

第一部(法制)委員會總會

日時　四月十七日午後六時—九時
會場　住友倶樂部三階小談話室
出席者　委員長　池田　實
第一分科
主査　小川安一郎
委員　林　豪藏
第二分科
委員　井原　國三　浦　英之助
佐藤松太郎
第三分科
主査　今林彦太郎
委員　村野　藤吾　小川　陽吉
第四分科
主査　高田利一郎
委員　田中　美一　久保田筆雄
記事
一、委員長より美觀地區並風致地區指定促進の建議案は既に評議會に迄提出されたるも時間無かりし爲次回に廻されたる旨報告あり
次で各分科主査の報告あり
一、右了つて前回より保留され居たる第三分科の處置に關し今林幹事は第三分科委員連名の辭任届を提出したき旨を述ぶ
一、右に關し委員長は該辭任届の提出を一時見合はすことを希望し今林氏之に同意す
一、更に今般建築士法案に關し調査研究の爲特別委員會の設置せられたるに對し會長宛に質疑書を提出すること及び該質疑書と共に各部委員長宛に通知書を發送することを決議す

第二部(教化)委員會

日時　四月十七日午後五時三十分—八時三十分
會場　大同ビル、ライオン食堂
出席者　委員長　武田五一
幹事　小笠原　鋤
委員　藤枝　良一　小西　一良
芝田　知重　姫野　武

報告
一、講習會各講師囑託の件に付承諾通知
一、會場の件に付ては堂ビルを借入することに內諾を得たるも尙不備の點ある爲今夕協議すること

議事　一、會場を大同ビル八階集會室とし机及椅子の搬入を芝田委員に一任す
右の件決定次第常務會へ持廻り承認を得たる上、更に近日中に講師、委員の打合せ會を開き直に各準備に着手することに決す

春季大會委員會

日時　四月十八日午後五時三十分—七時
會場　本協會々議室
出席者　委員長　古宇田　實
委員　井上　新二　岡部　顯則
谷田　實　酒井勇三郎
阪口芳三郎
古宇田委員に委員長を囑託し其の承諾を得たり

議事

一、常務會の參考案たりし六甲、有馬方面行きは都合の爲取止め、左の案を得たり

一、五月五日又は十二日の日曜日を選び神戸川崎邸庭園、商工會議所見學、メリケン波止場より三菱ランチ乘船、港内見學後、明石に向ひ同所にて宴會

右の案に付一同賛成す

建築士法案特別委員會

日時　四月二十日午後六時―八時三十分

會場　大同ビル、ライオン食堂

出席者　委員長　光安梶之助
主査　林　豪藏
委員　谷田　實　落藤　藤吉
岡本　弘　渡部　圭吾
黒田　茂　青柳　貞世
鹽路　惣吉　委員外四名
書記三名、寫眞師一名

記事　一、午後二時大阪製鎖所櫻上應接室に一同集合し所員の案内にて先づ製品陳列室に入り次で電氣熔接一般作業を見學し夫れより熔接鐵骨材荷重試驗鑄造の製鎖等を見學し寫眞二葉撮影、再び應接室に休憩歸途に着く

第五回講習會講師及第二部委員打合會

日時　四月二十七日午後六時―八時三十分

會場　旭軒別室（大阪驛前）

出席者　講師　東畑謙三、落藤藤吉、松本儀八、芝田知重
幹事　小笠原　銅　增山　新平
委員　岡本新次郎　大倉　三郎
山本　泰水　姫野　武
西谷　書記　大和　書記

記事　一、先づ小笠原幹事より四講師を紹介し一場の挨拶あり漫談の中に食事を終り、別室に於て講習に關する諸印刷其の他諸般の打合せをなし散會す

定款改正特別委員會

日時　五月四日午後五時三十分―七時三十分

會場　大同ビル、ライオン食堂

出席者　會長　片岡　安
委員　德政　金吾　大澤　幸平
高田利一郎　中村　義雄
小西　一良　酒井勇三郎
森本　藤吉

記事

一、本夕は出席者七名なるも會を成立せしむる必要上先づ委員長及幹事二名を互選することとなし會長と共に協議の上左の通決定したり

委員長　日高　胖氏
幹事　德政　金吾氏
同　酒井勇三郎氏

一、次で定款改正に付意見交換をなしたり

1本委員會は少くとも月一回必ず開會のこと

2本月二十五日迄に次回委員會を開くこと

3改正可能性の案を作ること

一、右決定事項を全委員に通知し併せて前改正委員會成案を參考として送ること

春季大會委員會

日時　五月六日午後五時三十分―八時十分

會場　本協會會議室

出席者　委員　井上新二、德政金吾、谷田實、山脇友三郎、阪口芳三郎、酒井勇三郎

記事

一、井上委員より見學先交涉結果報告

三菱、川崎、兩造船所は日曜日の爲見學を取止め神戸稅關本館の建築及三菱倉庫建築を見學することとなしたり

一、左記三名に委員を追加依囑すること
原科準平氏、宮嗣克二氏、小西一良氏

轉勤轉居

名譽賛助員
廣田　精一君　東京府下田園調布二二號地

會員
久保田小三郎君　大阪市住吉區天王寺町（天神の森北半町）六八六番地
金澤　質直君　大阪市西成區玉出本通二丁目四八
中田幸一郎君　兵庫縣武庫郡大社村森具字下前田一二番地
山下豐三郎君　大阪府下中河內郡小阪町七〇四
田中　四郎君　神戸市須磨衣掛町三丁目四番地
高橋　君三君　大阪市西淀川區海老江上三丁目二一
芝原　二郎君　奈良縣生駒郡伏見村字西大寺三三八
前島　浩一君　大阪市住吉區天王寺町五〇九、五谷菊松方
松浦　基二君　大阪市東淀川區十三南之町七五七ノ三五

會員（地方在住）
森定松之助君　名古屋市南區大江町一番

地ノ五、農林省名古屋倉庫新築場、大林組六號地出張所

花田孝二郎君　東京府下中野町本鄉五三九

有田　桂太君　東京市外寺島町寺島八一一

荒谷　五郎君　名古屋市東區東撞木町二一

小津　利一君　東京市牛込區佐内町二五

高橋方

櫻井謙二郎君　朝鮮釜山府凡一町六八、朝鮮紡績株式會社建築場内大林組釜山出張所

普通賛助員

竹内　一郎君　東京市外澁ノ川町澁ノ川一七〇

森本　勝藏君　大阪府中河内郡龍華町大字植松

渡邊　謹作君　青森市浦町橋本神明通リ一八八

弓場　重美君　神戸市川西通四丁目二二二

田平　宗美君　京都市下京區東山三條南二筋目白川橋西入ル北木之元町五二一安井久次郎方

荒井　龍吉君　三重縣一志郡中川村字小川參宮急行電鐵中川變電所新築工事、大林組中川詰所

岡　武敏君　名古屋市中區松ヶ枝町、東邦電力株式會社土木課

岡本豊次郎君　吳市鎭守府樽内吳海兵團集會所新築工事清水組出張員詰所

今井　團一君　東京市外戸塚町源兵衛一四五番地宇惠實方

南部　治房君　大阪府南河内郡藤井寺町大鐵經營地二十五號

清野彌三郎君　兵庫縣武庫郡御影町上山田九〇

三木　幸吉君　東京府下杉並町高圓寺馬橋四五一岩倉方

森本　文章君　尼崎市外杭瀨今福太田九古川

末本　豊吉君　福井縣今立郡神明村片町神明神社前

改名

深井兼太郎君　改名　深井孝祐

入會者

會員

伊藤　久治君　兵庫縣武庫郡今津町今津曙七番地

阪本　啓一君　兵庫縣川邊郡小田村杭瀨字寺島一五

會員（地方在住）

藤岡　正一君　廣島市段原町八八二地

特別賛助員

松本　壽美君　大阪市西淀川區大仁本町一丁目百番地

澁谷　經久君　大阪市住吉區北田邊町五四二番地

奥村重兵衛君　大阪市北區中ノ島六丁目六番地

普通賛助員

本田明三二君　滋賀縣廳内務部庶務課建築係

退會者

會員　河合浩藏君、同野村敬一君、同（地方在住）難波停吉君、同小川忠藏君、同北川正彌君、普通賛助員伊丹秀世君

寄贈雜誌

電氣評論　每號　其　社

都市人　每號　其　社

學士會月報　每號　學士會

建築世界　每號　其　社

朝鮮と建築　每號　朝鮮建築會

セメント界彙報　每號　日本ポートランドセメント同業會

住宅　每號　住宅改良會

建築雜誌　每號　建築學會

工政　每號　其　會

經濟資料　每號　東亞經濟調査局

土木建築　每號　其　社

建築新潮　每號　洪洋社

大阪工業倶樂部　每號　其　部

通俗衛生　每號　大阪府衛生會

帝國鐵道協會會報　每號　其　會

工業評論　每號　其　社

電氣學會雜誌　每號　其　會

鐵道軌道經營資料　每號　鐵道同志會

趣味ノ園藝　每號　關西園藝會

土木建築之日本　每號　其　社

工業ト社會　每號　東京工業會

工業　每號　大阪工業會

滿州建築協會雜誌　每號　其　協會

庭園と風景　每號　日本庭園協會

圖書室月報　每號　東京市政調査會

大阪工業倶樂部　每號　其　部

エンヂニヤリング　每號　其　社

工業要錄　每號　其　發行所

名古屋工業會々報　每號　其　會

大阪　每號　大阪都市協會

都市問題　每號　東京市政調査會

新建築　每號　其　社

京都の實業　每號　京都商工會議所

都市創作　每號　其　會

木材彙報　每號　大阪木材協會

建築學研究　每號　其　會

大阪土木建築業組合報　每號　其　組合

木材新聞　每號　關西木材商報社

工業新聞　每號　其　社

日本建材新聞　每號　其　社

日本建築士　每號　其　會

東洋建材時報　每號　其　社

朝鮮鐵道協會會誌　每號　其　協會

住宅　每號　其　研究社

超科學　每號　大阪網島工業會

建築業協會々報　每號　其　協會

建築畫報　每號　其　社

土木建築工事畫報　每號　其　社

工業之大日本　每號　其　工場能率增進研究會

動力之節約　每號　其　社

土木學會雜誌　土木學會

役員

會長　理事　評議員　片岡安

副會長　理事　評議員　宗　兵藏
副會長　理事　評議員　日高　胖
監事　評議員　池田　實
主記　常務　評議員　横濱　勉
同　常務　評議員　德政金吾
同　常務　評議員　坪井誠一
主計　常務　評議員　波江悌夫
同　常務　評議員　岡部顯則
同　常務　評議員　吉井長七
同　常務　評議員　山脇友三郎
編輯　常務　評議員　池田谷久吉
同　常務　評議員　本間乙彦
同　常務　評議員　松本儀八
同　常務　評議員　酒井勇三郎
評議員　伊藤幸太郎
評議員　小川陽吉
評議員　大野直平
評議員　大澤幸平
評議員　渡部圭吾
評議員　和田貞治郎
評議員　高田利一郎
評議員　竹内　綠
評議員　竹田延朗
評議員　中村義雄
評議員　中島智喜
評議員　村上徹一
評議員　久保田筆雄
評議員　熊澤榮太郎
評議員　山脇友三郎
評議員　八木幸次郎
評議員　前内文二郎
評議員　增山新平
評議員　牧野利秋
評議員　小西一良
評議員　阪井米吉
評議員　芝田知重
評議員　下浦光衛
評議員　姫野武
評議員　樋口辰太郎
評議員　森本藤吉

編輯後記

◇天皇陛下には本月二十二日御發輦關西行幸の處、惡疫發生のため御豫定を變更あそばされ、いよいよこの二十八日東京宮城を御發輦、横須賀より軍艦に御坐乘、海路巡幸の途に上らせたまふ、われわれ阪神地方幾百萬臣民の光榮は申すまでもなく、たゞ感激の涙にくるるばかりである。

仰ぎ希くば　天皇陛下、御途すがらの御平安を祈り、御機嫌御うるはしき御英姿を拜せしめたまはらんことを。謹んで行幸を待ち奉る。

◇…本月號は心地のよい程早く編輯が出來て御蔭で編輯員も何かしら面目をほどこした感があるこれは一つに寄稿の諸先生の賜と感謝してゐます。ごうぞこの上の御鞭韃を願ひます。

◇…八月號は貸家とアパートメント又九月號は商店建築號です、御投稿を願ひます。

新刊紹介

『大阪府特別保護建造物綜覽』

本書は大阪府下に現存する三十一棟の特別保護建造物を網羅し、各棟に就いてその外觀及び特長ある細部の寫眞と併せて、位置、祭神、創祀、創建、沿革、構造の概要を摘記したものである。古建築物と言へば態々奈良か京都かへ出かけねば見られないやうに考へてゐる一般の人々には、鎌倉時代以後江戸時代迄に出來た特長ある建物が大阪府下にさへ斯くも多數に存在する事は、意外な事實であるかも知れない。

同書の卷頭には先づ大阪府特別保護建造物分布圖を揭げて親しく杖を曳かうとする人に便し、次いで建築上の專門語を說明する二面の參考圖を附加して所謂「素人」のために圖解の勞を執つてゐるのは周到なる用意として賞讃すべきであらう。以下主として建立時代順に神社について十六棟寺院について十五棟に、一棟毎に寫眞一葉解說一葉を宛てゝゐるが、その簡明な書き振りは推賞に値する。

「素人」にとつても「玄人」にとつても、此の方面に於ては此の「大阪府特別保護建造物綜覽」こそ最も適當な且つ最も信賴すべき參考書である事は此處に贅言せずとも、同書を一覽する程の者が等しく確信する所である。

尙本書の編纂は先に「趣味の古建築」を著して、單に一介の技術者に止るに非ず飽く事なき研學の志と豊かなる藝術的天分との所有者である事を示した池田谷久吉氏が新たに府の依囑を受けて是に當つたのである。

（四六倍版、寫眞三十一葉、解說三十一葉、附圖三面、大阪府發行、非賣品）

本誌定價表

册數	定價　郵稅
一册	五拾錢　貳錢
十二册	六圓　貳拾四錢

昭和四年五月廿八日印刷（每月壹回）
昭和四年六月一日發行（一日發行）

大阪市港區音羽町二丁目十四番地
發行兼編輯人　鷹取陽

大阪市東區內淡路町一丁目七番地
印刷所　大阪活版所

大阪市西區土佐堀通一ノ一
大同ビルヂング
發行所　社團法人　日本建築協會
電話土四一六五番
振替口座大阪三九、九七五

大阪市西區京町堀羽子板橋北
特約販賣店　柳々堂書店
電話土佐堀二四四〇番
振替口座二〇八四番

御購讀の向は本會直接又は特約店へ振替又は爲替にて前金御拂込被下度候

國産

アスファルト

陸屋根防水用 ブローン
電氣絶縁用 アスフルト

地下室防水用
道路鋪裝用 アスファルト

御用命参上
カタログ進呈

株式會社 日本石油

大阪市西区江戸堀通三丁目〇
東京本社 下関 小樽

建築事務所案内

（次第不同）

池田建築事務所

所長

建築士 建築學士 池田實

所＝大阪市南區難波驛前鴻池ビル

電話戎1123番

宅＝大阪市住吉區上住吉町174

大阪市北區曾根崎中二丁目

第一曾根崎ビルディング第四十一號

建築設計監督 小笠原建築事務所

電話北二一五五、二一五六番

建築士 小笠原銀

住所 大阪市此花區酉島町北港住宅二一〇號

電話 土佐堀三二〇四番

大阪市西區土佐堀通一丁目

大同生命ビルディング第八階

橋本建築事務所

建築士 工學士 橋本勉

電話土佐堀九三八番

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市西區靱南通二丁目
ユタカビルデイング三階K室

岡部建築事務所

建築士　岡部顯則（アキノリ）

電話土佐堀五三二三番

大阪市東區高麗橋三丁目二八
千代田生命保險建物三階
電話本局二九六四番

横河工務所

工學博士　横河民輔
工學士　松井貴太郎
田中綱

東京市丸ノ内郵船ビルヂング六階
電話丸ノ内23二九八一番
大阪市北區堂島大毎ビルヂング五階
電話北四〇六四番

片岡石本建築事務所

工學博士　片岡安
工學士　石本喜久治

大阪市東區北濱四丁目五〇
電話本局三一三一番

宗建築事務所

建築士　宗兵藏
工學士　須川廉太郎
建築士　大倉三郎
工學士

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市西區本田町通壹丁目
住友ビルヂング參階
電話西三四三三番

東京市京橋區南紺屋町
實業ビルヂング五階
電話京橋五六六九番

國枝工務所

工學士 國枝博

神戸市下山手通六丁目七六
電話元町二六七一番

設樂建築事務所

建築士 設樂貞雄
工學士 設樂貞三
支配人 木村梅次郎

大阪市東區高麗橋筋二丁目
高麗橋野村ビルヂング六階
電話本局二〇七二番

安井建築事務所

建築士
工學士 安井武雄

西原式 汚水淨化裝置

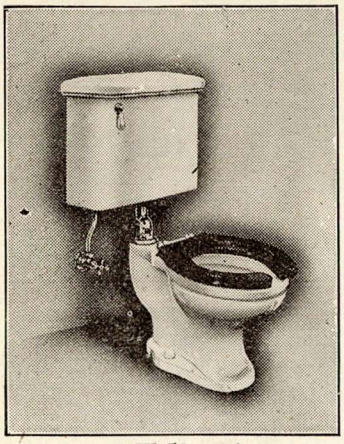
專賣特許 第四二五九二號　新案特許 第四三二一號 第六三五四號 第六四二三號 第六一四〇七二號

國產優良品

パイロット衛生器具

弊所が本邦に於ける斯業の先驅者として大小數百ケ所に施工したる多年の經驗と研究の結果漸次改良を加へたもので構造の堅牢、工費の低廉、成績の良好、地積を要する尠なきこと等あらゆる特色を具備せるものであります。

洗面器、手洗器、流し類、和洋大小便器、浴槽等各種、



CW 50 — A

（御申越次第カタログ進呈）

我國にて始めて發賣せる組合せ衛生器具にて『持ち送り』『木捻』の類に至るまで全部取揃へ一組になつて居りますが金具類はすべて

合資會社ヤンソン製作所

また陶器類は

東洋陶器株式會社

の特製品で兩々相まつて外國製に劣らぬ優良品を皆樣に御奬め致します、續々御愛用のほど願ひ上げます。

本店 東京

大阪市北區中之島五丁目三十番地

西原衛生工業所大阪支店

電話土佐堀 三七一五番

京都市下京區萬壽寺通不明門東入

京都出張店

電話下一三四五番

營業所 名古屋

建築請負業者案内

（次第不同）

池田勘藏

大阪市北區曾根崎新地
三丁目拾三番
電話 局北一一五七番
北一五〇七番

大阪市東區釣鐘町二丁目廿九番地

大倉土木株式會社 大阪出張所

電話東長 自三二一 至三二五
一三一二・六二五〇

和洋住宅專門

白陽工務店

藤田辰三

大阪市北區曾根崎上三丁目三〇番地
電話 北一一五六二三

衛生工業設備一般

賣販械器及行施計設

給水裝置		排水裝置	
防火裝置		衞生裝置	
煖房裝置		給汽裝置	
給湯裝置		換氣裝置	

大阪市北區中之島七丁目
（河野ビルヂング）

衛生工業商會

電話土佐堀二二〇八・〇一六三番

建築請負業者案内

（次第不同）

大阪市東區農人橋二丁目十二番地
合名會社 **大阪橋本組**
代表社員 橋本政吉
電話 東一五八〇番 長東一五八一番 東一七五三番

東京市麹町區八重州町一ノ一
八重州ビルヂング四階
東京支店
電話丸ノ内(23)四七八〇番 四七八一番

小倉市大阪町十丁目百廿二番地
九州支店
電話長四三〇番

大阪市東區京橋三丁目七十五番地
株式會社 **大林組**
支店 東京、横濱、名古屋、小倉
營業所 京都、神戸、
工作所 大阪、東京、

特許ORC式テーパー型鐵筋コンクリート造
煙突工事
合名會社 **大阪鐵筋混凝土工務所**
大阪市港區小林町一六三
電話櫻川長一〇八六・二六二二
神戸出張所・名古屋出張所
（カタログ進呈）

大阪市東區横堀四丁目四十三番地
電話本町八三四（本店）
櫻川一六七（工場）
石川屋
岡本工務店
岡本武藏
岡本新次郎
山中茂一

建築請負業者案内

（次第不同）

ペンキ塗請負業

龜谷開作

大阪市北區鶴之町三十六番地
電話北六五四五番

足代（假設）
材料損料
鳶方（手傳）
工事負請業

中新

中川辰藏

大阪市北區曾根崎上一丁目
電話北（長）一五三番
東京市神田區猿樂町
東京出張所　貳丁目參番地
電話神田（25）三〇五番

合名會社

竹中工務店

本店　大阪區堂島、堂ビル　北長八一〇
支店　東京市丸ノ內郵船ビル　丸ノ內（23）長一二五〇
神戸市熊內町六丁目　賃合　八〇六
名古屋市西區幅原町二丁目　長一八四二
京都市坊城通三條下ル　中　二三八六
橫濱市花咲町十一丁目　一八八九
（長署町關番二三）

製作所　大阪市港區南境川町　西長　八〇四
東京市深川區西平井町　大手二〇四六

建築請負業者案内

（次第不同）

諸石材販賣彫刻請負業
幷ニ
一手販賣（黃龍石（人造石用）石粉各種
高島產鋪色（人造石用）石粉各種
黃龍石材各種）

通名石佐事

熊取谷熊次郎

本店　大阪市東區材木町七九
電話長東一六二六番
出張所　東京市下谷區上根岸四九
電話下谷一三二九番

株式會社

松村組

大阪市東區大手通一丁目二十六番地
電話東（長三一七一番
三五一三三番
三一七二番）

東京本社

東京市丸ノ内仲十四號館十二號
電話丸の内（代表）二五五一番
二五五二番
二五五三番
二五五四番

大理石
鐵平石
萬成磨
工事及設計請負

大阪市此花區吉野町二丁目一六

合資會社

山田大理石製作所

電話土佐堀四三四二番

長尾新太郎
池上喜三信

御用ノ節ハ電語ニテ御一報次第御伺仕可候

大阪市港區小林町七十五番地

藤木工務店

藤木正一

電話園權川（64）一五五八番
一五八八番

東京市深川區平久町二丁目一一番地

東京支店

電話本所（73）二六四番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **鴻池組**

本店 大阪市西淀川區傳法町北三丁目宅
電話土佐堀〔長二六二・四二一七〕二六三・四二一八番

支店 東京市京橋區三十間堀三丁目三
電話銀座〔長一九九〇番一九九一番

製材工作場 大阪市港區池島町二丁目五五
電話西七六八・長一五二三番

合名會社 **有山組**

大阪市東淀川區十三西之町
電話 自宅用 北二〇五〇
營業用 三〇五一

鐵骨橋梁鐵塔
建築金物請負

合資會社 **駒井喜商店鐵工部**

大阪市港區泉尾町七二番地
電話 櫻川〔六五八番
二八八六番

安藤組大阪支店

大阪市北區堂島濱通
一丁目八五番地
電話長北四八四番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **佐伯組**

本店 大阪市港區市岡元町五丁目八番地
市電築港線夕凪橋停留場前
電話（長西一〇九〇番 西二六八一番 西五七〇九番）

出張所

東京 鹿兒島
橫濱 宮崎
福岡 大分
熊本 坂出

森本建築社

大阪市南區高津三番丁三番地
電話局戎二八一〇番

東京支店
東京市芝區白金三光町二五番地
電話高輪八一六七番

合資會社 **清水組大阪支店**

大阪市西區土佐堀通二丁目二番地
電話局土佐堀（六六六番 六六七番）

（本店）東京
（支店）橫濱、名古屋、京都、博多、京城、大連

大阪市西區土佐堀通三丁目二四

合資會社 **錢高組**

電話土佐堀（局三四一七 三四一八）

東京市京橋區木挽町四丁目四

東京支店
電話銀座（四二九二番 長四二九三番 長二三四七番）

名古屋市中區新榮町三丁目二九

名古屋出張所
電話東三五一八番

橫濱市高島町六丁目一二

橫濱出張所
電話本局三〇七六番



（佐久間建材工業所千住工場）



（佐久間建材工業所高田工場）

佐久間式マルエス印便利瓦

製造法式 特許第七四四七七號
製造法式 特許第七五六二七號

陸屋根地下室防水材料

佐久間式マルエス印

- コンパウンド
- パーマネントルーフイング
- 疊下用紙
- 建築用紙
- フエルト
- C印フエルト
- ルーフイング



國産として優秀なる

御用命

三菱地所部殿
東京府殿
東京市殿
大藏省殿
文部省殿
鐵道省殿
陸軍省殿
警視廳殿

久原鑛業株式會社殿
藤田鑛業株式會社殿
帝國ホテル殿
藤倉電線株式會社殿
富士製紙株式會社殿
慶應大學殿
南滿州鐵道株式會社殿

清水組殿
大林組殿
大倉組殿
安藤組殿
高橋組殿
本田組殿
戸田組殿
中工務所殿
竹藤本組殿

（其他土木建築界各方面）

佐久間建材工業所

所主 佐久間榮吉

東京府千住町三ノ三七〇番地
營業所 電淺草五〇〇六番
千住工場 電千住四〇二番
東京府高田町八〇四番地
高田工場 電淺草二五六番

東京工業試驗所報告

品名	抗張力 縱	抗張力 橫	水壓力 氣壓	屈曲試驗 丸棒直徑	屈曲試驗 廻轉度	屈曲試驗 龜裂	試驗時期
佐久間式マルエス印中號ルーフイング	瓩 70·5	瓩 42.9	1.4	粍 0·5	° 180	生ゼズ	大正十四年甲二月二十六日
某舶來一流(A)アスファルトルーフイング	同 53.7	同 21.8	1.2	同 1.3	° 180	生ゼリ	同上
佐久間式マルエス印中號ルーフイング	同 74.4	同 55.9	1.7	同 0.5	° 180	生ゼズ	大正十五年二月十日
某舶來一流(A)アスファルトルーフイング	同 80.3	同 39.3	1.2	同 1.0	° 180	生ゼリ	同上

（見本カタログは御申込み次第贈呈）

スチール サッシュ
スチール ドアー
スチールシャッター
手動昇降機

合資
會社

榮進社

營業所　東京市京橋區南紺屋町　十二番地
實業ビルディング二階
電話京橋(5)二二二九番

第一工場　東京府下日暮里町日暮里　一二八番地
電話下谷(83)一〇二七番
一四〇二番
一四八三番

第二工場　東京府下日暮里町大字
谷中本二五六番地

出張所　横濱市中區常盤町　一丁目一番地
常盤ビルディング二階
電話長者町二七一四番

大阪市北區梅ヶ枝町梅ヶ枝ビル　二階
電話北　三一二五　五三五九
五八六八　二八四六

神田區神田駿河臺町　一二三番地
電話元町二七〇九番

大連市紀伊町八五　滿洲興業銀行會ビル階下
電話　四六〇二番

家具と裝飾

最近施工の一例



弊店は　眞面目がモットー
皆様方の使用人

大阪市西淀川區海老江上三丁目一一七

佐岡家具裝飾店

電話土佐堀二九六九(福祿)　振替大阪七九七三三

大理石工事請負

合資會社

矢橋大理石商店

本店　岐阜縣不破郡赤阪町　電話五

出張所

東京市麹町區八重洲町一丁目丸ノ内十號館五號

大阪市東區北濱四丁目二十二番地　電話本局㊁五三一九

京城府光化門通一九〇

營業科目

鐵骨橋梁
鐵塔製作

年產一萬七千噸

松尾鐵骨橋梁株式會社

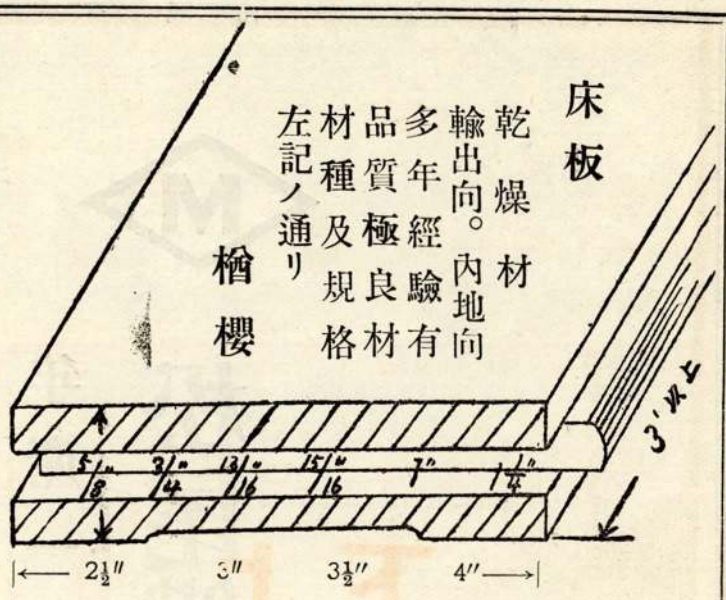
本店　大阪市港區福町二丁目卅五、六番地
電話櫻川（局）五五三、一九二八
二四二三

支店　東京市京橋區月島東仲通六ノ五
電話京橋（局）四三四九番
四七六二番

床板

乾燥材
輸出向。内地向
多年經驗有
品質極良材
材種及規格
左記ノ通リ

楢 櫻



フローリングブロック並
ニ造作用楢乾燥材多量貯
藏當店へ御引合願上候

貯藏板子材厚ミ
1″
1¼″
1½″
2″
2½″
2″

AMERICAN READY-MADE DOORS.

米國製出來合建具

Door List of Size
出來合建具寸法表

高	巾	厚
6'6"	2'	1 3/8"
6'6"	2'6"	1 3/8"
6'6"	2'8"	1 3/8"
6'6"	3'	1 3/8"
7'	3'	1 3/8"

今回第一着手トシテ米松製ノミヲ輸入致シマシタ貸事務所、學校、病院、簡易住宅、等ニ比較的豫算ノ少ナキ御建築ノ際御引合下サイ絶對歪ハヌ建具ヲ安ク差上ゲマス

福原工場大阪販賣店

港區泉尾梅ノ町四丁目
電話櫻川一六七番

小樽市入舟町二丁目三四番地

福原床板製造工場

電話二五二九・一二三番
振口小樽二五六七番

東京販賣店
京橋三四六一

名古屋販賣店
南三九〇



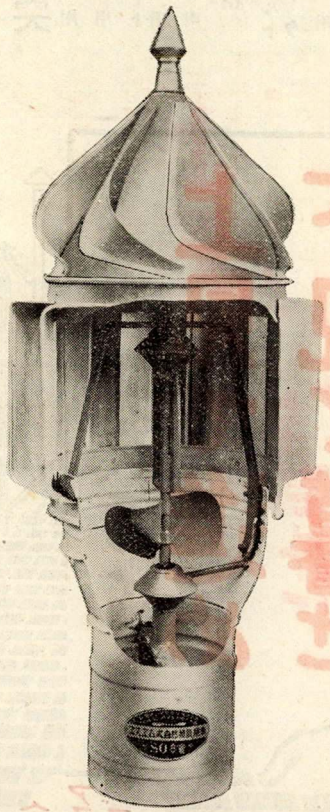
金剛商會

本店　東京市芝區虎ノ門　電話芝三九三・三九四・三九五
大阪支店　大阪市北區中之島四丁目　電話土佐堀二〇二・五二・二九四五
名古屋支店　名古屋市中區南園町二丁目　電話局本一一五三

新案特許

プロペラー　特許　No. 118986
防水裝置　特許　No.　1306

エスエム式自然換氣風車



最新考案特許二件ヲ有スル
理想有効保證ベンチレーター

外側笠ノ廻轉ニヨリ内部吸上ゲプ
ロペラーノ廻轉ニヨリ換氣量ヲ最
大ナラシム

大阪市北區梅田阪急前（第一曾根崎ビル四階）
總發賣元

SO商會工事部

電話北 2155・2156
製造工場　大阪市東野田四番地
佐々木工作所（電東 696）

建築衛生設備設計施工

營業種目

▼水道▲公私水道、ポンプ、屋外給水裝置。
▼防火▲防火栓裝置 スプリンクラーシステム、消防用器具、サイヤーミンスコンネクシヨン、ミニマツクス消火器。
▼衛生▲洋和風浴室、洗面場、廁所、便所、下水道、汚水淨化裝置、塵埃處理裝置。
▼煖房▲蒸汽暖房裝置、温水暖房裝置、熱氣晩房裝置。
▼換氣▲自然換氣、機械換氣、冷風換氣、空氣洗滌裝置。
▼冷藏▲リフリゼレーター。
▼眞空式掃除裝置▲セントラル、バキユーム、クリーニングシステム。
▼右設計工事請負及同機械器具材料製造並ニ輸入販賣

米國スタンダード衛生器具製造會社
米國スローンバルフ製造會社日本總代理店
米國シカゴポンプ製造會社

米國スペンサークリーナー會社
米國ベージボイラー製造會社日本總代理店
獨國ミニマツクス消火器會社

〔創業明治三十四年〕

宮内省御用達



株式會社 須賀商會

大阪東區高麗橋五丁目
電話本局 一一八九三番 一一八八九四五番

支店
名古屋
京都
東京

支店
住吉
神戸
博多



佛蘭西式洋瓦

◎綠色洋瓦　◎黑褐色洋瓦
◎赤色洋瓦　◎各種日本瓦
各種洋瓦の製造販賣
屋根工事の請負

十大特長

實質堅牢　形態合理
色彩優美　重量最輕
葺土無用　凍害絶無
葺方簡易　吸水殆無
製品統一　雪止不要
セメント製瓦にあらず
申込次第カタログ進呈

日本洋瓦株式會社 大阪出張所

大阪市西區堀江通一丁目四〇
（木綿橋停留所前）
電話櫻川一五八番

優良國產屋根材の權威



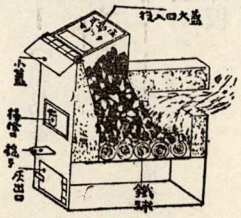
見本進呈

專賣　煤ト煙ハ出マセン　特許

動床式 風呂 竈

鐵ダマ入
燃燒裝器

長州風呂箱風呂
他種應用自在



用途
長州及箱風呂
製飴用煮竈
飲食屋竈
染晒沸釜竈
酒造其他煮沸釜竈
酒其他殺菌竈
工場其他雜用沸竈
錢湯用風呂釜

最近御採用先
一住友工作部建築課殿
一三菱造船所建築課殿
一竹中工務店殿工事先
一京大工教授山田氏邸殿
一京大工教授岡本氏邸殿
一工學博士井口氏邸殿
一武田長兵衛氏邸殿
一醫學博士藤田氏邸殿
一山本東作氏邸殿
一高島味淋釀造所殿
一大黑正宗釀造所殿
一株式會社壽屋殿
一府下山崎釀造所殿

發明者燃料實驗所長
工學博士 內藤游
燃燒有利ニ關スル工事設計
煤防除

波江野工生所
大阪市西區江戶堀下通四丁目十三
電話土佐堀七〇三九番

特賣店
株式會社 須賀商會
大阪市東區高麗橋五丁目
電話本局 一一八九三番 一一八九四番 一一八九五番

是非弊店ヲ御利用下サイ

藤井製作所

大阪市東淀川区
中津南通四丁目
四番地
電話土佐堀
長一四九
六七三八

欧米家具
室内装飾
窓掛敷物

檜實剝繼手付

櫻 床板

同上羽目板

同上本寄木

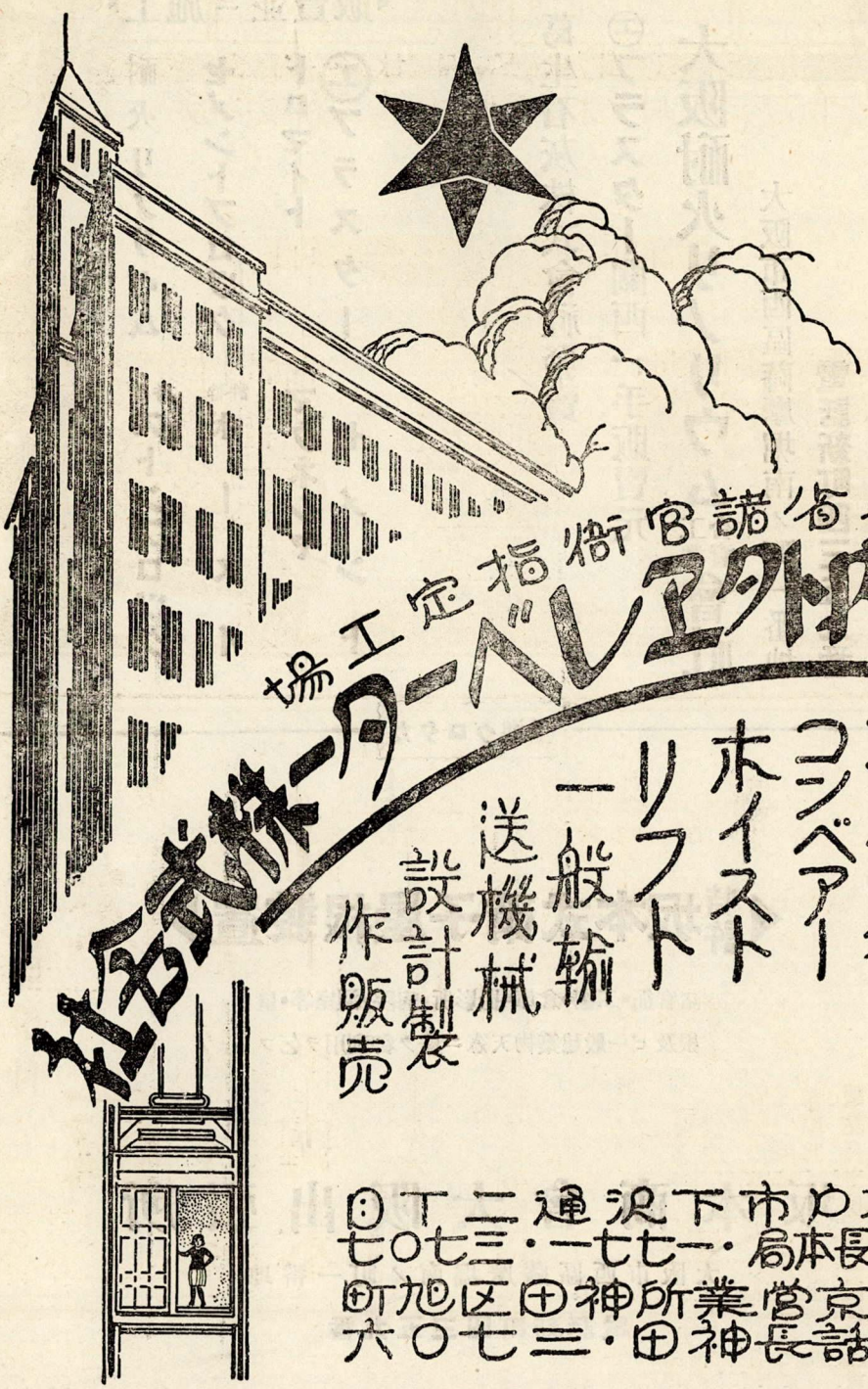
特許第六六〇八九號
伊丹式パーケットリー（簡易寄木）
特許第六五八九一號
伊丹式フローリングブロック
（コンクリート床板上直接張込床材）

三菱合資會社營業課製
南洋產セラヤ材天井板
青森特產檜材根太土臺其他

大阪 伊丹商店

大阪營業所
大阪市西區靭中通一丁目
二〇番地（市電信濃橋停
留場北へ一丁東側）
電話長土佐堀二四一七番

名古屋營業所
名古屋市西區南外堀町
四丁目一番地
電話長本局四五九六番



各省諸官衙定指工場

内外エレベーター株式会社

エレベーター
コンベアー
ホイスト
リフト
一般輸送機械
設計製作販売

神戸市下沢通二丁目
電話本局一七七・三七〇七
東京営業所神田区旭町
電話長神田三七〇六

◀工施ニ並賣販▶

耐火リノリウム
セメントプロック
ドロマイト
㊫プラスター

特許ストンプロック
特許ポーラスライ
マグネシヤセメント

葛生石灰株式會社發賣

㊫プラスター關西一手販賣元

大阪耐火リノリウム工業合資會社

大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地

電話新町四三五九番

カタログ進呈

◀特許坂本式硝子屋根裝置▶

諸官衙・工場・倉庫・撮影所・病院・溫室等・屋根及ビー般建築物天窓ニ廣ク御利用ヲ乞フ

坂本商會大阪出張所

大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地

電話新町四三五九番



淺野理化學工業所製

アサノソリヂットタイル
アサノソリヂット安全壁
アサノソリヂットスタイル
アサノリノリューム鋪床料

ユニオンアスファルト
小倉アスファルト
內外各種ルーフ井ングス
大連ドロマイト
大明式スカイライト
米國ミシシッピ會社製ガラス一切
網入波形グラス
米國GF會社各種ラス
セロテックス
內外各種ペンキ
其他橋梁材料並ニ請負

（型錄進呈）

一手販賣元

淺野物產株式會社大阪支店

建築材料部

タイルの山本窯業

大阪市北區芝田町

電話北 286. 5610

タイルとテラコッター

東京出張所

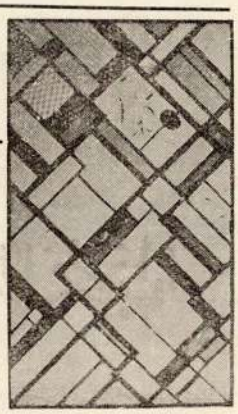
東京市日本橋濱町三丁目一地

(中之橋際) 電話浪速 1978番

ステインドグラス

グラスモザイク

VENUS STUDIO



大阪市東區谷町二丁目五 電東四二二〇

出張所 東京　　代理店 京　　城

ベニス工房

最も進歩せる使い易いプラスター

スタッコ、マンチュリヤ

主なる特長

一、布海苔を要せず、其儘水にて練り塗工す
一、硬度適當なれば音響を反射せず
一、輕くして剝落、龜裂の憂なし
一、純白美麗、顏料にて着色任意、褪色せず
一、施行後水洗ひしても表面を損傷せず
一、價格低廉、御試用を乞ふ

耐火床張リグノイド
工場床張リグコツタ
美術床張マグコルク床
防火防水壁ロックスタッコ
水硬性防火防水壁リソイド
水硬性防音内壁エラスコ
マグネシアセメント

型錄進呈

一手販賣店元 三井物産株式會社

製造元 南滿鑛業株式會社

大阪市港區北境川町二丁目三十五番地

大阪出張所

電話長西三四八九番

玲光社

ステインドグラス
模細工
プリヅム
各種色硝子

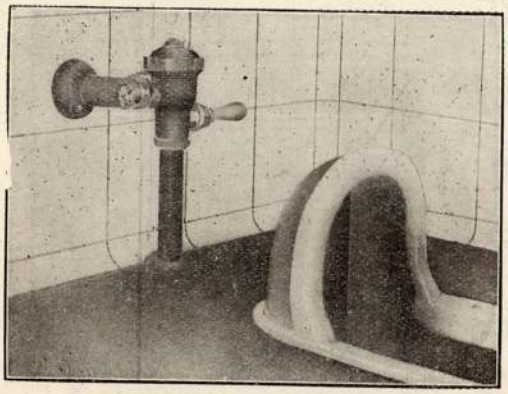
大阪市天王寺區南河堀町
電話 天王寺 七九四

東京澁谷青山南町七ノ二
電話 青山 一八八〇

木三廣　内崎瀧　眞彌邦　太三太　郎耶郎

辨滌洗所便洗水

ヨネ.フラッシュ.バルブ



東京帝國大學營繕課御指定
東京・大阪・京都市役所御認可

製造發元賣 米本商店
大阪市西區幸町三丁目二番
電話 櫻川三八八〇

重なる納入先

東京帝國大學　京町堀ビルデング
正金銀行東京支店　太平ビルデング
日本大學　大阪市電氣局
大阪ビルデング　大軌電鐵會社
船場ビルデング　新京阪電鐵會社

大阪造幣局　大寶小學校
灘萬食料品店　八幡屋劇場
三越呉服店別館　兵庫縣立女學校
大阪府知事官舍　名古屋共濟ビル
大阪商船紅丸　京都明治ビル
芦原小學校　滿鐵病院

電燈と電力
照明器具
水道と暖房
機械と汽罐

設計製作
据付諸工事

特約 インターナショナル石油發動機
おのぐち式A1型渦巻ポンプ

深井戸用各種ポンプ・ベソル
グライングウィングネットヒチール

..TRADE MARK..

合資會社 大キナ商店

大阪東区今橋貳丁目一三番地
代表社員 小川繁太郎
電話本局一三八九番
振替大阪二〇六一一番

陸屋根地下室用防水布

専賣特許
富士印クロースルーフ井ング



本品は純麻織物を主要材料とし無酸乾燥性天然アスファルトを應用し強度伸度滲透壓に於て同種品中最高の記錄を有する合理的にして最も進歩せる

クロースルーフ井ング製造所

工場 大阪住吉

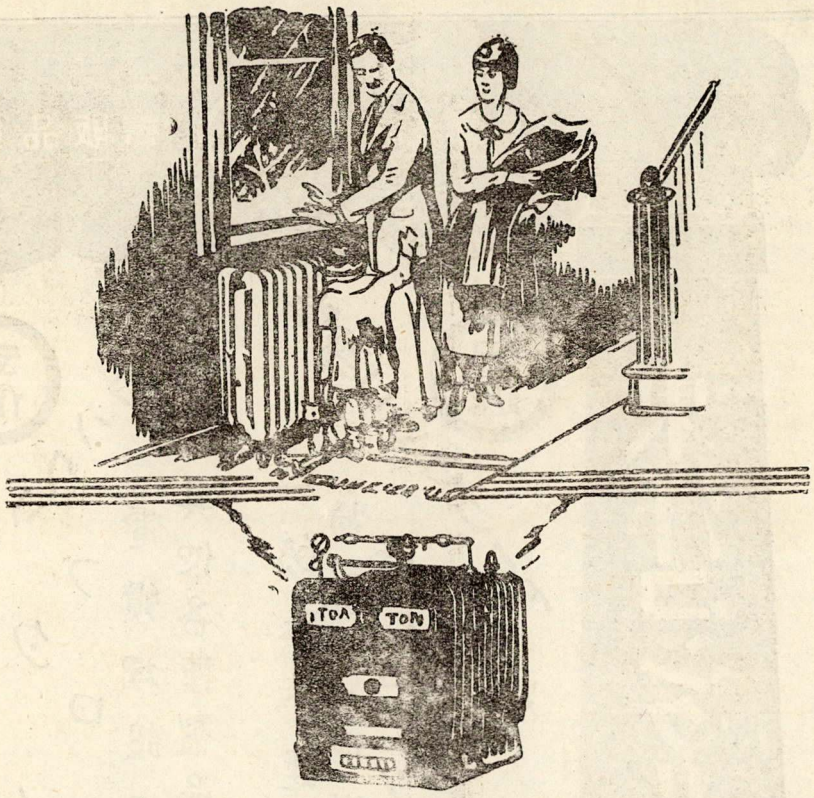
大阪市東區平野町八五目丁四 電話本局五四〇七番

營業種目

田中式天窓（スカイライト）裝置
岡田式耐酸アスファルト
大橋及東洋式各種ラス
階段辷止金具ノンスリップ
高陽スレート
各種ルーフイング及フエルト
タールピヤ及アスファルト
陸屋根地下室防水工事

岡田建築材料店

名古屋市西區西菊井町二丁目
電話西局一二一番一〇八七番 振替名古屋五五九六番



株式會社
東亞鐵工所
大阪市此花區西九條濱通一〇
電話土佐堀(一一三七番
(三九六七番

株式會社
東亞鐵工所東京出張所
東京市麹町區丸ノ内ビル八七五
電話丸ノ内(23)一七九六番

營業案内

煖房部
煖房、換氣
温濕氣調整
水道、衛生
設計、施工

製作部
各種放熱器
工作用高級機械
汽罐、鑄鐵品
コンベーヤー、リフト、ケーブルカー

製品販賣　工事請負

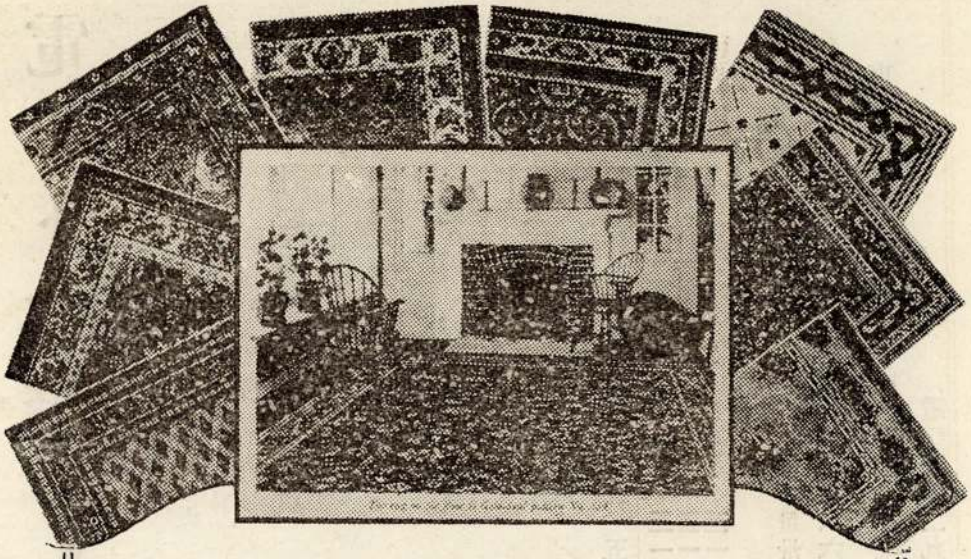
東洋コンクリート合資會社

安價　鐵筋コンクリート土管
　　ブロック
　　電纜埋設用トラフ
　　其他各種製品應御注文

迅速　鐵筋コンクリート煙突
　　一般土木建築工事
　　特殊ブロック建築
　　ブロック塀

カタログ進呈

大阪市西淀川區海老江町
（阪神電車・淀川停留所脇）
電話主佐堀三八三四番



大小色々

模様色合各種

山中支那緞通

寸法並ニ模様
特別御註文ニ應ズ

大阪市東區高麗橋一丁目

山中商會

電力ト電燈

美術裝飾電燈器具製作
電燈電熱避雷針電話工事
設計監督工事請負

淺海商店

營業所　大阪市北區絹笠町九番地
　　大江ビルヂング三階
電話直通　北一五七六番
交換北　一二一五番　三一九六番
　　二六二〇番　三一九五番
　　三一九七番

工事部　大阪市北區曾根崎上三丁目卅六番地
　　北六六四二番
東京支店　東京市芝區田村町七番地
　　電話芝(43)二九七〇番

特許 内藤式無煙風呂

浴塲設備には

現代の文化的意義を充分に具備せる
内藤式無煙風呂釜を御採用願ひます

特長

下向きに燃えて絶對無煙焚方簡易
にして速く沸く燃料普通風呂釜の
三分の一

（カタログ進呈）

大阪市天王寺區大道三丁目
株式會社　内藤製作所
電話天王寺一〇一五番

負請事工計設量測

日本水道工事株式會社

大正九年創立

資本金貳百萬圓

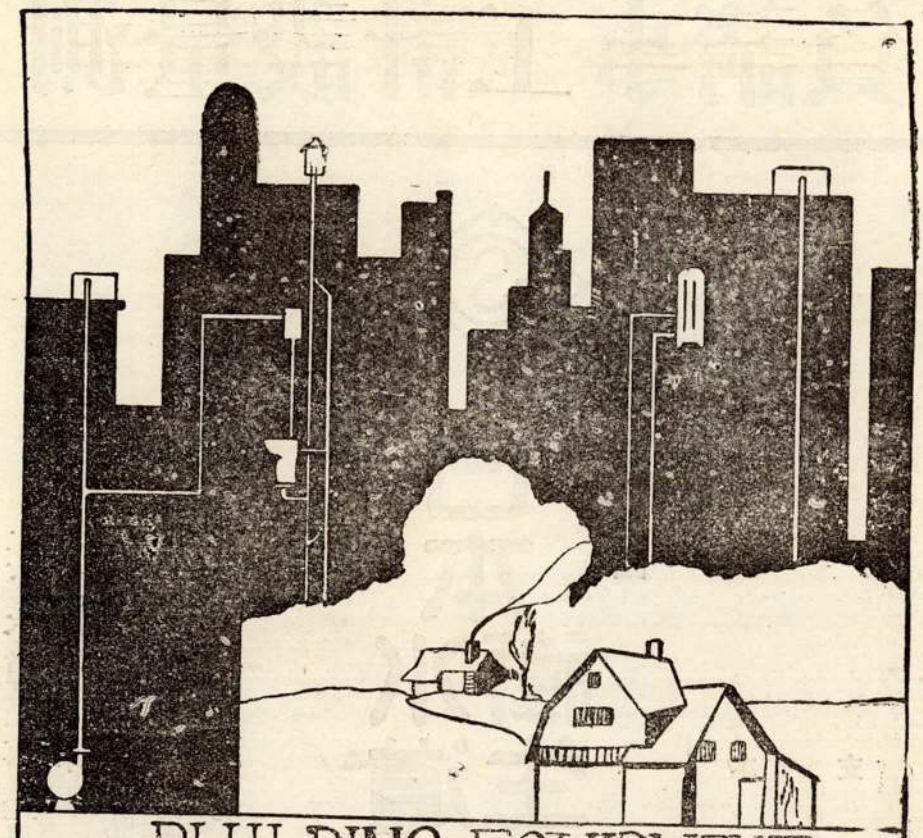
営業課目

上下水道工事（市、町、村住宅地、官衙、兵營、工場）
水力電氣工事
建築衛生工事（防火、給水、給湯、排水、汚水淨化）
煖房、換氣工事（通風、冷房諸機械設備）
諸官廳ニ於ケル右工事手續代理行爲

本社　大阪市東區高麗橋詰町六〇
電話東長（二一四二二二番）
振替口座　東京五一五七五番　大阪五三七一五番
電報略號　受信ニチスイエイ　發信「ニス」又ハニ

支店　東京市京橋交叉點第一相互館
電話京橋（四〇〇〇一番）（四〇〇〇二番）

出張所　京都・神戸



都市水道
衞生給水
煖房換氣
防火裝置
特許汚水處理
病院設備

桐田商會

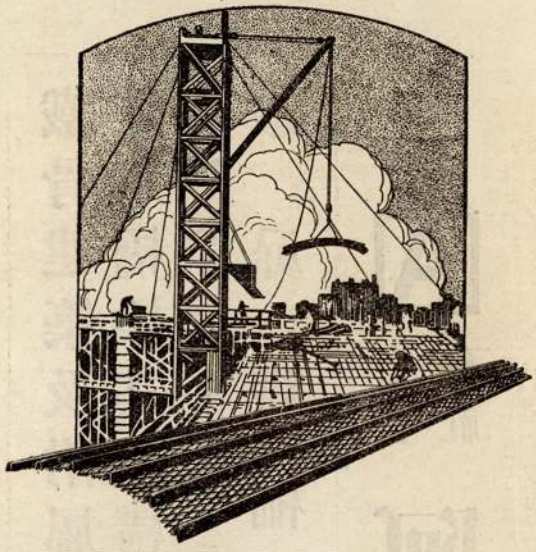
大阪市北區木幡町八二
電話北二七五一番

東京市芝區田村町十五
電話青山五三七五番

鐵道省、大藏省、各官廳指定品

Nippon
DIAMOND RIBBED STILL

日本ダイヤモンドリブラス



國立大阪工業試驗所試驗の試驗表（輸入品と比較）
御用入御（るたし）節の用は越申御に次第型錄と共に御
已に既は時のるす用使を品入輸。すまし致附送
に去りまりたし。切に國產品の御愛用を希すまい。

全國一手販賣店

三共貿易株式會社
東京市日本橋區江戸橋一丁目四
電話日本橋 二四八六番 三四八七番 三九九一番

關西、鮮、滿、臺、總代理店

奥村重兵衛商店
大阪市北區中ノ島六丁目
電話土佐堀 四六一番

製造元

合資會社 日進製作所
大阪市此花區四貫島旭町一丁目
電話土佐堀 二八四一番 三一三三番

日本ダイヤモンドリブラス最近納入先の一部

總理大臣官邸・東京帝大圖書館・日本勸業銀行・東京歌舞伎座・東京市政調査會館・秋田驛機關庫寶生會・鐵道協會・日本電氣株式會社・聖心女學院・上野驛・橫濱生糸檢查所・陸軍第一衛戍病院・內閣書記官長邸・飛行館・橫濱栗田谷小學校・橫濱老松小學校・大阪造幣局・關西學院・大阪鐵道局大阪勞働共勵館・日本銀行大阪支店・日本皮革株式會社大阪工場・三井銀行新町支店・天滿織物株式會社・大日本紡績株式會社・第一生命京都支店・枚方菊人形新館・山一證券株式會社大阪每日京都支局・京都武田五一博士新邸・昭和レーヨン株式會社・東洋紡績一宮工場・明石警察署・姫路驛機關庫・廣島專賣局・福岡武德殿・佐賀市廳舍・九州水力電氣株式會社其他

●防火宣傳●

阿部式スティールサッシュ製作
阿部式スティールドーアー製作
自働捲上防火シャッター製作

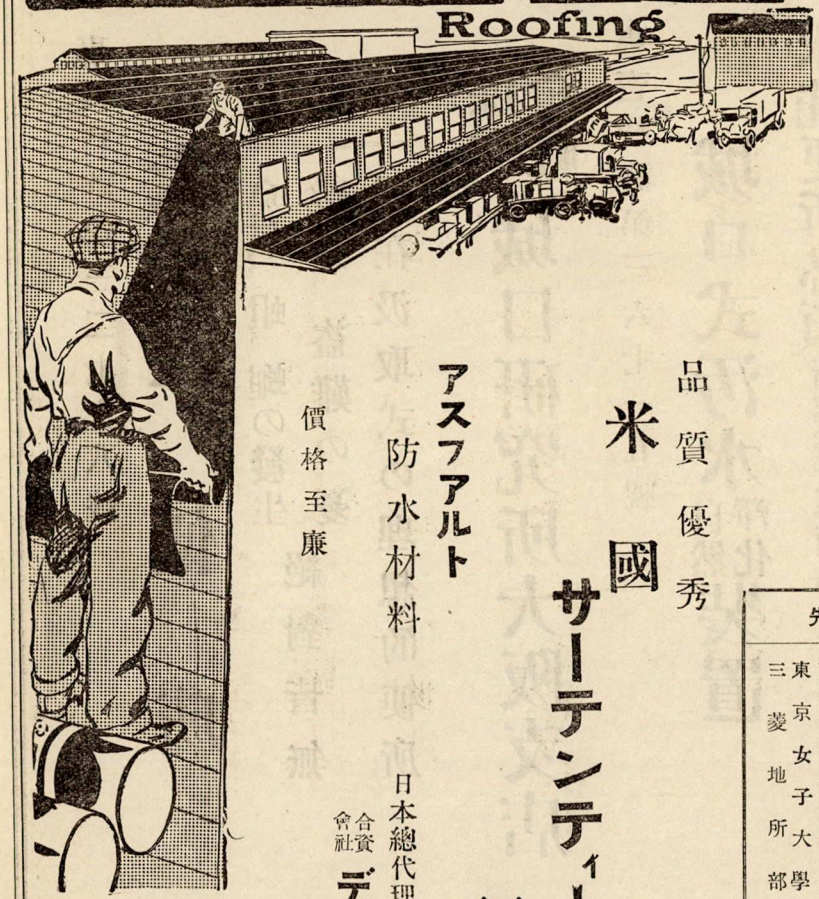
鐵骨建築及附屬金物一式
鐵塔橋梁其他構造物一式
エレベーターリフテイング一式
鐵扉鐵柵類一式

A 合資會社 **阿部鐵工所**

大阪市西淀川區浦江上二丁目五九
電話土佐堀 長一八一四番 三〇〇八一一番
特替口座大阪四八〇〇五一番
受信略電（オウサカアヘテツ）

内外建築大家御指定品

Certain-teed Roofing





品質優秀

米國 サーテンティード 便利瓦 (ルーフイング)

アスファルト防水材料

價格至廉

日本總代理店

合資會社 デウエット商會

東京市麹町區内幸町一丁目大阪ビル
電話銀座一〇八一番

大阪市東區今橋一丁目帝國ビル
電話本局三七四四番

主なる御使用先

丸ノ内ビルヂング
日本郵船ビルヂング
有樂館
東京帝國大學
東北帝國大學
早稲田大學講堂
三越呉服店
上野松坂屋本館
アメリカンスクール
東京女子大學
三菱地所部
三菱鑛業會社
久原鑛業會社
横濱ユナイテッドクラブ
横濱スタンダード會社
横濱ライジングサン會社
清水組
大林組
竹中工務店
安藤組
大倉土木會社
戸田組

便所之改善

專賣特許第三二七九八號

大正便所

特長

臭氣、蛆、蠅の發生
跳返、盜難の憂　絶對皆無
現在汲取式の理想的便所

專賣特許第三六七一五號

株式會社 城口研究所大阪支店

城口式汚水自然淨化裝置

水洗便所必須 清潔、完全、簡易の下水に放流裝置

一般給水衛生工事

『パームチット濾水器』關西代理店

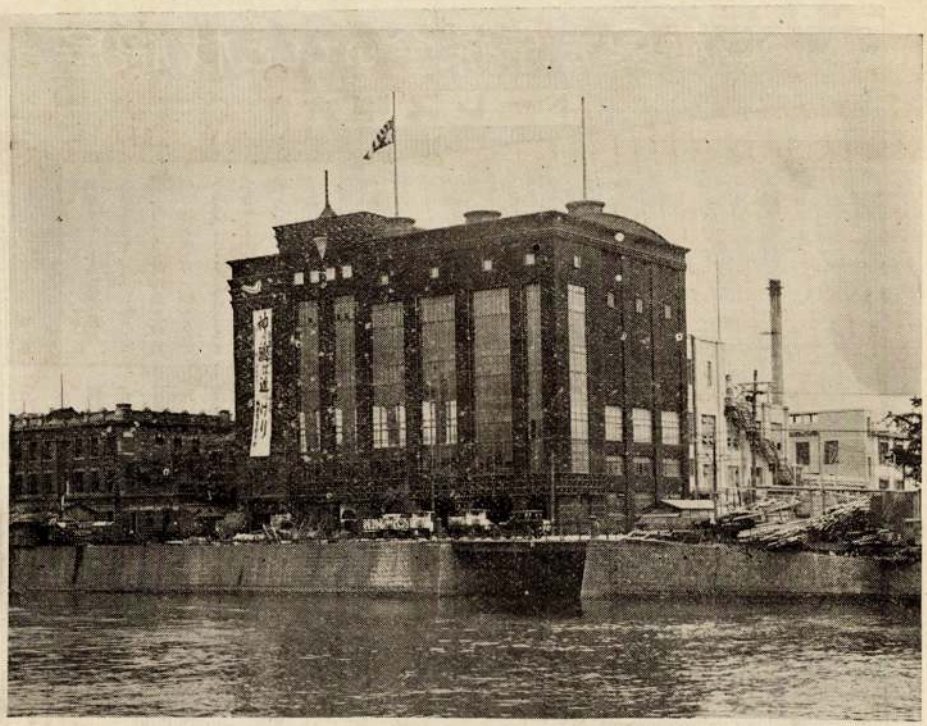
大阪市北區曾根崎中壹丁目五十七番地

電話北 特長 二三一九 一五八六番

本店 東京市神田區千代田町十八番地 電話神田特長 二五二三番 二二五二番

出張所 名古屋市西區本町三丁目五番地 東話電 二三七〇番
同 京都市大和大路佛前 祇園話電 四七二四番
同 神戸市三宮町一丁目百七十番地 三宮話電 一九六八番
同 横濱市常盤町五丁目八十一番地
同 廣島市竹屋町百三十五番地 話電 二八〇八番

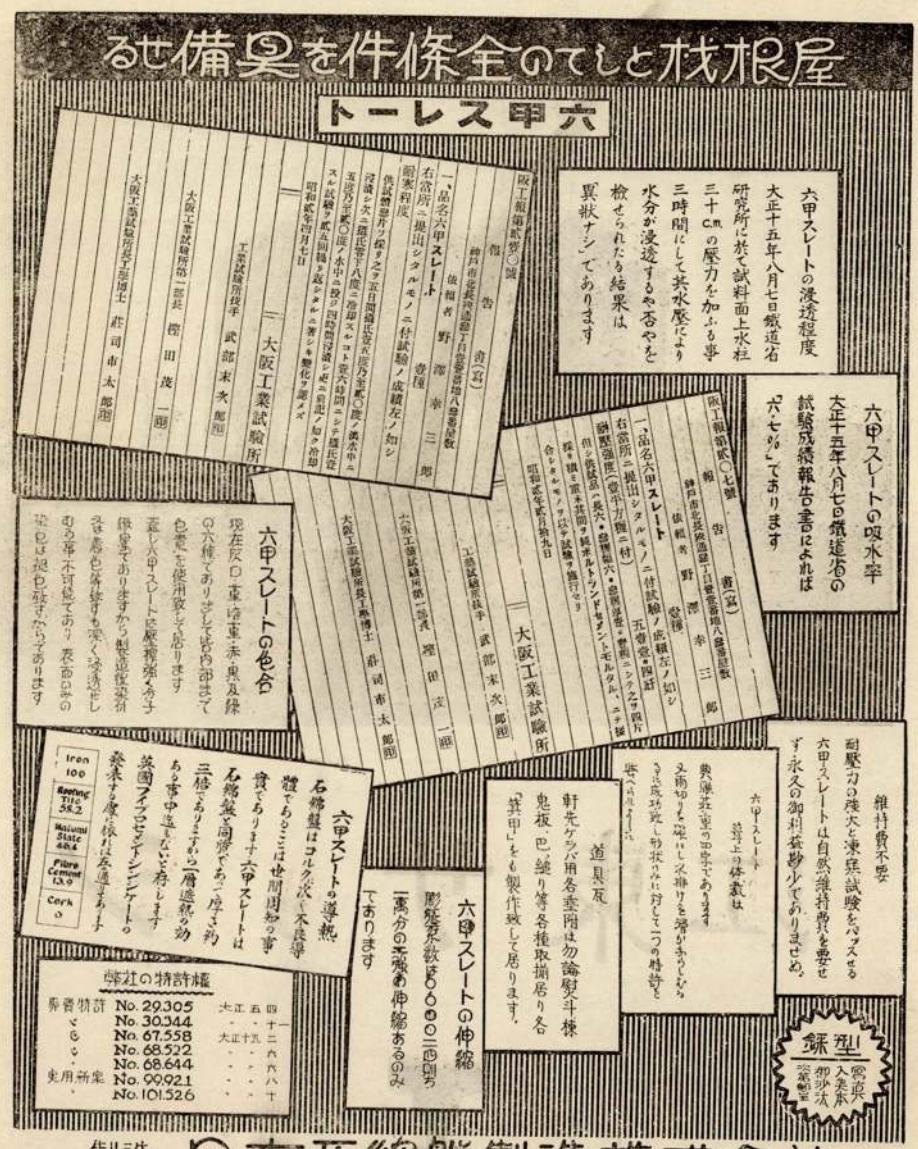
江東サッシ御採用の大阪朝日會館



江東サッシ

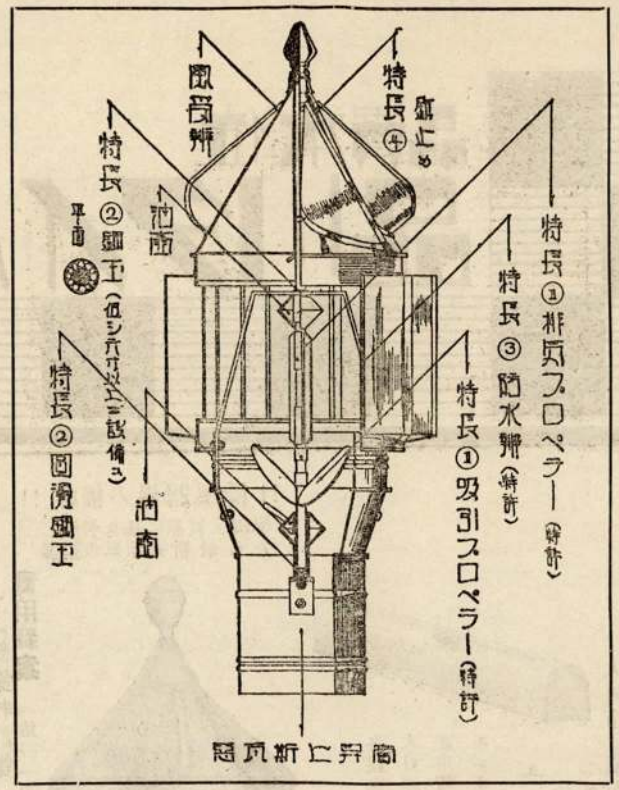
東京・龜戸

電話墨田3138番


屋根材としても全條件を具備せる
六甲スレート
六甲スレートの浸透程度
大正十五年八月七日鐵道省
研究所に於て試料面上水柱
三十cm.の壓力を加ふる事
三時間にして其水壓により
水分が浸透するや否やを
檢せられたる結果は
異狀ナシ」であります
六甲スレートの吸水率
大正十五年八月七日鐵道省の
試驗成績報告書によれば
「六・七%」であります
六甲スレートの色合
現在尻の工場に赤、黒及緑
の六種でありますが内部まで
色彩を使用致して居ります
尚ほ六甲スレートは風雨に
晒す事が多いから製造に依染料
又は顔料を使用しますから
永く美麗を保ちます
維持費不要
耐壓力の強大、凍氣試驗をパスする
六甲スレートは自然維持費を要せ
ず永久の御利益勝少でありませう
六甲スレートの伸縮
膨脹係數は0.0024
一萬分の一強あるのみ
であります
道具屋
軒先ケラバ用各種附は勿論煙突斗棟
鬼板、巴、繰り等各種取揃居り各
「筆甲」をも製作致して居ります
鐵型
寫眞入見本
御沙汰
六甲スレートの特徴
耐久的
耐火的
耐候的
耐震的
耐水的
輕量的
施工容易
美觀的
六甲スレートの導熱
石綿盤はコルク次ぐ不良導
體であることは世間周知の事
實であります六甲スレートは
石綿盤と同質であつて厚さ約
三倍でありますから二層造りの効
ある事申迄もないと存じます
英國ファイフセメンテンシケーの
發表する處に依れば五通りあり
Iron 100
Roofing Tile 58.2
Hollow Slate 46.4
Fibre Cement 13.9
Cork 0
弊社の特許權
專賣特許
No. 29305 大正四年十一月
No. 30344 大正五年十二月
No. 67558
No. 68522
No. 68644
No. 99921
No. 101526
實用新案
製造 日本石綿盤製造株式會社
發売 野澤幸三郎商店
神戸 北長狭三TEL 番合2830 2831
東京 丸内 丸ノ内3670
大阪 綿業所 大江ビル内 北5994
福岡 舞鶴町三六 1945
振替 大阪413 東京903 四所并通
昭和ビル内

サトミシマ
メタルシーリング

金属天井



廉價!! 且ツ品質優秀ノ定評ヲ得マシタ。熟練ナル職工ハ迅速叮嚀ニ施工致シマス。

カタログ進呈

多數同類品ト全然構造ヲ異ニシ發賣日ナラズシテ稱讃ヲ得マシタ。

カタログ進呈

エスエム式

ベンチレーター

佐渡島西店建材部

大阪市南區安堂寺橋通三丁目

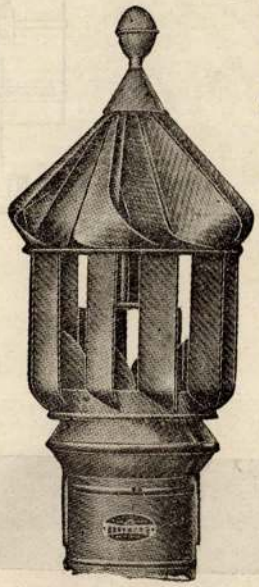
電話船場 二二三三番 二二二三番 九九九番

品川白煉瓦株式會社
大阪タイル部
大阪市西區江戸堀北通一丁目
電話土佐堀 { 711 / 7008 番

S.S

品質本位
品川タイル

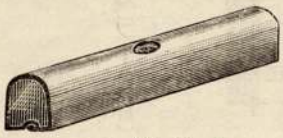
!! 除風器界の權威 !!
學理と實際に基き製作したる最新式除風吸揚器


田中式ベンチレーター

營業科目
◉和洋式建築金物
◉ブロンズ眞鍮製建具裝飾金具
◉窓金手摺鐵柵鐵扉類
◉釘針金平浪板諸材料
◉鋼鐵自働防火シヤッター

製作＝直輸入負請＝

保健！衛生！ 田中式除風吸揚器
（新案特許第一一四四八六號）
實用新案（第一一四四八六號）



各建築需要家に於て大好評を博しつゝある
實用新案鎭鑰卷
ユニオンレール
ユニオン印

合名會社 西孫南店 建築金物部
電話北二八五〇番
建築金物製作發賣元
大阪市北區南森町五四番地
南森町交叉點二筋南ノ辻西入天神小橋筋
大阪市南區順慶町二丁目
同直輸出入部
電話船一一九六・一九七番
三〇二九番

日本建築の代表的屋根

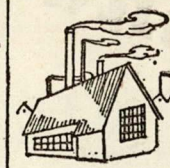


淺野スレート
日本石綿盤
朝日スレート
金剛スレート

品質堅牢
体裁優美

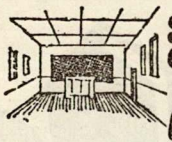
日本スレート販賣株式會社大阪支店

大阪市西區江戸堀南通一丁目廿一番地
電話土佐堀㊀3468番・3469番
本社 東京市京橋區三十間堀三丁目
電話銀座㊀684・841(專用)1860・1861・1862番(接續)
支店 横濱市常盤町5丁目81番地電話本長者町(3)5207番
支店 門司市東本町四丁目 電話㊀548番
出張所 名古屋・仙臺・京城



淺野波形板

母屋が木質でも鐵骨でも
野地板がなくも勾配が緩
くも取付られる
天下無敵の屋根材



淺野壁板

強靱の石綿セメント製ゆ
ゑ下見・内壁・天井・間仕
切壁等に用ひて
比類なき最適品



淺野煙突

燒けない・錆びない・
腐らない・火の用心
に
淺野煙突

社會式株トースレ野淺

市京東	市阪大	市司門	市屋古名	市幌札
三十間堀三丁目	三新地五番町	門司市白水鏑	中區南鍛冶屋町三	北一條東四ノ一
電話京橋 1860 1861 銀座 1862	電話北 5081 5082	電話 1228 1931	電話中 1097	電話長 598

建築ノ耐久ト美觀ハ屋根材料ノ撰定

KS式陸屋根地下室防水工事
太陽印アスファルトルーフキング
マルソイドルーフキング
テキサスルーフキング
各種アスファルトフエルト
耐酸性アスファルト工事
セメント防水劑マノール

見本型錄呈上

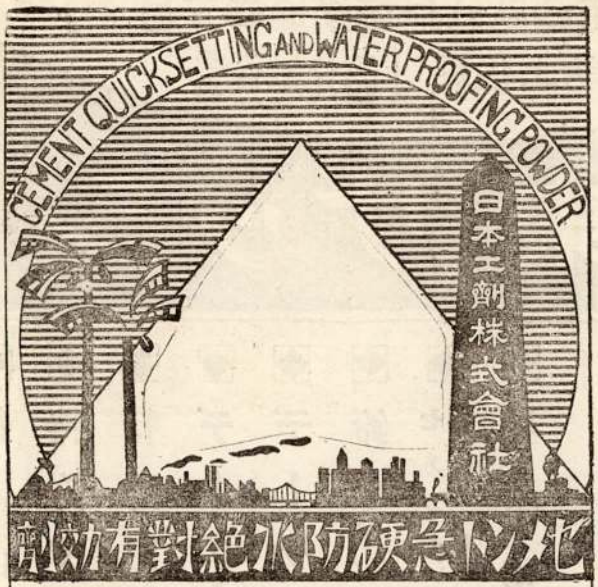
本店 大阪市西區江戸堀南通五丁目
電話土佐堀(二)二一六六番
七一五四番

木下謹三商店

支店 東京市日本橋區濱町三丁目三番地
電話浪花二二五二番

石綿スレート(石綿盤)
天然スレート(石盤葺)
獨逸式セメント瓦
エキスパンデットメタルラス
淺野波形スレート
其他各種建築材料
販賣並ニ工事請負

セメントを早く固めて
永もちさせる
ケーテーオー



セメント急硬防水劑
ケーテーオー

◎衛生的家屋に必要です
◎セメントにまぜて素人でも使ひ易し
◎五分で十分間でも自由に固ります
◎ふり水も打水も水完全に一ります
◎どんな寒さでも凍る中に固ります
堤防、水道、發電所水路、貯水池、鋪張、隧道、水槽壁、家根、倉庫、風呂場、流し場其他どんな所にも必要です

專賣特許
登錄商標
K
ケイ

說明書進呈

東京市芝區愛宕下町一ノ四　電話芝一五一二番

大理石代用 オパキサイト

完全防水 エヴァシール

元賣捌西關

田中昌司商店

大阪市西區江戸堀南通四丁目

電話土佐堀 {一四八七番 五〇八三番

東江サッシ

マグスタッコ床塗

◆特許山添式防水工事
◆特許タービヤ鋪裝工事
◆特許田中式硝子屋根
◆デーケー式シヤツター
◆デーケー式サツシユ
◆鈴木式及デーケーラス
◆セメント防水料セレシット
◆星印ルーフヒング

大阪市西區南堀江下通二丁目

内外土木建築材料合資會社

電話長櫻川一六一〇番

特許

BROCADE Ⓑ

專賣

ブロケート壁塗裝材料

耐水、耐熱、耐寒

ブロケート 合成スレート 大理石







ス示表部一ノ様模上仕ハ眞寫

（星運ヴロタカ第次越申御）

從來の壁塗裝材料は內壁用のみにて外壁に使用し得る物なきを遺憾とし多年研究の結果今回內外壁共使用し得て

價格低廉
作業簡易
體裁優美
堅牢無比

にして本品は水洗差支なきもの故常に清潔を保つ事を得

發賣元

日本ブロケード工業所

大阪營業所
大阪市西區薩摩堀南之町

小森商店

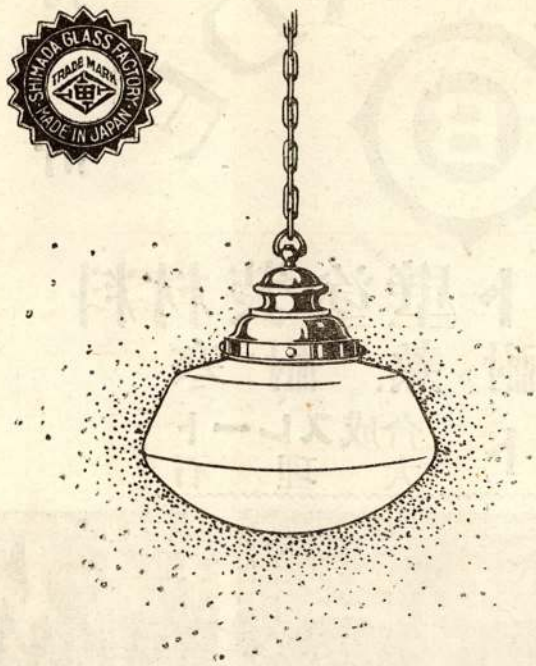
電話新町 二五〇九番 二五一〇番

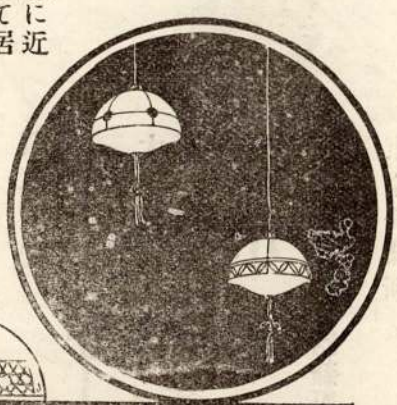
東京營業所
東京市深川區富川町三番地

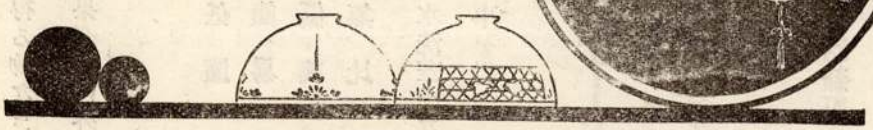
多大の研究と犠牲とを拂ひ新しく生れた

シマダのセレストガラス（晝光色硝子）

本照明用硝子は電灯等に依る通常の人工光線に相等
含んでゐます短紫外線の大部分を硝子に
吸收し硝子を通過致します
光は太陽光線に近
き性質を有して居
ります故に
セレストガラス（晝光色硝子）と
命名し衛生的であり且つ眼に
好感を與ふるのみならず色の
辯別に最も好都合でありまして
實に理想的照明用硝子で
御座います



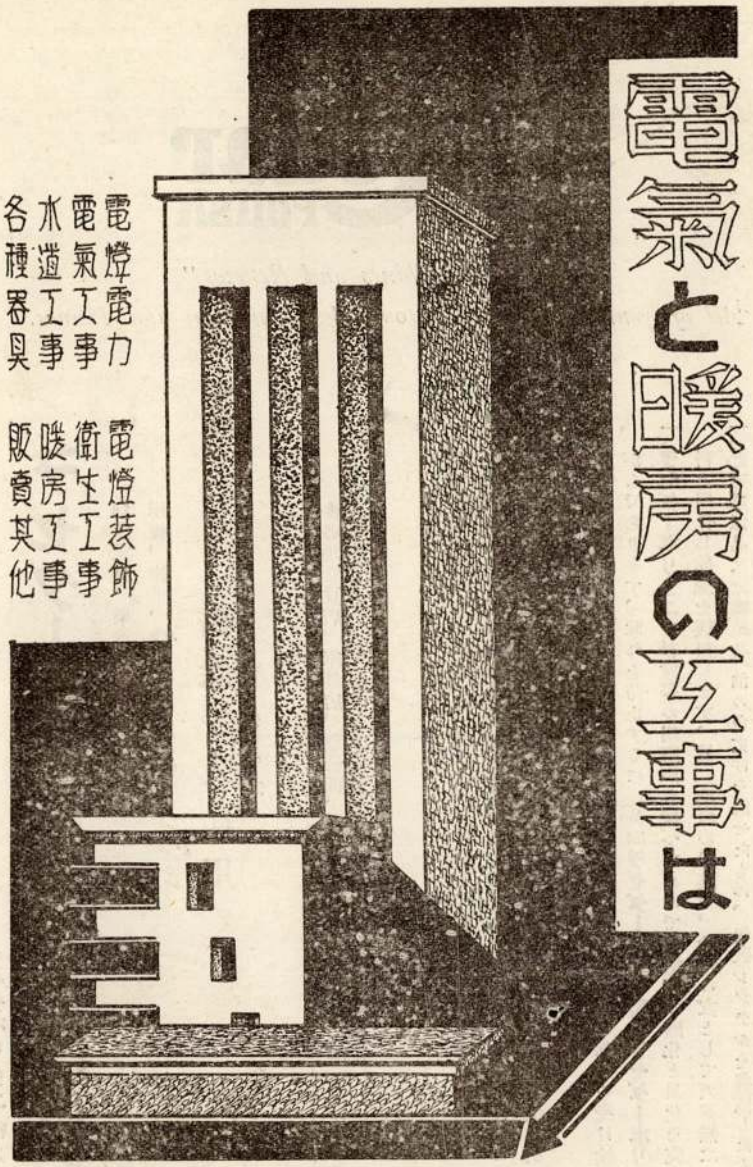




株式會社島田硝子製造所

東京支店	名古屋販賣所	大阪市内販賣所
東京市京橋區銀座二丁目	名古屋市東區朝日町二丁目	大阪市東區南本町二丁目

電氣と暖房の工事は



電燈電力　電燈裝飾
電氣工事　衛生工事
水道工事　暖房工事
各種器具　販賣其他

會社合資 **大阪電氣商會**
大阪暖房商會

治元谷營長社

大阪市西區江戸堀南通一目

電話土佐堀 長 544番
14 46番
18 37番

支店

東京麹町昭和ビル三階
電話丸之内 750、2750
名古屋中區南大津町二丁目
電話中局 1362、2085

O-Cedar Polish

"It Cleans, Shines and Renews"

All of your Furniture, Automobiles, Linoleum and Pianos.

英國專賣特許日本政府登錄濟
英國**ヲセダー**株式會社製品

ヲセダーポリシユ

和洋家具、樂器、リノリユーム
床板、廊下、唐木、白木造り
掃除手入れ用

英國**ヲセダー**會社日本總代理店
ヲセダポリシユ輸入販賣元

澤田合名會社

神戸市八幡通四丁目四番
電話葺合四〇七一番
私書函三宮二五四番

◆各地百貨店、家具店、敷物商、藥舖、洋食料品店、金物店等にてお求め下さい

一、總ての塗り物即ちワニス、ラツカー、ペイント、漆、シケラツク、其他色々の塗料にて塗りたるものゝ美を保存するには**ヲセダーポリシユ**に優るものはありませぬ、洋館、洋風の設備、洋家具、リノリユーム床板等の保存法として掃除と手入れが一度に出來、塗面の光澤を優美に引立て新しきものは永久に美しく古きものも段々新らし味を加へ復活させます

一、塗面が汚なくなる原因は塗料が乾燥すると同時に酸化と風化の作用を受け塗面が變質し光澤が退化するからであります、此れを防止するには英國**ヲセダー**會社の製品**ヲセダーポリシユ**に限ります

一、**ヲセダーポリシユ**は杉檜等の樹脂から採つたもので、塗面の酸化と風化を完全に防止しますと同時に塗料と同化し乾燥を緩和します、眞に塗料の保護材、塗料の友として天下無二の優秀品であります

一、近來類似品又は模造品(油の色丈けを似せたもの、包裝レツテルを模倣したもの)が澤山ありますが**ヲセダーポリシユ**と比較する價値のあるものは一つもありません

上記の商標と**ヲセダーポリシユ**と云ふ名稱を御指示願ひます

(特約販賣希望の方は御申越し下さい)

◇宮島式排氣頭◇

定評アル

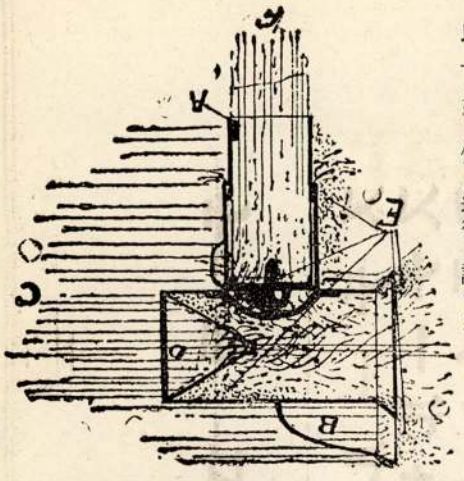


排氣頭ノ價値ハ排氣量ニアリ

本機ノ特徴

一、吸引力旺盛ナル事
二、價ノ低廉ナル事
三、廻轉烈シカラザル故破損ノ憂無キ事
四、雨水ノ筒下ニ入ル憂無キ事
五、煙突臭氣換氣何レニ使用シテモ有効ノ事
六、一目ニシテ風向キヲ知リ得ラルヽ事
七、逆風ノ時ト雖モ完全ニ排出口ヲ風下ニ向ケ作用ハ同ジ

以上ノ如ク他ノ追從ヲ許サズ



本機理解說明

A 排氣管ニ差込ム可キ所
B 方向ヲ Y 字形ノ葉蝶番
C 頭外ノ速風
D 旋風起漏斗
E 眞空體吸引力
F 筒下ノ惡氣

（御一報次第カタログ進呈）

（諸官衙御用）

宮島式

◇◇◇◇特特特特許許許許

自サ排換
働イ
洗ン
滝瀉式氣氣
裝水
置置頭頭

發賣元

導諸
湯般
ボ、ブンバ、ブイ
衛生
工事請負

宮島康夫商店

東京市赤坂區青山北町一丁目四番地（神宮外苑入口）
電話青山（36）四七二九番　振替口座東京五五八四八七番

昭和四年度『建築と社會』特輯號廣告

二月號　震災豫防號（既刊）
三月號　**レストランとカツフエー號**（既刊）
四月號　鄉土建築號（既刊）
五月號　小住宅研究第一集（既刊）
六月號　小住宅研究第二集（既刊）

七月號　都市問題號

八月號　**貸家建築とアパートメント號**
九月號　**商店建築號**
十月號　**林泉と庭園號**
十一月號　**照明、暖房、衛生研究號**
十二月號　**防火建築とビルヂング號**
一月號　**昭和四年建築大觀號**

七月號は都市問題號です、どしどし會員諸君の御投稿を冀ひます。

建築と社會編輯部

テラコッタ｛伊賀窯業株式會社 關西一手販賣

スチールドアー
スチールサッシ
ステインドグラス
復興石
｝當社製作販賣

政正合資會社

本社　大阪市西淀川區大仁本町壹丁目二十番地
電話土佐堀一九四九番　振替大阪四五六七六
名古屋出張所　名古屋市中區新柳町六丁目住友ビルヂング
電話本局（2）二一九一番

(賜攝政宮殿下台覽)

各府縣市營繕課御推奨品

建築界之驚威

安くて
強くて
美しい

登錄商標

ミクニ板

(特許杉柾目天井板)
(柾目板目)

關東特約販賣店

東京市京橋區本材木町三丁目
篠田政之助商店

青森秋田岩手宮城四縣特約店

青森市濱町五丁目
小館木材株式會社支店

大阪府特約店

大阪市西區立賣堀南通二丁目
澤田秀吉商店

京都府特約店

京都市河原通夷川角
藤原彌三郎商店

其他全國樞要ノ地ニ特約店販賣店アリ

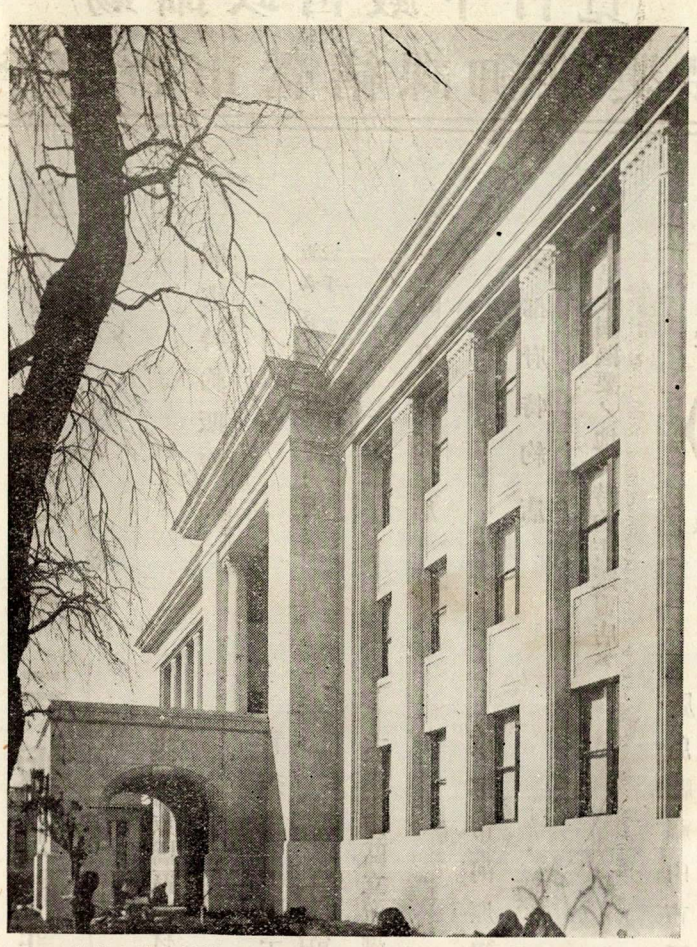
登錄商標

ミクニ板製造元

廣島縣福山市西町

日本木材工藝株式會社

長電三九七番



特許中村式**グラニツト**を以て全壁を被装せる**仙台市廳舍**

中村グラニツト商會

大阪營業所・大阪西淀川區海老江町一二〇〇
電話土佐堀**1357**
東京支店・東京市芝區月見町二ノ四
電話高輪**946**

地下水の利用

鑿井界之權威

多年ノ經驗ト優秀ナル技術ト誠意アル工事ハ他ノ追從ヲ許サズ弊會施行ノ鑿井ノ實績ヲ見ラル、モ明ナリ

詳細型絲進呈

感謝狀

當市上水道ハ日本ニ於ケル鑿井式嚆矢ニシテ湧泉湊々トシテ盡キス全國羨望ノ的タリ然ルニ第三水源井ノ湧水漸次減退シテ一晝夜二千石ニ過キサルニ至リタルヲ以テ貴會ト契約シ右水源ノ十二呎鑿井穿孔工事ヲ施シタルニ豫定ノ日數ヲ經テ完成シ其湧量忽チ一万石ニ達シ給水上ノ憂ナキヲ得ルニ至レリ右ハ獨特ノ機能ヲ有スル貴會ノ獨逸式「パーホレター」機ニ因ルト共ニ又貴殿終始精勵能ク責任ヲ果サレタル結果ニ外ナラス茲ニ鑿泉界ノ權威者トシテ推奬感謝意ヲ表ス

佐賀縣佐賀市長野口能雄 印

日本地下水協會
佐々木正一郎殿

獨逸式大鑿井工事請負

日本地下水協會

本社　堺市大濱北町公園地　電話堺局　二二二九
大阪出張所　大阪市西區立賣堀南通四丁目　電話新町　一〇九四
名古屋出張所　名古屋市中區矢場町東陽ビル　電話中局　七七七

全國總代理店

常盤商事合資會社

大阪市東區備後町二丁目野村ビル　電話本町　七五五

◉最近工事先御芳名

堺市役所水源地
錦華紡績佐賀工場
大同土地興業櫻ヶ丘
武雄町水源地
佐賀市水源地
大和川染工場本社（工事中）
東洋紡績一宮工場（同）
豐田紡織庄內川工場（同）
高岡市役所水源地（工事中）
日本木材防腐會社（同）
長崎紡績堺工場（同）
大阪織物株式會社（同）

煖房ト冷房

AIR CONDITIONING

大和工業株式會社

代表取締役 山崎寛二郎

代表取締役 萩原貞

營業目科

各種煖房裝置　換氣裝置
衛生工事　汚水淨化裝置
給水給湯裝置　蒸氣諸裝置
宮崎式ペーチカ

温濕度調整裝置　冷房裝置
製氷及び冷藏裝置　除塵裝置
氣送管(ユニウマチツクチユウブ)裝置　眞空掃除(バキユウムクリナー)裝置

以上の設計、監督、工事請負並に材料販賣

本社 大阪北區曾根崎上四丁目三番地 電話北一〇七八・六二九一番 略受語電(ワイダカサオ)

支店 東京市京橋區南傳馬町三丁目五番地(第一相互館二〇八) 電話京橋三二三七番 略受語電(ワイダイケウト)



東洋スレート株式會社

大阪市港區九條南通一丁目
電話西長九三・一六二・二五四二

次回御申込見本御送附申上候間型錄第

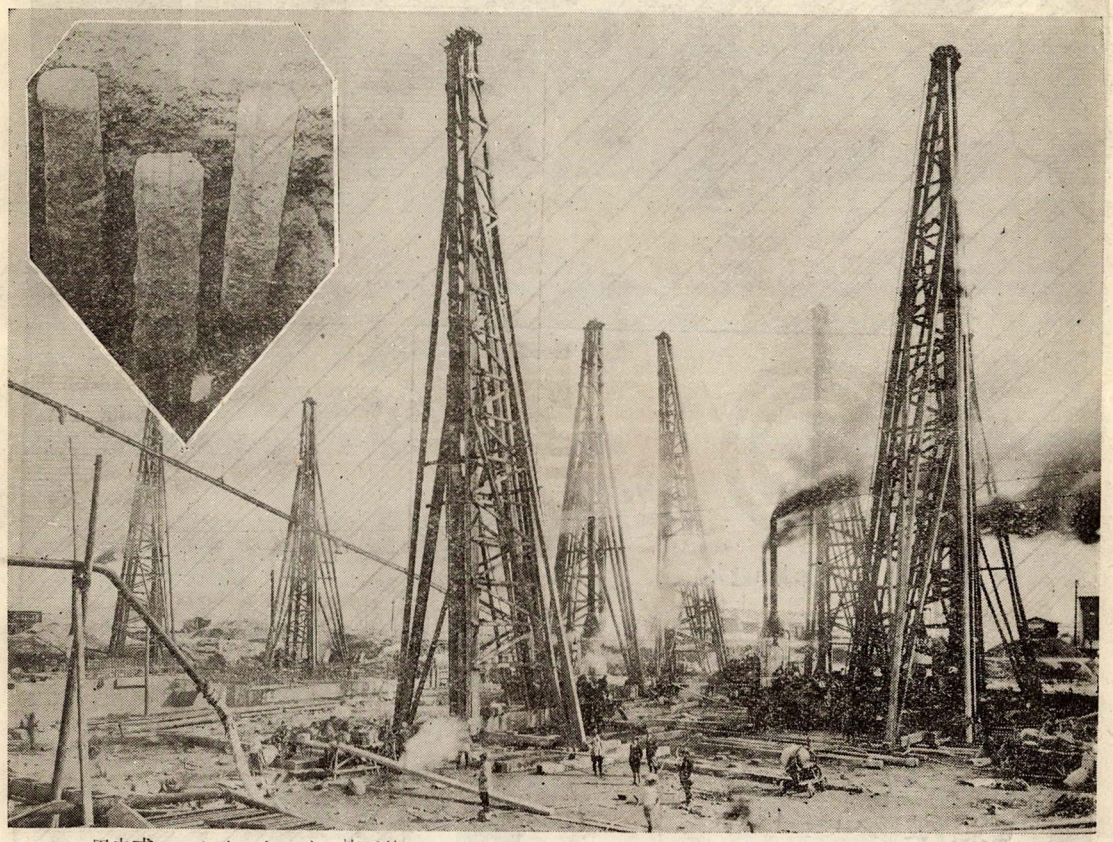
波形スレートの特長

- 東洋波形スレートはポートランドセメント及加奈太產石綿を原料とし**弊社獨特の强大なる壓搾機により高壓壓力を加へて製造したるものなるが故に**
- 强度絕對無比
- 水の浸透率極めて僅少にして雨漏の憂なし
- 寒暑による伸縮又は龜裂破損の心配なし

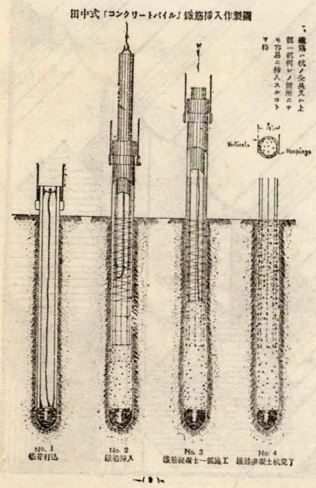
完絶セル基礎杭

特許田中式コンクリートパイル

鐵道省川崎汽力發電所基礎工事實況



田中式コンクリートパイル施工法



田中工業株式會社

本　社

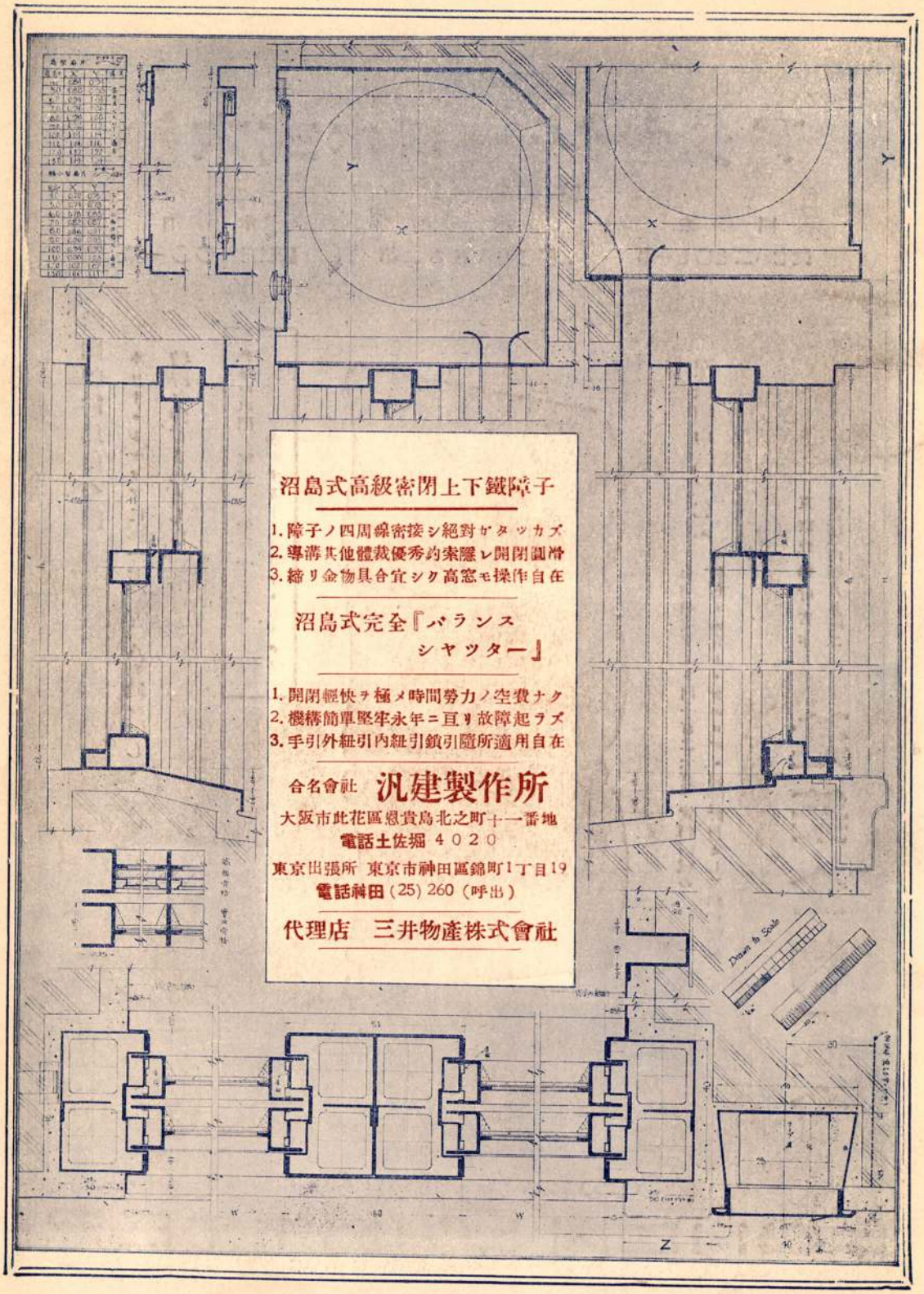
東京市麹町區永樂町丸ビル五五八區

電話丸ノ内九四三番

大阪支店

大阪市北區宗是町大阪ビル六一三室

電話土佐堀二八一二番



沼島式高級密閉上下鐵障子

1. 障子ノ四周縁密接シ絶對ガタツカズ
2. 導溝其他體裁優秀均衡レ開閉圓滑
3. 締リ金物具合宜シク高窓モ操作自在

沼島式完全『バランス シヤツター』

1. 開閉輕快ヲ極メ時間勢力ノ空費ナク
2. 機構簡單堅牢永年ニ亘リ故障起ラズ
3. 手引外紐引內紐引鎖引隨所適用自在

合名會社 **汎建製作所**

大阪市此花區恩貴島北之町十一番地
電話土佐堀 4020

東京出張所 東京市神田區錦町1丁目19
電話神田 (25) 260 (呼出)

代理店 三井物產株式會社

鈴木式ホロー・シヤタア

特許番號

日本 第一〇〇三三三號

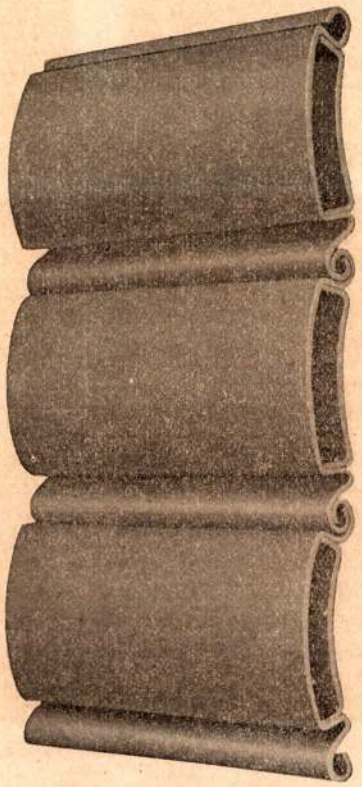
英國 第二六五八七三號

米國 第一七〇七二八七號

米國特許局は今回

ホロー・シヤタアに第一七〇七二八七號を附して特許を許可されました

世界の專門大家が……世界一……と激賞する……ホロー・シヤタア



至急御申込を乞ふ

上等舶來アート摺一百二十頁、實例滿載の新刊・ホロー・カタログ・御設計用として無代進呈

東京巢鴨町宮下
京都東山通月見町二

建築金物商會

SUDZKI'S PATENT

HOLLOW SHUTTER